

禁電子式複写

CZ-2463-04



1200901599998

14.7
54

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

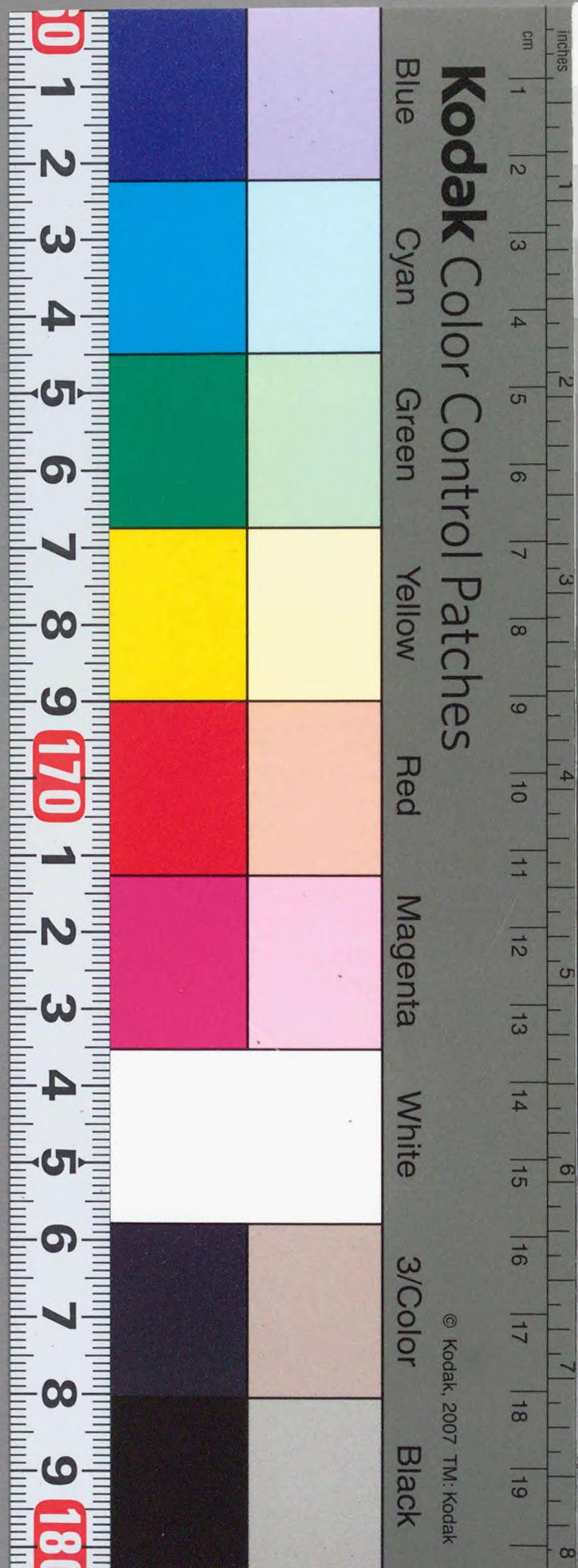


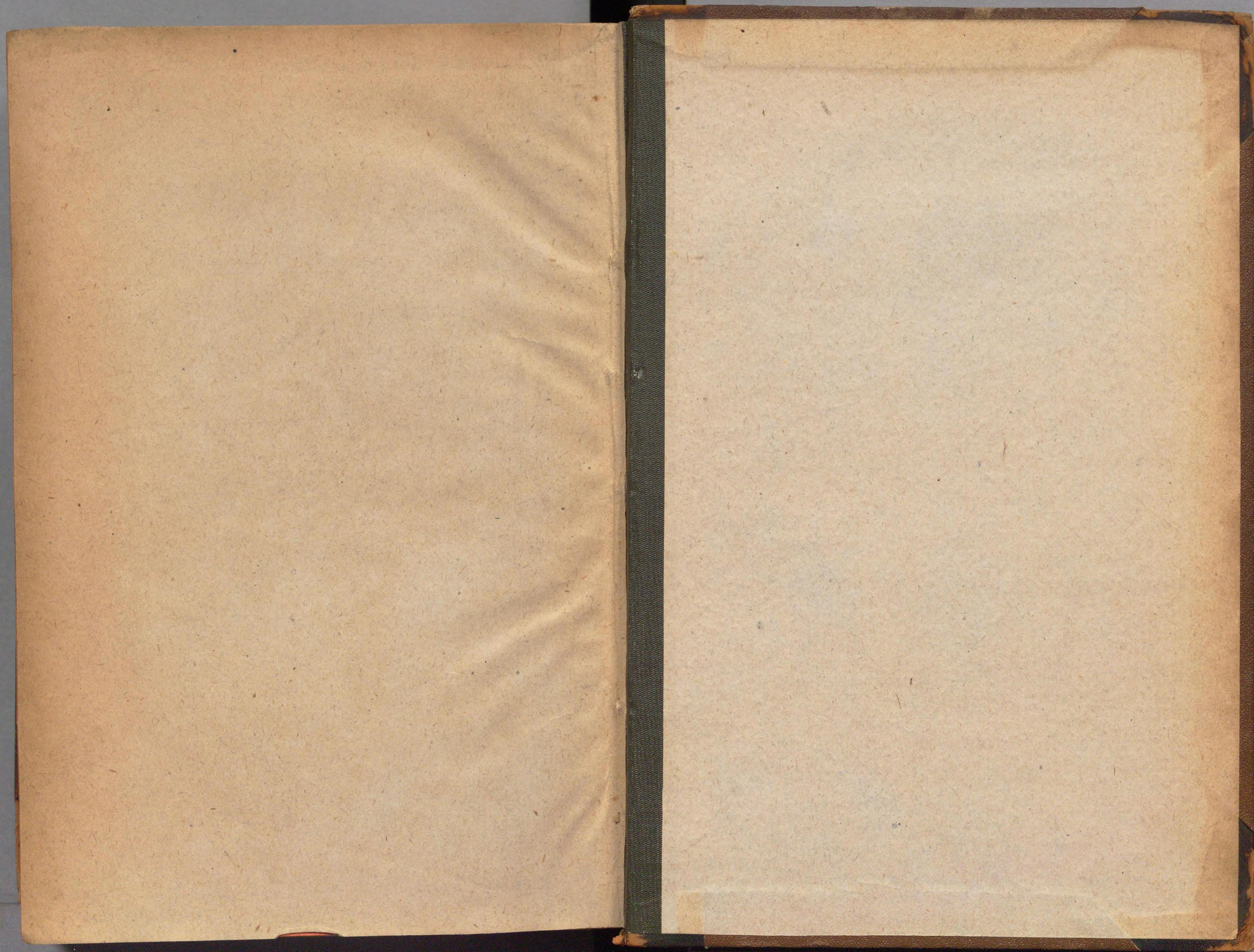
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak





大正四年六月印行

大正二年特許局審決錄

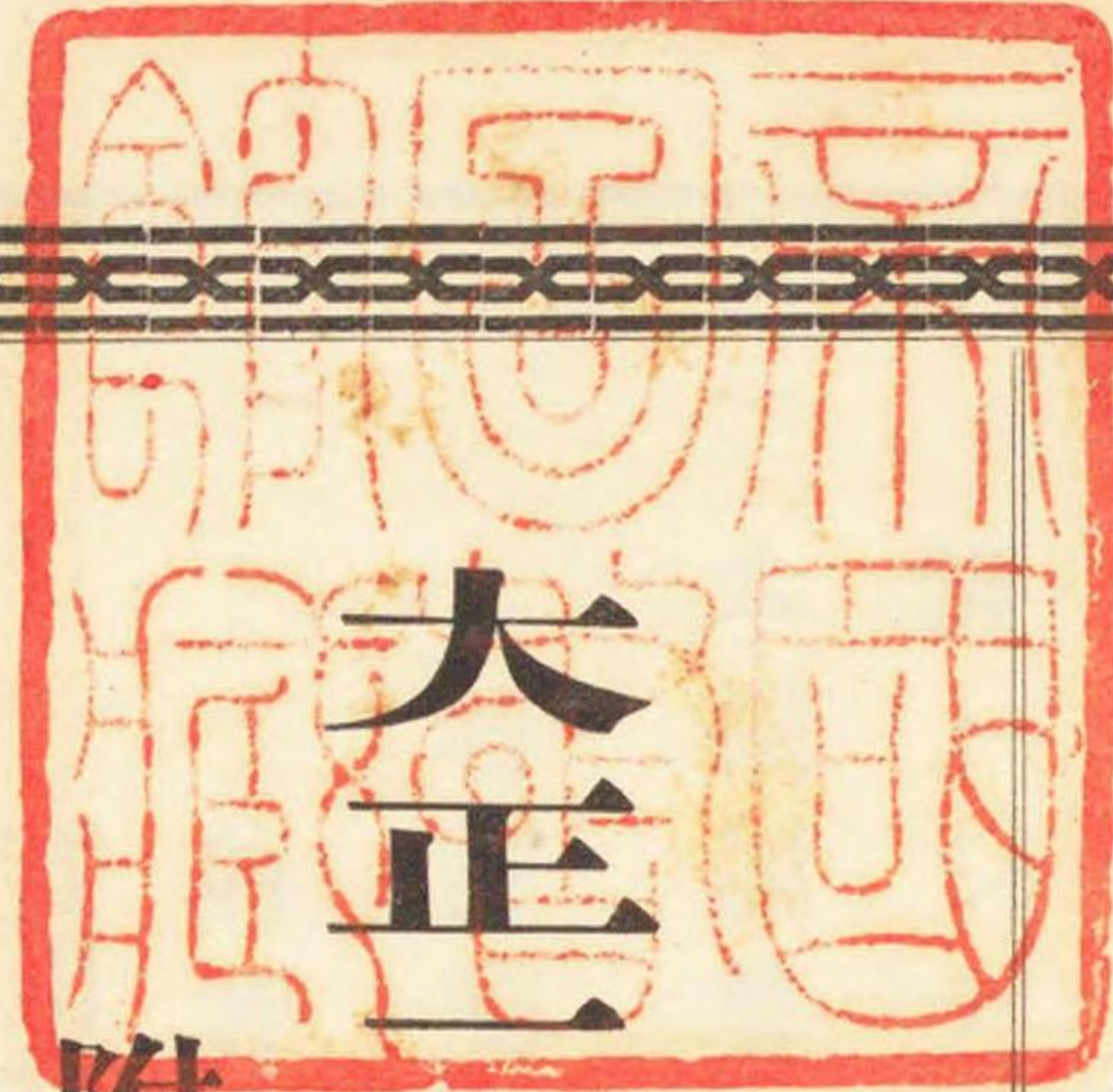
附 大審院判決錄

特許局

147-54

14.7-54

大正四年六月印行



大正二年特許局審決錄

附 大審院判決錄

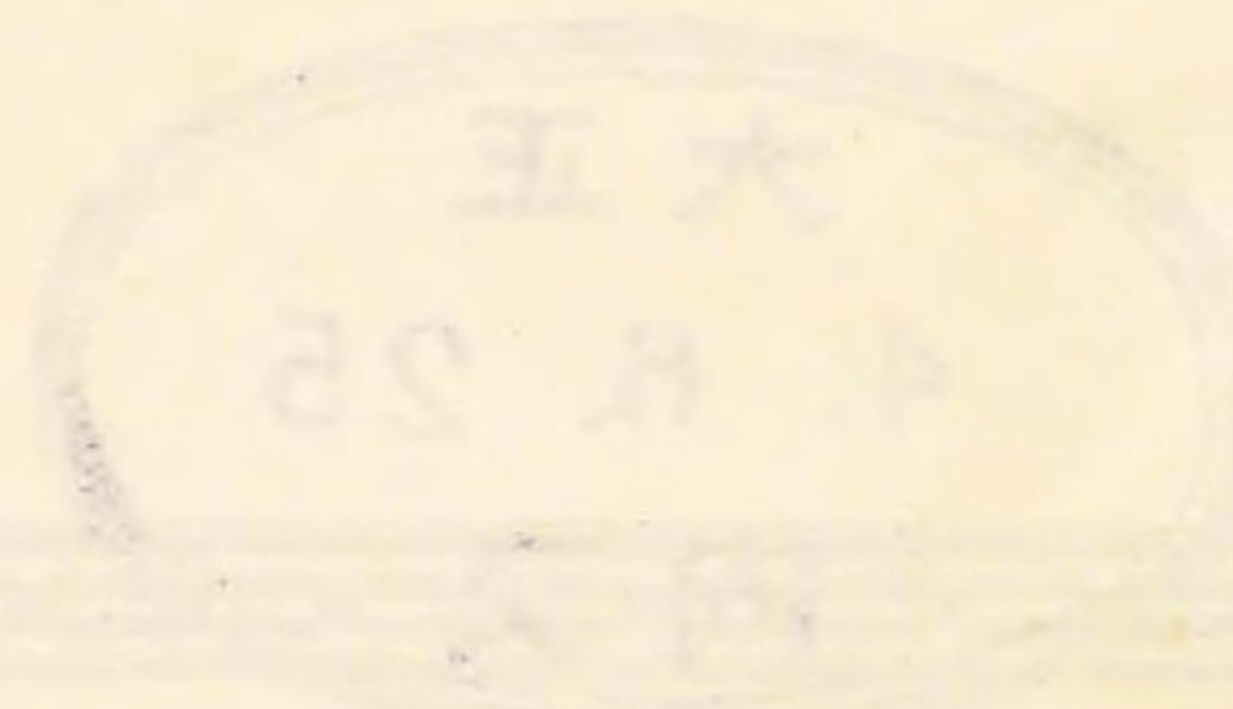
特許局





大正
C2
2463
05
04
日
印
計

大審院判決
特許局審決



凡例

- 一本編ハ大正二年中ノ特許局審決ヲ集録ス
- 一大正二年中ニ於ケル特許局審決ニ對スル大審院判決ハ附録トシテ末尾ニ集録セリ
- 一本編編纂ノ順序ハ左ノ如シ
 - 特許局審決
 - 特許審判事件
 - 實用新案審判事件
 - 意匠審判事件
 - 商標審判事件
 - 大審院判決
 - 特許抗告審判事件
 - 實用新案抗告審判事件
 - 意匠抗告審判事件
 - 商標抗告審判事件

特許審決録

特許事件
實用新案事件
意匠事件
商標事件

- 一 目次ハ前項各部ニ付各其初メニ之ヲ附ス
- 一 審決又ハ判決中法則ノ解釋適用ニ關スルモノ其他特ニ注意スヘキモノハ其ノ要旨ヲ目次ノ上欄ニ掲記セリ
- 一 本編集録ノ事件中ニテ上級審ト關聯セルモノハ其下級審ノ目次中ニ其旨ヲ附記セリ
- 一 審決録目次中(請)トアルハ請求人(被)トアルハ被請求人、大審院判決目次中(上)トアルハ上告人(被)トアルハ被上告人ノ略稱ナリ

特許審決録目次

| 審決要旨 | 審判番號 | 件名 | 當事者 | 審決年月日 | 頁數 |
|------|--------|--|--|--------|----|
| | 第二五三號 | 第九六四〇號 改訂特許(捺染機)權利 確認事件 | (請)小川岩之助 (被)藤瀬清一 | 二、二、一八 | 一頁 |
| | 第二四二〇號 | 第二二二七八號 特許(渡邊式抄紙乾燥 機)權利確認事件 | (請)荒井才次 (被)渡邊倉藏 | 二、二、三 | 三 |
| | 第二五二九號 | 第七八九〇號 特許(壘栓)權利確認事 件 | (請)植木雄飛 (被)水野龜松 | 二、二、三 | 六 |
| | 第二五五三號 | 第二〇四三七號 特許(團炭製造機)權利 確認事件 (抗告審判請求) | (請)山崎照親 (被)棚野藤太郎 | 二、二、三 | 九 |
| | 第二一五六號 | 第一三五八六號 特許(人造肥料製造法) 無効事件 (抗告審判請求) | (請)ラシエタ、ジエネ シアンアミード (被)オスカル、フレデ リック、カールソン | 二、二、七 | 三 |
| | 第二四一七號 | 第二〇五〇七號 特許(提灯)權利確認事 件 | (請)小林清吉 (被)中津福次郎 | 二、二、九 | 一五 |

| 審決要旨 | 審判番號 | 件名 | 當事者 | 審決年月日 | 頁數 |
|------|--------|--|--------------------------------------|----------------|----|
| | 第二三三六號 | 第一〇六〇八號 特許(染抜緋製法)權利 確認事件 (大正二年七月二十四日抗 告)審決參照 | (請) 上岡卯之吉 (被) 市川善兵衛 | 二、三、二 二、三、二 | 一七 |
| | 第二五〇八號 | 第一二三八八號 特許(捻金網製造機械) 權利確認事件 | (請) 堀越幸 (被) 大阪金網合名 會社 | 二、二、六 | 二〇 |
| | 第二三九一號 | 第一八三〇四號 特許(西野式綜統開口 機)權利確認事件 | (請) 合資會社米澤 (被) 鐵工場 西野芳太郎 | 二、二、六 | 二四 |
| | 第二三一五號 | 第一七二四九號 特許(絹絲紡績原料製 練法)無效事件 (大正二年十一月二十六日) (抗告)審決參照 | (請) 鐘淵紡績株式 會社 (被) 井上篤太郎 外一名 | 二、二、七 | 二九 |
| | 第二四八六號 | 第一八三三七號 特許(糞尿ヨリ硫酸「ア ンモニヤ」ヲ製造スル 方法)無效事件 (大正二年九月三十日抗告) (審決參照) | (請) 町井正路 (被) 東京硫酸肥料株 式會社 外二名 | 二、二、七 | 三三 |
| | 第二五二四號 | 第一三九六七號 特許(改訂絲精製裝置) 權利確認事件 (抗告)審判請求 | (請) 依田七五郎 (被) 大野幸太郎 | 二、二、七 | 三六 |

| 審決要旨 | 審判番號 | 件名 | 當事者 | 審決年月日 | 頁數 |
|------|--------|--|---------------------------------|-------|----|
| | 第二五四六號 | 第一六九八四號 特許(中田式日立テ幅 板)權利確認事件 | (請) 中田松治郎 (被) 安彦松治郎 | 二、三、七 | 三九 |
| | 第二五四四號 | 第二〇二一四號 特許(橋野式噴霧器)權 利確認事件 (大正二年九月二十日抗告) (審決參照) | (請) 橋野定吉 (被) 小川太郎四郎 | 二、三、三 | 四四 |
| | 第二五三五號 | 第一五五三四號 特許(衛生防臭器)權利 確認事件 (大正二年七月十五日抗告) (審決參照) | (請) 園田才治 (被) 衛生防臭器製 造合資會社 | 二、三、四 | 四八 |
| | 第二五七四號 | 第九〇七〇號 改訂特許(安全火燧)權 利確認事件 | (請) 吉野源次郎 (被) 小林重正 | 二、三、五 | 四九 |
| | 第二五七三號 | 第九〇七〇號 改訂特許(安全火燧)權 利確認事件 | (請) 吉野源次郎 (被) 小林重正 | 二、三、五 | 五三 |
| | 第二四七五號 | 第一八六四四號 特許(洗眼器)無效事件 (大正二年七月九日抗告審 決參照) | (請) 千々和政喜 (被) 中原孫助 | 二、三、三 | 五九 |
| | 第二四四六號 | 第一八二六一號 特許(絞織機)權利確認 事件 (抗告)審判請求 | (請) 藤家吉之助 (被) 岩崎伊助 外一名 | 二、三、三 | 六一 |

第二五三五號
一硫酸ヲ用キテ「アンモ
ニヤ」ヲ吸收セシムル
コトハ普通ニ知ラル所
ナリ

| 審決要旨 | 審判番號 | 件名 | 當事者 | 審決年月日 | 頁數 |
|------|--------|--|--------------------------------|----------------|-----|
| | 第二五六九號 | 第一一〇號 舊韓國特許(腹掛「パツチ」)權利確認事件 (大正二年七月九日抗告審決參照) | (請) 丹羽 莊治郎 (被) 戶田 兵右衛門 | 二、三、六 二、三、六 | 六、四 |
| | 第二四三五號 | 第一七三七〇號 特許(セルロイド)形付法)權利確認事件 | (請) 深川 勝太郎 (被) 永峰 清次郎 | 二、三、六 | 六、七 |
| | 第二三九六號 | 第一七三七〇號 特許(セルロイド)形付法)權利確認事件 | (請) 八木 清次郎 (被) 永峰 清次郎 | 二、三、六 | 七〇 |
| | 第二四〇八號 | (抗告審判請求) 第九五二〇號 特許(水田稻種蒔器)權利確認事件 (大正二年七月九日抗告審決參照) | (請) 黑田 梅太郎 (被) 赤坂 利作 外一名 | 二、四、四 | 七三 |
| | 第二三九三號 | 第九五二〇號 特許(水田稻種蒔器)權利確認事件 (大正二年七月二十九日抗告審決參照) | (請) 黑田 梅太郎 (被) 山本 太三郎 | 二、四、三〇 | 七五 |
| | 第二三九四號 | 第九五二〇號 特許(水田稻種蒔器)權利確認事件 (大正二年七月二十三日抗告審決參照) | (請) 黑田 梅太郎 (被) 速田 仁市郎 | 二、四、三〇 | 七七 |

四

| | | | | | |
|--|--------|--|--------------------------------|---------|-----|
| | 第二六〇四號 | 第二〇二〇五號 特許(中田式輕便把手)權利確認事件 (大正二年十月二十日抗告審決參照) | (請) 北井 菊松 (被) 中田 松治郎 外一名 | 二、四、五、三 | 七九 |
| | 第二六〇五號 | 第一八〇三一號 特許(第二中田式輕便幅板)權利確認事件 (大正二年十月二十三日抗告審決參照) | (請) 信木 富造 (被) 中田 松治郎 | 二、六、三 | 八三 |
| | 第二六〇七號 | 第二〇四三七號 特許(團炭製造機)權利確認事件 (抗告審判請求) | (請) 對馬 照卓 (被) 山崎 照親 外一名 | 二、六、一 | 八七 |
| | 第二六〇三號 | 第一六四三〇號 特許(中田式輕便把手)權利確認事件 (大正二年十一月二十六日抗告審決參照) | (請) 北井 菊松 (被) 中田 松治郎 外二名 | 二、六、二、六 | 九三 |
| | 第二六〇六號 | 第二〇四九六號 特許(輕便自立テ幅板)權利確認事件 (大正二年十一月二十六日抗告審決參照) | (請) 神田 政吉 (被) 中田 松治郎 外五名 | 二、六、二、六 | 九七 |
| | 第二六二三號 | 第二一九八〇號 特許(八重菜)權利確認事件 (抗告審決參照) | (請) 露木 重三 (被) 伊藤 伊三郎 | 二、七、九 | 一〇一 |
| | 第二三三七號 | 第二二三〇八號 特許(電氣絕緣物)無效事件 | (請) 石渡 幸之助 (被) 佐藤 美代志 | 二、七、一 | 一〇四 |

五

審決要旨

審判番號

件

名

當

事

者

審決年月日

頁數

第二六三七號

第三六〇三號
特許(茶焙乾器)權利
認事件

(請)望月發太郎
(被)鈴木金藏

二、七、三
一〇七

第二六三六號

第二七七一號
特許(茶葉採捻機)權利
確認事件

(請)望月發太郎
(被)川口隆平

二、七、三
一〇八

第二六二八號

第一七二〇二號
特許(高砂麥製造法)權利
確認事件

(請)明石梅吉
(被)三澤要次郎

二、七、五
一一〇

第二六三三號

第一七九三六號
特許(卷絲繩製造機)權利
確認事件

(請)水野進平
(被)吉井忠五郎

二、八、五
一一三

第二六一二號

第二〇四三七號
特許(團炭製造機)權利
確認事件

(請)松原幸二
(被)山崎照親

二、八、八
一二六

第二五七〇號

一特許法第五條第二項中ノ特許權存續中云々ノ規定ハ同一人ノ發明ニ對シテモ同一場合ニハ適用ナキモノニシテ只人發明者カ特許權ヲ得ルニ出願シタル場合ニ於テ同法第四條ニ依リテ特許權拒絶ノ結果ニ依リシメシカメニ設ケタル規定ナリ

第二五七〇號

第二三三九六號
特許(安定珪瑯鍋)無效
事件

(請)井上彌七
(被)河野豐次郎

二、八、〇
一二八

第二六八六號

第一八〇七〇號
特許(精米機)權利
確認事件

(請)山田鐵治郎
(被)大友豐太郎

二、九、〇
一三三

第二四九九號

第一二二三八八號
特許(捻金網製造機械)
無效事件

(請)大阪金網合名會社
(被)堀越幸

二、一〇、五
一二六

第二五二五號

第一九四〇五號
特許(元祿金網)權利
確認事件

(請)高木綱次郎
(被)古賀耕之

二、一〇、五
一二九

第二五九二號

第一四三三三號
特許(清水式無砂精米兼糶摺機)無效事件

(請)常見盛二
(被)清水藤右衛門

二、一〇、八
一三三

第二五〇九號

第一六七〇六號
特許(鐵版式麥摺器)權利
確認事件

(請)赤井市太郎
(被)樞根逸郎

二、一、七
一三四

第二七二四號

第一六一二〇〇號
特許(織物製造法)權利
確認事件

(請)豐田太平
(被)須藤由次郎

二、二、五
一三八

第二七二六號

第一六一二〇〇號
特許(織物製造法)權利
確認事件

(請)原田森太郎
(被)須藤由次郎

二、二、五
一四〇

第二六三一號

第二三〇二一號
特許(輕便鐵索輸送裝置)無效事件

(請)靜岡安倍材木商同業組合
(被)竹林喜作

二、二、五
一四三

第二五〇九號

一特許權存續中云々ノ規定ハ同一人ノ發明ニ對シテモ同一場合ニハ適用ナキモノニシテ只人發明者カ特許權ヲ得ルニ出願シタル場合ニ於テ同法第四條ニ依リテ特許權拒絶ノ結果ニ依リシメシカメニ設ケタル規定ナリ

| 審決要旨 | 審判番號 | 件名 | 當事者 | 審決年月日 | 頁數 |
|------|--------|---|---------------------------------|-------------|----|
| | 第二五八九號 | 第一八一〇六號 特許(テーエンドウ イモ大小縫綴「ミシ ン」無効事件 (抗告審判請求) | (請) 八角 高治 (被) 堀 榮 吉 | 二二二七 一四五 | |
| | 第二六八五號 | 第一三二四一號 改訂特許(製綿機)無効 事件 | (請) 木屋 政治郎 (被) 佐合 民治 | 二二二二 一四七 | |
| | 第二七〇〇號 | 第一六一〇〇號 特許(織物製造法)無効 事件 (抗告審判請求) | (請) 殿岡 小三郎 (被) 須藤 由次郎 外一名 | 二二二五 一五〇 | |
| | 第二七〇三號 | 第一六四三〇號 特許(中田式輕便把手) 權利確認事件 | (請) 中田 松治郎 (被) 信木 富藏 | 二二二三 一五三 | |
| | 第二六九六號 | 第七八九〇號 特許(壘栓)權利確認事 件 | (請) 植木 雄飛 (被) 水野 龜松 | 二二三三 一五 | |
| | 第二七一三號 | 第一六八五六號 特許(尾錠)無効事件 | (請) 佐藤伊右衛門 (被) 小島 録助 | 二二二五 一五 | |

特許審決錄

第二千五百十三號



東京市本所區柳島町十九番地
同 市日本橋區蠣殼町三丁目十一番地特許審理士
佐賀縣佐賀郡巨勢村字牛島八番地
請求人 小川 岩之助
右代理人 三上 七郎
被請求人 藤 瀬 清 一
主文 請求人ノ申立相立タス
審判費用ハ請求人ハ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ特許第一三二二號ハ改訂特許第九六四〇號ニ撞着ス審判費用ハ被請
求人ノ負擔トス

六四〇號捺染機トノ發明ノ要部ヲ對照比較スルニ彼此多少ノ相違ナキニアラスト雖發明ノ精神同一ナ
ルノミナラス前者ノ轉軸トテト後者ノ轉軸トヘト及前者ノ導染軸トニホト後者ノ導染軸トニホトハ構造均等
ナルカ故ニ彼此ノ權利ハ互ニ撞着スルモノト云ハサルヘカラス即前者ニ於テハ轉軸トテト導染軸トニホ
ト同一方向ニ回轉スルカ故ニ染液ノ供給夥多ニ過キ印刷模様ハ曖昧トナリ完全ニ捺染ノ目的ヲ達スル
コト能ハス又均杆リ又ハ染液ノ過不足ヲ平均調節スルモノト云フモ事實無用ノ長物タリ又前者ニ於テ
ハ媒軸又ヲ稍斜メニ昇降シ染料供給ノ多少ヲ加減スル装置ヲ缺如スルモ實際ニハ窃カニ之ヲ使用シツ

ツアル點ヨリ見ルモ前者ハ後者特許ト撞着スルモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ特許第一三一二三號ハ改訂特許第九六四〇號ト撞着セス審判費用ハ請求人ノ負擔タルヘシト審決相成度其ノ理由ハ改訂特許第九六四〇號ノ要點トスル處ハ軸周ニ媒布ヲ被包セル媒軸ト水槽ノ上部一端ニ螺旋ヲ具フル槓杆狀ノ軸受ト兩端ニ制輪ヲ具フル相對接スル轉軸トヨリナル三ノ組合ナリトス然ルニ特許第一三一二三號ノ要點トスル所ハ適宜ノ型ヲ刻セル相對接ノ轉軸ト適宜ノ含液資料ヲ卷附セル導染軸ト毛織物等ヲ卷附セル均杆トヨリナル三ノ組合ナリ右兩者ヲ比較スルニ其ノ大ナル差異ニツアリ第一ハ前者ハ水槽上部一端ニ螺旋ヲ具フル槓杆狀ノ受軸アリテ後者ニハ之ヲ具ヘス而シテ後者ニハ毛織物等ヲ卷附セル均杆ヲ具フルモ前者ニハ之ヲ具ヘス第二ハ前者ノ導液軸ノ回轉方向ハ型轉軸ト反對ニシテ後者ノ導液軸ノ回轉方向ハ型轉軸ト同一ナリトス約言セハ一ハ型轉軸ニ於ケル染液調節作用ノ差異ニシテ一ハ導染軸回轉方向ノ差異トス前記二點ハ明カニ兩者ノ相異スル處ヲ示スモノナレハ兩特許ハ何等撞着スルコトナシト云フニアリ

審決ノ理由 本件改訂特許第九六四〇號發明ノ要部ハ其明細書ニ記載スル如ク輦周ニ媒布ルヲ被包セル媒軸又ニ槓杆狀ノ軸受ヲト上部一端ニ螺旋ヲ具フル水槽ニ曲杆トノ組合ト輦周ニ數多ノ周溝ヲ列穿シテ凸凹トヲ形成シ彼此凸所ト對接スヘク並架シ其兩端ニ制輪ヲ具フル轉軸(ヘ)ト中央ニ透孔(ロ)ヲ具フル臺(イ)トヨリ成ル捺染機ナルコト明ニシテ其趣旨トスル點ハ轉軸(ヘ)ニ接觸シ然カモ該轉軸ノ回轉ニヨリテ回轉スヘキ媒軸又ヲ水槽中ニ入レ媒軸又ヲ軸受ヲ、螺旋ヲノ手段ニヨリテ轉軸ト媒軸トノ接觸程度ヲ調節シ染色ノ濃淡ヲ加減セントスルニアルモノト認ム故ニ本件特許ニ於テハ轉軸ト媒軸トハ回轉方向ヲ異ニスルヲ必要條件トナスモノナリ次ニ特許第一三一二三號ノ發明

ノ要部ハ其明細書ニ記載シアル如ク適宜ノ型(ヘ)ヲ刻セル轉軸ト(チ)ト之レト同方向ニ回轉スヘキ適宜ノ含液資料ヲ卷附セル導染軸ト(ホ)ト毛織物若クハ其他適當ノ資料ヲ卷附セル均杆ト(リ)又トヨリナル捺染機ニシテ前記特許即チ改訂特許第九六四〇號ニ於ケルカ如ク導染軸ト(ホ)ハ轉軸ト(チ)ト相接觸スルモ同方向ニ回轉セシムヘク特ニ機構ヲ用フルノミナラス接觸程度ヲ調節スヘキ手段ヲ用ヒス且ツ前者ニ有セサル均杆(リ)又ヲ装着スル等其考案ノ根本ヲ異ニスルモノト認ム而シテ請求人ハ被請求人ニ於テ實際上轉軸ト導染軸ト反對方向ニ回轉セシメ又此兩軸ノ接觸程度ヲ調節スル裝置ヲ使用スルモノナリト主張スルモ斯ハ別箇ノ事件ニ屬シ本件請求ニ於テハ審理スヘキモノニアラス何ントナレハ本件審判請求ハ改訂特許第九六四〇號ト特許第一三一二三號トノ權利確認事件ニシテ特許第一三一二三號ヲ變形シタル構造ヲ有スルモノニ對シテノ確認審判ニアラサルヲ以テナリ叙上ノ理由ニヨリ特許第一三一二三號ハ改訂特許第九六四〇號ノ權利ノ範圍ニ屬セス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月十八日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千四百二十號

新潟縣中蒲原郡村松町字上町甲千八百四十一番地

請 求 人 荒 井 才 次

新潟縣中蒲原郡村松町字馬場町甲千七百九十番地
東京市神田區錦町一丁目一番地特許辨理士
新潟縣中蒲原郡村松町字上町甲二千三百三十九番地

請求人 鈴木 玉市
右代理人 松澤 音次郎
被請求人 渡邊 倉藏

四

右當事者間ノ第二一二七八號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 甲第一號證〔圖面〕ノ才玉式乾燥器ノ構造ハ特許第二一二七八號渡邊式抄紙乾燥機ノ權利ノ範圍ニ

屬ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第二一二七八號特許渡邊式抄紙乾燥機ハ請求人等ノ製造販賣セシ甲第一號證才玉式乾燥器ト撞着セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件特許ノ要點トナス特殊ノ構造ハ乾燥機上面一端ニ安全箱兼水壓箱ヲ具ヘタルト底面ヲ波狀ニ屈曲セシメ受熱面ヲ大ナラシメタルトノ組合ニアルハ明白ナリトス而シテ乾燥機内ノ水ヲ温メ其温水ヨリ生スル蒸氣ニヨリ間接ニ又ハ温水ニヨリ直接ニ上面ノ抄紙貼板ヲ温ムルコト又函内ニ生スル蒸氣ヨリ來ル危險ヲ豫防スル爲メ蒸氣抜穴等ヲ設クル等ノ構造ノ如キハ已ニ數年以前ヨリ一般ニ公知施行セラレタルモノナレハ本特許ニ於テ初メテ發明セラレタルニアラス從テ本特許ノ權利範圍ニ含マレサルナリ故ニ請求人等ノ製造販賣セシ甲第一號證ノ才玉式乾燥器ハ只公知ニ屬スル構造ヲ應用シ他ニ使用者ノ便益ヲ計リ改良ヲ施シタルモノニ過キス彼此其ノ構造ヲ異ニスルモノナリト云フニアリテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ甲第一號證ノ才玉式乾燥器ハ第二一二七八號特許渡邊式抄紙乾燥器ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件特許ノ權利ハ上面ノ一端ニ安全箱兼水壓箱ヲ具ヘテ乾燥機函内ニ生スル湯氣ヲ發散セシメ安全ニ危害ヲ豫防セシムルト適度ニ傾斜セシメテ竈ニ架シ安全箱兼水壓箱ノ過半ニ至ル迄温湯ヲ充シ水壓ノ爲メ乾燥貼面ノ内面ニ平等ニ温湯ヲ接觸セシメ温度ヲ平均ナラシメテ其上面ニテ抄紙ヲ乾燥セシムルト同時ニ乾燥機函内ニ生スル湯氣ノ上昇發散ヲ容易ナラシムルト其底面ヲ波狀ニ屈曲セシメテ受熱面ヲ大ナラシメタル抄紙乾燥機ニシテ前記箱ハ函内ニ鬱積スレハ害ヲナサントスル水蒸氣ヲ其通有性ヲ利用シテ空中ニ發散セシムル方法ト水壓力ヲ利用シテ抄紙貼面内部全面ヲ温湯ニ接觸セシムル方法ハ實ニ本件特許ノ要點ナリ而シテ甲第一號證乾燥機ニ於テ貯水函内ニアル水ハ補水管ニヨリテ乾燥機内ノ水ト通スルヲ以テ函水ハ抄紙貼面ヨリ函水表面ニ至ル高サニ對スル水壓力ヲ以テ抄紙貼面内部ヲ壓シ從テ貼面内部ハ一樣ニ液體ニ接觸スル等本件特許ノ構造ヲ聊變形シタルニ過キス要スルニ本件特許ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト云フニアリ

審決ノ理由 本件特許第二一二七八號渡邊式抄紙乾燥機ノ發明ノ要部ハ其明細書請求範圍ニ記載シアル

如ク其上面ノ一端ニ安全箱兼水壓箱□ヲ具ヘテ乾燥機函内ニ生スル湯氣ヲ發散セシメ安全ニ危害ヲ豫防セシムルト適度ニ傾斜セシメテ竈ニ架シ安全箱兼水壓箱□ノ過半□ニ至ル迄テ温湯ヲ充シ水壓ノ爲メ乾燥機貼面□ノ内面ニ平均ニ温湯ヲ接觸セシメ温度ヲ平均ナラシメテ其上面□ニテ抄紙ヲ乾燥セシムルト同時ニ乾燥機函内ニ生スル湯氣ノ上昇發散ヲ容易ナラシムルト其底面ヲ波狀ニ屈曲セシメテ受熱面ヲ大ナラシメタル波狀部□ノ如ク構成シタル構造ニアルヤ明ナリ故ニ本發明ノ精神ハ抄紙ノ貼付面ノ内部即チ乾燥機函内ヲ全部温湯ヲ以テ滿シ該面ヲ温湯ニ接觸セシメ平等ニ熱ヲ與ヘ且ツ函内ニ蓄積セントスル蒸氣壓ヲ貼付面ノ傾斜ト水壓箱トニ依リテ調和シ危害ナカラシムル點ニアルモノト認ムルヲ至當トシ底面ヲ波狀ニ屈曲スルカ如キハ枝葉ナル構成部分ニ屬スルモノト云ハザル可ラス而シ

五

テ請求人カ製造販賣セシ甲第一號證圖面及說明ニ示ス才玉式乾燥機ハ乾燥器筐ノ抄紙貼板(イ)ヲ一平面トナシ筐内ニ水ヲ滿シ竈(ハ)内ニ投火スレハ筐内ノ水ヲ温メ抄紙貼板(イ)ノ面ハ温湯ニ接觸シ平等ニ熱ヲ傳フルコトヲ得且ツ其底面ヲ傾斜セシメ先端ニ空氣拔管(チ)ヲ定着シ貯水罐(ハ)内ニ開口セシメ該貯水罐(ハ)ト前記筐トハ補水管(ト)ヲ以テ連結セルヲ以テ筐内ニ蓄積セントスル蒸氣壓ハ管子及貯水罐(ハ)ニ依リテ調和セラレ筐内ノ補水(ハ)管(ト)ニヨリテ供給セラル、カ故ニ結局本機ノ構造ハ本件特許ニ於ケル乾燥機函ト水壓箱トヲ直接ニ連結セシムル換リニ管ヲ以テ間接ニ連結シタルモノニ等ク即チ本件特許ノ發明ノ精神ト全然均等ナルモノト認ムルヲ以テ甲第一號證方玉式乾燥器ノ構造ハ本件特許第二一二七八號ノ權利ノ範圍ニ屬ス而シテ甲第一號證ニ於ケル竈ノ構造ハ本件特許ノモノニ比シ多大ノ相違アルモ前記シタル如ク此等ノ部分ハ單ニ枝葉ニ屬スル構造ナレハ此等ノ相違アルヲ以テ甲第一號乾燥器カ本件特許ノ權利範圍外ナリト云フヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月二十一日於特許局
 審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
 同 押 田 翼
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千五百二十九號

東京市神田區表神保町一番地

請 求 人 植 木 雄 飛

同 市日本橋區本銀町十七番地

被 請 求 人 水 野 龜 松

右當事者間ノ第七八九〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 登録實用新案第二〇五七九號惠比壽壘栓ノ構造ハ特許第七八九〇號ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ製作販賣セル登録實用新案第二〇五七九號惠比壽壘栓ハ請

求人ノ有スル特許第七八九〇號ノ壘栓ノ權利範圍ニ屬スルモノト審決相成度其理由ハ該特許ハ内方ニ彎曲セル一脚及内方ニ彎曲シ更ニ外方ニ屈曲セル一脚ヲ有セル圓筒ヨリ成リ其兩脚ノ彈力ニ由テ壘頸ヲ括扼シ其内部ニ装入セル彈性物ニ據リ壘口ヲ密塞セシムヘク爲シタル壘栓ナリ而モ説明書ニ其脚ヲ二箇以上トナスモ可ナリト記述セルモノナリ而シテ實用新案登録第二〇五七九號惠比壽壘栓モ亦前者特許ノ壘栓ノ要部ヲ悉ク具備シ唯壘栓ノ脚數箇ヨリ成ルト又指掛ト稱スル壘栓ノ一脚ヲ屈曲セルモノヲ有スル差ハアレトモ等シク開放ニ便ナラシムルノ目的ニ他ナク要スルニ脚ノ彈力ニヨリテ壘頸ヲ括扼スルノ點及開閉ノ作用ノ主要ナル點ニ於テ全然異ナル所ナク前者特許ノ發明ヲ使用セシニ外ナラスト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ有スル特許壘栓ノ如ク内方ニ彎曲シテ壘ノ環縁ニ嵌着スヘクナル壘栓又壘栓ノ内部ニ護膜板ヲ嵌着スルカ如キ又各種ノ開閉具ニ於テ之ヲ開放シ易カラシメン爲メ指掛用ノ突片ヲ設クルコトモ既ニ該特許前ヨリ公知公用セラル、モノニシテ單ニ此ノ部分ニノミ特許ノ權利ノ存スルニアラサルナリ該特許ノ權利範圍ハ其特許請求範圍ニ明記セルカ如ク圓筒狀ノ上部ニ凸縁(リ)ト下部ニ内方ニ彎曲セル脚(ロ)ト内方ニ彎曲シ其先端ト外方ニ屈曲セル脚(チ)ヲ具ヘ被蓋(イ)ノ内部上端ニ嵌入スヘキ彈性ノ塞子(ハ)

ヲ組合セタル構造ナルコト明カナリ然ルニ登録實用新案第二〇五七九號壕栓ハ大黒帽子ノ形状ヲ成シタル栓頭ノ周側下垂縁數箇所ニ圓槌狀ノ切缺ヲ設ケ上方ヲ窄メ彈爪ハ壕口ニ彈嵌シ易カラシムヘク稍開大セシメテホナル狹窄部ヲ形成シ内部ニ護膜板ヲ嵌着シタル總テノ部分ヲ具備シタル考案ナルコト該登録ノ圖面及ヒ説明ニヨリテ明カナリ由是視之登録實用新案第二〇五七九號ハ特許第七八九〇號ノ特許權利範圍ニ屬スルモノニアラサルコト分明ナリト云ヒ其ノ主張ヲ確ムルタメニ乙第一號證ヲ提出シ且ツ證人訊問ノ申請ヲナセリ

八
審決ノ理由 本件特許第七八九〇號壕栓ノ權利ハ其ノ明細書ニ記載シアル如ク圓筒狀ノ上部ニ凸縁リト下部ニ内方へ彎曲セル脚[□]ト内方へ彎曲シ其先端^下ノ外方ニ屈曲セル脚[○]ヲ具ヘ被篋^イノ内部上端ニ嵌入スヘキ彈性ノ塞子[△]ヲ組合シタル構造ニ存スルモノニシテ明細書中脚[□]及脚[○]ハ二箇以上トナスモ可ナリ又總テノ脚ノ下部ヲ内方へ彎曲セシメ更ニ其先端ヲ外方へ屈曲スルモ妨ケナシノ説明アルヲ以テ本件特許ノ權利ハ脚[□]ノ數ニ關係ナク又下部ヲ内方へ彎曲セシメ更ニ其先端ヲ外方へ屈曲セシムヘク構造サレタルモノヲモ亦本件特許ノ權利ナリト云ハサルヲ得ス而シテ登録實用新案第二〇五七九號壕栓ノ構造ハ其説明書ニ記載シアル如ク栓頂^イノ頂部ニ凸縁ヲ設ケ栓頂^イノ下縁周圍ニハ指掛[□]及ヒ數箇ノ彈爪^ハヲ造リ彈爪^ハヲ壕口ニ彈嵌シ易カラシムヘク栓口ヲ稍開大セシメタル狹窄部^ホヲ具備シ且栓頭^イノ内部ニ護膜板^ニヲ嵌着シタルモノニシテ其權利ハ栓蓋ノ周側下垂縁ニ設ケタル彈爪^ニノ下端ニ指掛[□]ヲ設ケタル構造ニ存スルモノトス故ニ此兩者ノ權利トナス點ヲ比較スルニ後者ニ於ケル栓蓋ノ周側下垂縁ニ設ケタル彈爪^ニハ前者ノ脚[□]ニ全然同一ナリ又彈爪^ニノ下端ニ指掛[□]ヲ設ケタル構造ハ前者ノ脚[○]ニ該當シ兩者ノ構造同一ニシテ其間何等ノ差異ナキモノト認ム而シテ第七八九〇號特許ハ明治三十七年十月四日ノ出願ニ係リ本件登録實用新案ハ明治四十四年二月十日ノ出願ニ係ルカ

故ニ本件登録實用新案ハ本件特許ノ權利範圍ニ屬スルモノトス又被請求人ハ各種ノ開閉具ニ於テ開放シ易カラシメンカ爲メ指掛用ノ突片ヲ設ケルコトハ本件特許出願前ヨリ公知公用セラル、モノナリト主張シ乙第一號證ヲ提出スル乙第一號證ノ構造ハ被篋ニ該當スルモノナリ從テ塞子ヲ具備セサルヲ以テ本件特許ニ比シ其目的及構造ヲ異ニスルモノト認ムルヲ以テ被請求人ノ主張ハ之ヲ採用スルコトヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス
大正二年一月三十一日於特許局

審判長 特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎
同 村 山 小 次 郎

第二千五百五十三號

大阪市西區泉尾町一番地 請 求 人 山 崎 照 親
同 市南區安堂寺橋通四丁目二百三十五番屋敷特許辨理士 右 代 理 人 山 内 香
同 市西區北堀江裏通一丁目四番地 被 請 求 人 羽 野 藤 太 郎
同 市東區道修町五丁目一番地特許辨理士 右 代 理 人 近 藤 貞 三
右當事者間ノ第二〇四三七號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ登録實用新案第二二四六號羽野式煉炭製造機械ニ於テ壓縮型⑧、氣孔型⑨、押出型⑩、形成輪Ⅰ及氣孔型⑨ノ下端ト一致スヘク孔ヲ穿チタル底型(第五圖参照)ヨリ成ル部分ノ構造ハ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ發明ニカ、ル特許第二〇四三七號團炭製造機ハ團炭ヲ壓形シ且ツ其ノ團炭ニ孔ヲ穿チ然モ團炭ノ壞損スルコトナカラシムル目的ノ爲ニ造ラレ壓杆座⑧、壓杆Ⅰ②、彈線⑨、套筒⑩、筒型⑪、底型⑬等ヲ具備スル構造ヲ權利範圍トスルモノナリ被請求人ノ考案ナル登録實用新案第二二四六號羽野式煉炭製造機械ハ前記特許團炭製造機ノ如ク全部構造ヲ權利範圍トスルモノナレトモ其構造ノ一部タル壓縮型⑧、氣孔型⑨、押出型⑩、形成輪Ⅰ及氣孔型⑨ニヨリテ煉炭ニ縱孔ヲ押シ抜クニ支障ナカラシメタル底型即チ第五圖氣孔型⑨ノ下端ニ示セル孔ヲ穿チタル底型管ヨリ成ル部分ノ構造ハ前記特許ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス且ツ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ本件特許ノ請求範圍ヲ看ルニ壓杆座⑧ノ下端ニ壓杆Ⅰ②ヲ固着シテ具ヘ而シテ壓杆座⑧ニ彈線⑨ヲ捲付シ壓杆Ⅰ②ノ挿入サル、孔ⅠⅠヲ底面ニ穿テタル套筒⑩ヲ被ヒ彈線⑨ノ伸縮ニ依リ挿入サルヘクシタルモノト筒型⑪ト孔⑫⑬ヲ穿テタル底型⑬トヲ具フル團炭製造機トアリ換言スレハ之等諸部分ヲ結合シタル團炭製造機ニ付特許ヲ許可セラレタルモノナリ之ニ反シ被請求人ノ機械ハ實用新案公報ニ掲載シタル如ク圖面ニ示セル全部ノ構造ヲ具備シタル羽野式煉炭製造機械ニシテ兩者カ互ニ撞着スルモノトスレハ須ラク兩機械カ互ニ撞着セルモノナルコトヲ請求人ニ於テ立證セサルヘカラス被請求人ニ於テハ毛頭斯ル撞着ヲ兩者ノ上ニ發見セス且ツ請求人ハ壓杆座⑧、壓杆Ⅰ②、彈線⑨、套筒⑩、筒

型⑪、底型⑬等ヲ具備スル構造ヲ權利範圍トスルモノハ自己ノ特許權利範圍ヲ妄大ニ考ヘ偶々一部形狀ノ類似カスル誤斷ヲ惹起セシメタルニアラサルカト云フニアリ

審決ノ理由 本件特許第二〇四三七號團炭製造機ノ權利ハ其明細書請求範圍ニ記載シタル如ク壓杆座⑧ノ下端ニ壓杆Ⅰ②ヲ固着シテ具ヘ而シテ壓杆座⑧ニ彈線⑨ヲ捲付シ壓杆Ⅰ②ノ挿入サル、孔ⅠⅠヲ底面ニ穿テタル套筒⑩ヲ被ヒ彈線⑨ノ伸縮ニ依リテ挿入サルヘクシタルモノト筒型⑪ト孔⑫⑬ヲ穿テタル底型⑬トヲ具フル構造ニアルヤ明カナリ而シテ請求人カ本件特許ノ權利範圍ニ屬スト主張スル登録實用新案第二二四六號羽野式煉炭製造機械ニ於ケル壓縮型⑧、氣孔型⑨、押出型⑩、形成輪Ⅰ及氣孔型⑨ノ下端ト一致スルヘク孔ヲ穿チタル底型ヨリ成ル部分ノ構造ヲ見ルニ壓縮型⑧、氣孔型⑨、押出型⑩ハ一ノ昇降梁⑦ニ別箇ニ定着セラル、ヲ以テ昇降梁⑦ノ一衝程毎ニ原料タル煉炭ヲ第一ニ壓迫作用第二ニ穿孔作用第三ニ押出作用ヲ順次ニナスモノニシテ本件特許ノ如ク一ノ滑「ブロック」③ニ壓迫作用ヲナスヘキ套筒⑩穿孔作用ヲナスヘキ壓杆Ⅰ②及押出作用ヲナスヘキ彈線⑨ヲ具備シタルモノト其構造全然相異スルモノニシテ從ツテ滑「ブロック」③ノ一衝程毎ニ煉炭原料ヲ壓迫、穿孔、押出ノ三作用ヲ同時ニ成サシムルモノニアラス又形成輪Ⅰ及氣孔型⑨ノ下端ト一致スルヘク孔ヲ穿チタル底型ハ本件特許ニ於ケル筒型⑪ト孔⑫⑬ヲ穿チタル底型ト全然均等ノ構造ヨリ成ルモノナレトモ本件特許ノ權利ハ前記シタル如ク特殊ノ構造ヨリ成ル壓迫、穿孔、押出ノ三作用ヲナスヘキ部分ト筒型及底型トノ結合ニ存スルヲ以テ單ニ筒型及底型ノミニ本件特許ノ權利ノ及フヘキモノニアラス而シテ本件登録實用新案ノ如キ壓迫、穿孔、押出ノ三作用ヲナスヘキ部分ト筒型底型トノ結合ト本件特許ニ於ケル前記ノ結合トハ叙上説明シタル理由ニヨリ其ノ構成ヲ異ニナシタル結合ナルヲ以テ之レヲ部分的ニ見ルモ又結合トシテ見ルモ共ニ本件登録實用新案ノ構造中請求人カ主張スル部分ノ構造ハ本件特許ノ權利ノ範圍ニ屬セス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月三日於特許局

審判長 特許局技師

一 川

同

押 田

特許局事務官

奧山萬次郎

第二千五百五十六號

伊太利國羅馬グイアテヌ、マセリー六十六番

請 求 人

ソシエタ、ジエネラレ、ベ
ル、ラ、シアンアミード

東京市京橋區明石町四十八番地

右 代 理 人

マック ス、ウオルフ

瑞典國ストックホルム、リッダルス、カタン七番

被 請 求 人

オスカル、フレデリ
ク、カールソン

東京市麴町區八重洲町一丁目一番地特許辨理士

右 代 理 人

ウオルター、オーガス
タス、デ、ハピラント

右當事者間ノ第一三五八六號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 第一三五八六號人造肥料製造法特許ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人申立ノ要領ハ本件第一三五八六號特許ハ特許法第四十九條第一項並ニ同第三十一條

ニ依リ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ本件特許方法即チ「カーバイド」及ヒ螢石ノ混和物ニ窒素ヲ導
致シテ窒素化合物ヲ製生スル方法ノ第一發明者ハ被請求人ニアラスシテ實ニ請求人ニ特許權ヲ讓渡シ

之カ權利保全上本請求事件ニ關シテ利害關係ヲ生セシメタル「チャニード、ゲゼルシヤフト」ナリトス而
シテ「チャニード、ゲゼルシヤフト」ハ本件特許方法ヲ被請求人ノ日本特許出願二年前既ニ公知的且工業
的ニ應用シタルモノニシテ此事實ハ獨逸國特許局ニ於テ認ムル所ニシテ同特許局ニ於テ被請求人ノ特
許ヲ拒絕セルモノレカ爲メナリ又此事實ハ被請求人ノ本件特許方法ノ第一發明者タラサルコトヲ斷定
セシムルモノニシテ被請求人自身モ亦熟知セル所ナラン而シテ本件方法ノ公知ナルコトハ單ニ「チャニ
ード、ゲゼルシヤフト」所屬ノ職工カ其ノ方法ヲ知リシトノ理由ニ基クノミナラス他ノ會社ノ職工及ヒ
使用人カ「チャニード、ゲゼルシヤフト」ノ工場内ニ自由ニ出入シ得タルト工場附屬ノ役員及ヒ職工ニシ
テ解僱セラレタル者ハ罷業後秘密保持ノ義務ヲ有セサルノ事實ニ基クモノナリ尙ホ本件特許ト同様ノ
方法ハ其ノ出願日即チ明治四十年二月二十六日以前既ニ獨逸國及ヒ英國ニ於テ保護セラレタリ之等特
許中獨逸國特許第八八三六三號同第九五六六〇號同第一六三三二〇號及ヒ英國特許第一五〇六六號等
ノ明細書ハ明治三十八年三月三十一日又ハ同三十年二月五日以前ヨリ日本帝國特許局ニ保管セラレア
ルヲ以テ其ノ特許方法ハ既ニ日本國ニ於テモ公知ニ屬ス且ツ被請求人カ始メテ瑞典國ニ於テ出願シタ
ル日即チ一千九百零六年二月二十八日〔明治三十九年二月二十八日〕以前ニ於テモ亦日本國ニ於テ公知ニ
屬ス故ニ本件特許方法ハ特許法第一條ノ規定ニ抵觸シ同法第四十九條第一號ニ依リ無効タルヘキモノ
ナリ尙ホ被請求人ハ「チャニード、ゲゼルシヤフト」ノ發明ヲ冒認シテ特許ヲ受ケタルモノナルヲ以テ特
許法第三十一條ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フニ在リテ其ノ主張ヲ確カムル爲メニ甲第一號證乃
至甲第七號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ本件特許方法ノ最先發明
者ハ「チャニード、ゲゼルシヤフト」ニシテ被請求人ニアラスト主張シ之ヲ支持スルニ獨逸國特許局ノ審

決書ヲ引用セルモ該審決ハ其ノ根底ヲ當時召換セル證人ノ證言ニ置ケリ然レトモ之等證人ノ證言ハ何等價値ナキノミナラス請求人ハ請求人工場ニ於テ本件特許ト同一方法ヲ實施セル事實ハ之ヲ否認ス從テ本件特許方法ハ本證主ノ發明ニシテ而カモ其發明完成前日本帝國内ニ於テ公知ニ屬セサルコトヲ主張ス尙ホ特許法第四條第一號ノ所謂帝國内ナル語ハ日本帝國内ノ意義ナルコト明瞭ナルヲ以テ獨逸帝國内ニ於テ公知ナルカ故ニ日本帝國内ニ於テモ公知ナリト云フ請求人ノ主張ハ不當ナリ又請求人ハ自己ノ有スル獨國特許及ヒ英國特許ヲ引用シテ本件特許方法カ其ノ出願前日本帝國内ニ於テ公知ニ屬スト云フモ右特許方法ト本件特許方法トハ其ノ主要部ヲ異ニセルヲ以テ前記獨國及英國明細書ノ到着カ本件特許方法ノ出願前ナルト以後ナルトハ本件ニ何等關係ナシ今數歩ヲ讓リテ本件特許方法カ同時ニ發明セラレタリト假定スルモ本件特許權發生ハ明治四十一年一月二十八日ニシテ本件審判請求ハ明治四十四年三月二十一日ナルヲ以テ本件請求ハ特許法第九條第二項及ヒ同第百條ニ依リテ不當ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人ノ引用セル英國特許ト本件特許方法トハ其ノ主要部ヲ異ニスルヲ以テ本件特許方法ハ日本帝國内ニ於テハ公知ニ屬セスト云フト雖モ請求人カ引用セル特許局圖書館ノ保管ニ係ル英國特許公報中第一五〇六六號特許明細書記載ノ方法ト本件特許方法トヲ比較對照スルニ前者ハ化學的純「カーバイド」ヲ使用スル際ニ水蒸氣ノ併用ハ絶對的ニ必要ナルモ不純ノ「カーバイド」若ハ窒素化合物ヲ使用スル際ニハ絶對的ニ必要ナラサル旨ノ説明アリ此説明ニ依レハ本發明ノ骨子トスル所ハ炭化「カルシューム」ト「アルカリ」金屬或ハ「アルカリ」土類金屬ノ鹽類トノ混合物ニ窒素ヲ導致シテ熱作用ニ依リ石灰窒素ヲ製スル方法ナリ然ルニ後者モ亦炭化「カルシューム」ニ「アルカリ」金屬或ハ「アルカリ」土類金屬ノ弗化物ノ一種若ハ數種ヲ混シ尙ホ必要ナレハ「アルカリ」土類金屬又ハ

「アルカリ」金屬ノ硫酸化合物ヲ附加シ之ニ窒素瓦斯ヲ通シ該混合物ヲ熱シテ石灰窒素ヲ製スル方法ナリ而シテ弗化物ハ固ヨリ一種ノ「アルカリ」土類鹽ナルコトハ請求人ノ主張ノ如クナルヲ以テ本件特許方法ハ前記英國特許方法ト同一發明ナリト認ム而シテ右英國特許發明明細書カ帝國特許局圖書館ニ到着シタルハ明治三十年二月五日ニシテ本件特許出願日即チ明治四十年二月二十六日以前ナルコトハ甲第七號證ニ依リテ明カナリ從テ本件特許方法ハ特許法第四條第二號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルヲ以テ同法第四十九條ニ依リテ無効ト爲スヘキモノトス又被請求人ハ本件請求ハ特許法第九條第二項及ヒ第百條ニ依リテ不當ナリト抗辯スレトモ該條項ハ發明カ最先ニアラストノ理由ニ依リ特許ヲ無効ト爲スコトヲ得サル場合ノ規定ナルヲ以テ發明カ出願前公然知ラレタルモノナリトノ理由ニ依リ特許ヲ無効ト爲ス場合ニハ其ノ適用ナシ其ノ他當事者間ニ相爭フトコロアルモ審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ加ヘス

仍テ正文ノ如ク審決ス

大正二年二月七日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
同 一 川 一
特許局事務官 田中鐵二郎

請求人 小林清吉

松山市木屋町三丁目四十二番戸

大阪市東區横堀二丁目七十一番屋敷特許辨理士

被請求人 中津福次郎
右代理人 江田邦太

十六

右當事者間ノ第二〇五〇七號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件請求ハ之レヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣スル甲第一號證ノ提灯ハ請求人ノ特許第二〇五〇七號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ甲第一號證ハ提灯内部ノ適宜ノ位置ニ二條ノ鐵線ヲ捻シ合セテ中央部ニ蠟燭ヲ挿入スヘキ輪形ヲ作り其兩端ヲ分チテ提灯ノ外周ニテ支持セシメ蠟燭ヲ倒レサラシメ周邊ノ燃燒ヲ防クヘキ構造ニシテ請求人ノ有スル特許請求範圍タル蠟燭ノ周邊ヲ圍繞セシムヘク鑲ヲ設ケ之レヲ提灯骨ニ適宜聯繫支持セシムルト其效果ニ於テ敢テ差異ナキモノナリト云フニアリテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ本件特許ハ被請求人ノ考案ニ係ル實用新案第一四〇二五號ノ構造ト同一ニシテ請求人ノ本件特許コソ該實用新案ノ權利範圍ニ屬スルモノナリ而シテ被請求人ハ本件特許出願以前ヨリ該實用新案ニ基キ蠟燭不倒安全器ヲ付シタル提灯ヲ製造販賣シタルモノニシテ後出願ニ係ル本件特許ニ依リ制限セラ

ルヘキモノニアラスト云フニアリ

審決ノ理由 本件請求ハ甲第一號證物品カ請求人ノ特許第二〇五〇七號ノ權利範圍ニ屬スヘキモノナリト云フニアレトモ右特許ハ大正元年十一月二十日審判番號第二四八九號請求人佐賀喜平、中津福次郎對被請求人小林清吉間ノ特許第二〇五〇七號ノ無效審判事件ニ於テ無効ナリト審決セラレ而シテ該審

決ハ大正二年一月二十七日確定セシヲ以テ本件請求ハ其請求ノ基礎ヲ缺クモノニシテ之レヲ受理スヘキ限リニアラス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月十九日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千三百七十六號

東京市小石川區丸山町四十三番地

同 市芝區下高輪六十番地

同 市京橋區山城町十四番地特許辨理士

埼玉縣入間郡川越町

東京市日本橋區大傳馬鹽町十三番地特許辨理士

同 市京橋區元數寄屋町一丁目一番地特許辨理士

請 求 人 上 岡 卯 之 吉
同 小 林 藤 次 郎
右 代 理 人 太 田 資 時
被 請 求 人 市 川 善 兵 衛
右 代 理 人 尾 崎 利 中
同 鹽 谷 恒 太 郎

右當事者間ノ第一〇六〇八號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件請求ハ之レヲ却下ス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

十七

申立ノ要領

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣スル甲第三號證染拔緋ハ請求人ノ特許第一〇六〇八號染拔緋製法ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ製造販賣スル甲第三號證染拔緋ハ拔染シ難キ染料中ノ硫化色素ヲ以テ染メタル絲ト硫化色素以外ノ拔染シ難キ染料ヲ以テ下染ヲ爲シ更ニ拔染シ易キ直接染料ヲ以テ上染ヲ爲シタル絲トヲ經緯絲トシ之ヲ任意ニ交織シテ成リタル織物ノ面上ニ型付拔染法ヲ施シテ型模様ノ部分ニ拔染シ難キ下染ノ色合ヲ殘留シ而シテ更ラニ其拔染色面ノ色合ヲ濃厚ナラシムル爲メ其織物ニ上染ヲ爲ス方法ニ係ルモノナリ然ルニ請求人所有ノ第一〇六〇八號染拔緋製造法ハ拔染シ難キ染料中ノ硫化色素ヲ以テ染メタル絲ト直接染料即チ拔染シ易キ染料ヲ以テ染メタル絲ヲ更ニ生藍若クハ「インチゴ」ヲ以テ上染ヲ爲シタル絲トヲ經緯絲トシ無地ニ織成シ米糊、米糠、亞硫酸水、亞鉛末及石鹼トヲ用ユル型付拔染法ヲ施シ硫化色素ノ全部及生藍「インチゴ」ノ一部若クハ全部即チ拔染シ難キ染料ヲ型模様ノ部分ニ殘色セシメテ成ル方法ニ係ルモノナリ以上被請求人ノ製造販賣ニ係ル染拔緋ノ製造法ト請求人ノ特許第一〇六〇八號染拔緋製造法トヲ對照スルニ其拔染シ難キ染料及拔染シ易キ染料ノ用法ヨリ拔染法ヲ施シテ殘色セシムル方法ニ至ル迄共ニ同一ニシテ毫モ相違アルコトナシト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出シ且證人訊問ヲ申請セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ甲第三號證ヲ提出シテ被請求人ノ製造販賣ニ係ルモノナリト云フト雖同號證ハ其成立ヲ認メス何等ノ證據力ナシ元來特許第一〇六〇八號ノ方法ハ特許第九〇五三號ノ利用發明ニシテ第九〇五三號特許ハ無効ニ歸シタルモノナレハ特許第一〇六〇八號ト權利撞着ヲ主張スル者ハ其内ヨリ第九〇五三號ノ範圍ニ屬スル部分ヲ除キタルモノヲ根據トセサルヘカラス故ニ特許第一〇六〇八號中拔染シ難キ硫化色素ヲ以テ染メタル絲ト拔染シ易キ染料ヲ以テ染メタル絲トヲ經緯絲トシ之レニ拔染法ヲ施スカ如キハ之レヲ除外セサルヘカラス畢竟特許第一〇六〇八號ハ拔染シ易キ染料ヲ以テ染メタル絲ヲ更ラニ生藍若クハ「インチゴ」ヲ以テ上染ヲ爲シ之レヲ經緯就レカ一方ニ使用スルト米糊其他一定ノ資料ヲ用フル型付拔染法ヲ施シタルトノ點ヲ以テ發明ノ要部ト爲シタルモノナリ然ルニ被請求人ノ製造販賣スル染拔緋ハ拔染シ難キ染料ヲ以テ染メタル絲ト拔染シ易キ染料ヲ以テ染メタル絲トヲ經緯絲トシテ任意ニ交織シタル織物ノ面上糯粉米糠「ハイドロサルファイト」等ヨリ成ル普通ノ型糊ヲ施シ白拔色ヲ顯ハシ後織布ノ全體ヲ染液ニ浸シテ青味ヲ付シタルモノニシテ古來公知公用ノ方法ニ外ナラス特許第一〇六〇八號ノ要部ヲ使用スルコトハ毫モ被請求人ノ關知セサル所ナリト云フニアリテ乙第一號證乃至乙第五號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由

請求人ハ被請求人ノ製造販賣スル甲第三號證染拔緋ハ請求人ノ特許第一〇六〇八號染拔緋製造法ノ權利範圍ニ屬スト主張セリ依テ先ツ被請求人カ甲第三號證染拔緋ヲ製造販賣セシ事實ニ付審案スルニ請求人提出ニ係ル甲第四號證ノ一及二並ニ證人桑田與三郎及田邊正助ノ證言ニ依レハ甲第三號證物品ヲ桑田與三郎並ニ田邊正助カ請求人ニ販賣セシコトハ認メ得ヘキモ被請求人カ之レヲ製造販賣セシコトヲ認ムルヲ得ス又桑田與三郎ノ證言中「被請求人カ甲第三號證物品ヲ製造販賣セシ事項ニ關スル陳述ハ單ニ傳聞ニ基クモノナルカ故ニ之レヲ信憑シ得サルノミナラス田邊正助ノ陳述中ニモ被請求人ノ製造販賣ニ關スル事項ナシ要之被請求人カ本件請求ノ目的タル甲第三號證物品ヲ製造販賣セシコトニ付キ何等證據ノ認ムヘキモノナキカ故ニ本件請求ハ之レヲ却下スヘキモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十一日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
同 塚本信治
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千五百八號

大阪市西區阿波座二番町一番地
東京市麴町區下二番町三十六番地特許辦理士
大阪市西區立賣堀北通四丁目五番地

請求人 堀越幸
右代理人 竹内賀久治
被請求人 大阪金網合名會社
右代表者

同 市東區淡路町五丁目十四番地特許辦理士 右代理人 江田邦太

右當事者間ノ第一二二八八號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 特許第二一一六〇號龜甲形金網編織器械ノ一部ヲナセル半圓形杆ノ中心ニ線金ヲ貫通スヘキ孔ヲ穿テ中央背面ニハ並列縱溝ヲ設ケテ成ル絲道67及之ト同形ノ絲道A Bニ箇ヲ以テ一組トナスヘクナシ之ヲ合スレハ恰モ一箇ノ齒輪ヲ形成セラルヘク且ツ絲道A Bハ左右運動板29ト絲道回轉板37トニ藉テ左右若シクハ回轉運動ヲナシ以テ捻金網ヲ編織スヘクナシ且ツ絲道A Bハ左右運動板29ト絲道回轉板37トニ藉テ左右若シクハ回轉運動ヲナシ以テ捻金網ヲ編織スル機構及其裝置ハ特許第一二二八八號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ特許第二一一六〇號龜甲形金網編織器械ノ一部ヲ成セ

ル半圓形杆ノ中心ニ線金ヲ貫通スヘキ孔ヲ穿テ中央背面ニハ並列縱溝ヲ設ケテ成ル絲道67及之レト同形ノ絲道A Bニ箇ヲ以テ一組トナスヘクナシ之レヲ合スレハ恰モ一箇ノ齒輪ヲ形成セラルヘク且絲道A Bハ左右運動板29ト絲道回轉板37トニ藉テ左右若シクハ回轉運動ヲナシ以テ捻金網ヲ編織スヘクナシタル機構及其ノ裝置ハ請求人所有ノ特許第一二二八八號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ請求人所有ノ特許第一二二八八號及被請求人所有ノ特許第二一一六〇號ノ撞着スル諸點ヲ比較對照スルニ後者ノ半圓形杆ノ中心ニ孔ヲ穿テ中央背面ニ併列縱溝ヲ設ケテ成ル絲道67ハ前者ノ半圓形杆ノ中心ニ孔ヲ穿テ其ノ中央背面ニ併列シタル縱齒型ヲ設ケタル半形齒輪ニ相等シク又後者ノ左右運動板29ハ前者ノ上部溝柁ヲニ後者ノ絲道回轉板37ハ前者ノ齒棒ヨニ後者ノ撚合部68ハ前者ノ下部溝柁ヲニ夫々相等シク共ニ撞着ス從テ該兩裝置及操作即チ後者ノ絲道A Bハ撚合部68内ニ於テ互ニ相合シA絲道ハ左右運動板29ノ運動ニヨリ一列ニ移動シ隣接ノB絲道ニ合シテ再ヒ一組トナルヘク又B絲道ハ絲道回轉板37ノ齒帶ト齧合シ之レカ左右運動ヲナス都度轉動セラレテA絲道ト共ニ回轉スル機構成シタル所ノ裝置及操作ハ前者ニ於ケル左右ニ移動シ得ヘキ上下溝柁ヲノ間ニ移動スヘク齒棒ヨニ設ケ該齒棒ノ間ニ之レニ關連シテ溝柁ヲノ接合部ニ半形齒輪ヲノ組合セ一組トナシテ嵌合セシメ齒棒ヨニ左右運動ニヨリ回轉シ得ヘク又上部溝柁ヲノ左右運動ニ依リテ半組ノ半形齒輪ヲ別箇ニ移動シテ隣接ノ半形齒輪ト更ニ一組トナルヘキ樣構成シタル所ノ裝置及其ノ操作トハ全ク同一ナリ此ノ如ク各部分ニ於テ各機構夫々撞着スルノミナラス裝置全體ニ於テモ亦互ニ撞着スルカ故ニ後者特許ノ一部ヲ構成スル捻金網編織裝置及其ノ機構ハ前者特許ノ權利範圍ニ屬スルコト明瞭ナリト云フニ在リテ其ノ事實ヲ確カムル爲メニ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ被請

求人所有ノ特許第二一六〇號金網製造機ハ千八百八十年獨國特許第一五四六二號及千八百九十年同特許第五八六七號ノ金網製造機ヲ購入シ之ニ改良ヲ加ヘ其ノ改良發明ニ就キ特許ヲ得タルモノニシテ請求人カ其ノ所有ノ第一二二八八號特許ノ要點ナリト主張スル『左右ニ移動シ交互ニ組合ヒテ一箇ノ齒輪ヲナスヘキ半徑齒輪ニ金屬線ヲ通シテ金網ヲ製造スル機構』ハ前記ニ獨國特許明細書ニ記載サル、所ニシテ第二一六〇號特許ノ要點ニアラス而カモ右特許明細書及圖面ハ帝國特許局圖書館ニ保管セラル、所ナレハ右機構ハ本件特許出願以前既ニ公知ニ屬スル所ナリ今前記兩特許ヲ對比スルニ第二一六〇號特許ノ原發明タル獨國特許ニ依リ既ニ公知ニ屬シタル『半徑齒輪カ左右ニ移動シ交互ニ組合ヒテ一箇ノ齒輪ヲナス』ト云フ根本考案カ一致セル外機構トシテハ金屬線ノ送出金網ノ卷取編成用齒輪運動ノ機構編製ノ縱横ノ差異等毫モ類似セル所ナク且第二一六〇號特許ノ要點タル縱竿ニ螺旋狀針金ヲ挿入スル機構ノ如キハ第一二二八八號特許ニハ之ヲ有セス又金網編製機械ハ總テ半徑齒輪ヨリ成ルコトノ如キ根本考案ハ例ヘハ如何ナル織機ニモ必ス綜統機等ヲ有スルカ如ク千八百八十二年獨國特許第二五三號同年同特許第一七四號等ニ依リテモ知ルコトヲ得ヘシト云フニ在リテ其實事ヲ確カムル爲メニ審判番號第二三四五號第二一六〇號特許無效抗告審判請求書及各甲號證竝ニ審判番號第二四九號審判請求書及各甲號證ヲ援用セリ

審決ノ理由

請求人所有ノ特許第一二二八八號ノ特許請求範圍ハ『左右ニ移動スヘキ溝枠ヲニ齒棒ヨリヲ設ケ其齒ニ各齒輪レレヲ啞合スヘク架設シ齒輪レノ中間ニハ之ニ齧合フヘク半形齒輪ヲ二段ニ設ケ半形齒輪ニハ孔ツヲ穿チテ成ル構成ニ在リ而シテ被請求人所有特許第二一六〇號龜甲形金網編織器械ニ使用セル捻合部中半圓形杆ノ中心ニ孔ヲ穿チ中央背面ニ併列縱溝ヲ設ケタル絲道』ハ前者ノ半形齒輪ヲニ等シク後者ノ左右運動板』ハ前者ノ上部溝枠ヲニ後者ノ絲道回轉板』ハ前者ノ齒棒ヨリ

ニ等シク後者ノ捻合部』ハ前者ノ下部溝枠ヲニ等シク且ツ金屬線ヲ通シタル半形齒輪ヲ相對スルモノヲ一組トシテ回轉セシメ其一組ノ半形齒輪ヲ別箇ニ移動シテ隣接ノ半形齒輪ト一組ナラシメ順次如此繰返サシムル操作及其裝置モ亦均等ナルヲ以テ二者互ニ撞着スルモノトス何トナレハ前者ニ於ケル齒輪レノ如キハ單ナル媒介輪ニ過キスシテ其有無ハ問フトコロニアラサルヲ以テナリ而シテ前者ノ特許ハ明治四十年六月十八日ニシテ後者ノ特許出願ハ明治四十三年十月十三日ナルヲ以テ後者ノ前記構成ハ前者ノ權利範圍ニ屬スルモノトス被請求人ハ前記ノ捻合部機構ハ一般金網製造機ニ當然缺クヘカラサルモノニシテ請求人ノ特許出願前帝國内ニ於テ公知ニ屬セル獨逸國特許金網製造機ニ使用セラル、ノミナラス本件特許第二一六〇號ハ特許第一二二八八號ニ比シ前記ノ如キ根本的考案ニ於テノミ一致ヲ見ルノ外其他ノ機構ハ毫モ類似スルトコロナシト云フト雖本件ノ争點ハ特許第一二二八八號ノ特許範圍カ特許第二一六〇號ニ使用セル捻合部ト互ニ撞着スルヤ否ヤニ在ルヲ以テ特許第一二二八八號ノ特許範圍ノ構成カ其出願前公知ニ屬シ又ハ捻合部以外ノ機構ニ相違アリトノ主張ハ本審決ニ關係ナシ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
 特許局事務官 奥山萬次郎
 同 村山小次郎

第二千二百九十一號

米澤市銅屋町三千七百十三番地

請求人 合資會社米澤鐵工場

右代表者

酒井寬助

名古屋市東區南鍛冶屋町二丁目百十一番地特許辦理士

右代理人 鈴木千代吉

米澤市門東町上ノ丁六百七十二番地

被請求人 西野芳太郎

東京市京橋區采女町二十七番地特許辦理士

右代理人 木戸傳

同 市京橋區采女町二十七番地特許辦理士

同 市川寬

右當事者間ノ第一八三〇四號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ製造販賣スル織機ニ使用セル甲第一號證ノ綜統開口機ハ被請求人ノ特許第一八三〇四號

ノ改訂特許權利ノ範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造販賣スル織機ニ使用セル綜統開口機ハ改訂特許第一八三

〇四號ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ(一)改訂特許第一八三

〇四號特許請求範圍ハ四項ニ分載セラレ其ノ第一項即チ發明ト認メラレタル點ハ頭部ノ二箇所ニ突起

片1516ヲ設ケ其ノ中間ニ鳶口形突起14ヲ附シタル如キ簡單ナル構造ノ突上杆5ノ昇降ニ依ル「シリ

ドル」ノ回轉裝置ニ在ルコト其ノ明細書ニ依リ明瞭ナリ然ルニ請求人ノ前記「シリンドル」回轉裝置ハ

「クランク」軸1ノ回轉ニ依リ正齒輪23歪齒輪445及ヒ縱軸6ノ聯動ヲ經テ上部ノ栓車「ピンホ

キール」7ニ運動ヲ傳ヘ其ノ一回轉ニ依リ星形輪「スターホキール」8ヲシテ六分ノ一回轉ヲナサシメ

更ニ星形輪8ノ軸杆ニ取付ケタル正齒輪10トノ齧合ニ依リ星形輪ノ六分ノ一回轉ニ對シ「シリンドル」

ヲシテ四分ノ一回轉ヲ爲サシム可キ裝置ニシテ外國製ノ織機ニ於テ多ク見ル所ノモノヲ應用シタルニ

過キス之レヲ本件改訂特許ノ請求範圍ト對照スルニ構造動作共ニ全然別異ニシテ何等關係ナシ(二)本件

特許請求範圍第二項ノ立鉤整理裝置ハ之レヲ既ニ發明ト認メラレタル第一項ノ「シリンドル」回轉裝置

ト組合セタル結果始メテ請求範圍中ノ一項ト爲シ得ルモノニシテ若シ之レヲ獨立セシムルカ或ハ公知

ニ屬セル他ノ「シリンドル」回轉裝置ト組合スニ於テハ決シテ請求範圍中ノ一項トシテ記載スルヲ許サ

レサルハ勿論何等ノ權利ヲモ有スルコト能ハサルモノナリ何トナレハ本項ノ「シリンドル」回轉ヲ承

ケ動搖スヘキ立鉤ノ側面ヲ壓スル「或ハ牽クヘキ」撥條ヲ設ケテ其ノ位置ヲ確的ニ保持セシメタル裝置

ハ此種ノ開口機ニ於テ最モ普通ニ使用セララルモノニシテ「デー、ダブリユウ、フオックス」氏著織物機構

學ナル書籍中第五六圖第五九圖等ニ於ケル綜統開口裝置ハ皆此類ニ屬スルモノナリ然ルニ請求人使用

ノ立鉤整理裝置ハ立鉤11ヲ牽引スヘキ橫針13ヲ具ヘ撥條13ニヨリ之ヲ一方ニ引キ付ケテ立鉤ヲ整理ス

ヘキ構造ニシテ前記引例ノ普通機構ヲ本機ニ應用シタルニ過キスシテ本件特許ニ於ケル立鉤整理裝置

トハ其ノ構造ヲ異ニスルモノナリ假リニ百歩ヲ讓リテ兩者ノ構造相類似ストスルモ請求範圍第二項ハ

右ノ立鉤整理裝置ト第一項ノ「シリンドル」回轉裝置トノ組合ノ場合ニノミ成立スルモノナルヲ以テ請

求人使用ノ綜統開口機ノ如ク之ヲ別種ノ「シリンドル」回轉裝置ト組合セタルモノト對シテ其ノ權利ヲ

及スモノニアラサルナリ(三)本件特許請求範圍第三項ハ請求人カ使用スル甲第一號證ノ綜統開口機ニハ

刀臺ノ動作ヲ承ケ半回轉スヘキ心棒ニ連結セル鋸形ナルモノ存在セサルカ故ニ請求人ノ右開口機トハ

何等關係ナシ(四)本件特許請求範圍第四項ハ第一項乃至第三項所載ノ裝置ヲ綜合シタルモノニシテ是亦

請求人ノ開口機ニ對シテ其ノ權利ヲ及ホササルコト勿論ナリ(五)之ヲ要スルニ「ドッビー」式開口機ニ於

テ「シリンドル」ヲ順逆自働的ニ廻轉セシムル装置ト立鉤ヲ整理スル装置ト經絲ノ摩擦ヲ防キ箴打ノ高サヲ定ムル装置トノ組合セ殆ント凡テ「ドッビー」式開口機ニ於テ普通ナルモノニシテ唯タ其ノ組合ノ全部若ハ一部ノ構造ノ異ナルニ從テ様式及名稱ヲ異ニスルコトハ舉證ヲ要セサル明白ノ事實ナリ故ニ本件特許ノ權利ハ前記ノ如キ組合ヲ保有スル點ニアラスシテ請求範圍第一項ノ主軸ノ廻動ヲ受ケテ上下スル鳶口形突上杆ニテ「シリンドル」ヲ廻轉セシムル裝置ノ權利範圍ハ請求人ノ使用スル主軸ヨリ齒輪聯動ヲ經テ連續的ニ廻轉スル栓車及星形輪トノ齧合ニヨリ「シリンドル」ヲ間歇的ニ廻轉セシムル裝置ニマテ及フモノナリヤ否ヤノ爭點ノ判定ニ依リテ決定スヘキ問題ナリ而シテ兩者ハ「シリンドル」ヲ間歇的ニ廻轉スヘキ結果ニ於テ均等ト見得ヘキモ途中ノ構造及作働ニ於テ全然別種ナリト云フニ在リテ其主張ヲ確カムル爲メニ甲第一號證及第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ却下ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ本件請求ハ甲第一號證ノ一及ヒ二ナル二種ノ綜統開口機ニ付審判請求ヲナシ而シテ右兩者ハ同一ニアラサルカ故ニ本件ハ一箇ノ請求ノ下ニ二事件ノ解決ヲ求ムルモノナルニ依リ不合法ノ請求ナリ又請求人カ明治四十五年三月二十九日提出ノ訂正書ハ申立ノ要旨ヲ變更スルモノニシテ不法ノ訂正ナレハ本件請求ハ當然却下セラルヘキモノナリ假リニ數歩ヲ讓リテ本案ニ入り甲第一號ノ二ト本件特許ト比較スルニ請求人ハ本件發明ノ要旨トスル組合ノ如何ヲ顧ミス猥リニ其局部局部ヲ摘裂的ニ比較シテ兩者ノ綜統開口機ハ全然異別ナリト主張スレトモ本件特許發明ノ要旨ハ「ドッビー」式開口機ニ於テ「シリンドル」ヲ順逆自働的ニ廻轉セシムル裝置立鉤ヲ整理スル裝置及經絲ノ摩擦ヲ防キ箴打ノ高サヲ定ムル裝置ノ組合セニ係ルモノニシテ其ノ第一點タル裝置ニ就キ甲第一號證ハ本件特許ニ於ケル搖動的ニ昇降スル「クランクピン」ノ片道ニ於テ「シリンドル」ニ關聯セル星形車即チ截缺部ト突起部トヲ交互ニ具

フル廻轉輪ヲ作用セシメタルニ過キサレモノニシテ後者即本件特許ハ單ニ齒輪裝置ノ附加ニ依リ隨所速比ヲ變スレトモ「クランク」軸ト「シリンドル」トノ終局ノ速比ハ前者ト同一ナラシメタルモノナレハ兩裝置ハ其ノ目的及作用全然同一ニシテ單ニ機械設計上當然ノ變更ヲ加ヘタル均等ノ構造ニ外ナラス又第二點ニ關シテハ兩者單ニ彈機ノ取着方法ニ依リ壓縮若ハ緊張ノ狀態ヲ異ニスルニ過キスシテ其ノ目的作用竝ニ構造等全然同一ノモノニ屬シ又第三點ハ本件特許ニ於テハ鋸形ノ作用ニ依リ紋栓ノ作用ヲ受ケタル立鉤ノ殘列ヲ僅カニ壓下セシメ刀ニ懸リテ漸次上昇スル立鉤ト一列ニ會セシムルニ對シ請求人ノ開口機ハ立鉤ノ高サヲ上下二列ニ分チ夫々齒輪ノ兩側ニ齧合セル鋸狀杆ニ依リテ相互反對ニ昇降スヘキ二箇ノ刀ノ作用ヲ受ケシメ下列ノ立鉤カ上昇スル間ニ上方ノ刀ニ懸レル立鉤ヲ引下ケテ兩列ヲ一線上ニ相會セシメ此際經絲ノ開口ヲ閉チ其ノ高サヲ適當ニ保チテ杼道トノ摩擦ヲ防キ箴打ノ位置ヲ加減セシムルモノナレハ結局本件特許ト同一ノ目的ヲ以テ同様ノ働作ヲ遂行セシムヘキ全然均等ノ構造ト認ム可シ而シテ請求人ハ外國著書ヲ援用シテ甲第一號證ノ一部カ普通ノ設計ナル旨ヲ主張スト雖モ本件ハ甲第一號證ノ組合カ本件特許ノ主要部分タル組合ノ權利ニ撞着スルヤ否ヤノ爭ナレハ其ノ構造ノ一部カ普通ナリヤ否ヤハ毫モ問フ所ニアラス要スルニ甲第一號證ノ機械ハ其目的作用及效果等ニ於テ本件特許ト異ナルコトナク構造上亦均等ノ組合セヲ具ヘテ成ルモノナレハ本件特許ノ權利範圍ニ屬スヘキコト明白ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ハ本件請求ハ最初甲第一號證ノ一及ニ付權利確認ヲ請求シ其後甲第一號證ノ一ヲ除キ單ニ甲第一號證ノ二ニ付確認ヲ求ムルモノニシテ明ニ申立ノ要旨ヲ變更スルモノナルニ依リ之ヲ却下スヘキモノナリト主張スルモ單ニ申立ノ減縮ハ之ヲ要旨ノ變更ト見ルコト能ハサルモノニシテ請求人カ明治四十五年三月二十九日提出ノ審判請求書ノ訂正書ハ之ヲ適法ト認ムヘキヲ以テ本件請求

ハ却下スヘキモノニアラス依テ本案ニ入り審査スルニ被請求人ハ本件特許發明ノ要旨ハ「シリンドル」ヲ順逆的ニ廻轉セシムル裝置立鉤ヲ整理スル裝置經絲ノ摩擦ヲ防キ箴打ノ高ヲ定ムル裝置ノ組合ニ在ルヲ以テ甲第一號證ノ如ク目的作用效果ニ於テ本件特許ト異ナルコトナク構造亦均等ノ組合ヲ具ヘタルモノハ本件特許ノ權利範圍ニ屬スヘキモノナリト云フト雖本件改訂特許請求範圍ハ被請求人ノ云フ如キ組合ヲ發明ノ要部トナスニアラスシテ單ニ「シリンドル」ヲ順逆的ニ廻轉セシムル特許ノ裝置即チ頭部ノ二箇處ニ突起片¹⁵、¹⁶ヲ設ケ其中間ニ鳶口形ヲ有スル突上杆⁵ノ昇降ニ依リ「シリンドル」¹⁷ニ設ケタル突起片ニ關聯シテ「シリンドル」ヲ廻轉セシムル裝置ヲ要部トナセルモノナルコトハ該裝置ヲ請求範圍ノ第一項トシテ分載シ第二項乃至第四項ハ第一項ノ裝置ニ夫々他ノ局部ヲ附加シタル組合ヲ分載シアルニ依リ明白ナリ然ルニ甲第一號證ニ使用セル廻轉裝置ハ「クランク」軸ノ回轉ヲ正齒輪²、³、歪齒輪⁴、⁵及縱軸⁶ノ聯動ヲ經テ上部ノ栓車⁷ニ傳ヘ其一回轉ヲ以テ星形輪⁸ヲ六分ノ一回轉セシメテ星形輪ノ軸ニ取付タル正齒輪⁹ト「シリンドル」ノ一端ニ具ヘタル正齒輪¹⁰トノ齧合ニヨリ「シリンドル」ヲ四分ノ一回轉セシムルモノニシテ其裝置及動作ハ連續回轉的ノモノナルヲ以テ本件特許請求範圍第一項ノ突上杆ノ昇降的ノモノトハ全ク其趣キヲ異ニスルモノトス被請求人ハ前記兩裝置ハ「クランク」ト「シリンドル」トノ終局ノ速比同一ナルカ故ニ機械設計上當然ノ變更ニシテ均等裝置ト認ムヘキモノナリト主張スルモ「ドッビー」式開口機ニ於テ主軸ノ回轉ヲ「シリンドル」ニ傳フルコトハ必然ノ事項ナルヲ以テ終局ノ速比同一ナレハトテ如何ナル聯動裝置ヲモ悉ク本件改訂特許權利内ニ屬スルモノト云フヲ得ス要スルニ本件改訂特許請求範圍第一項ハ明細書ニ記載セラレタル特殊ノ裝置ニ限定セラルヘキモノニシテ之ト働作裝置ヲ異ニセル甲第一號證ニ使用セル「シリンドル」回轉裝置ニ撞着スヘキモノニアラス從テ請求範圍第二項乃至第四項ノ裝置即チ前記第一項ノ各應用裝置モ亦甲第一號

證ノ各裝置ト撞着セサルモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
同 塚本信治
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千二百十五號

東京府南葛飾郡隅田村千六百十二番地 請求人 鐘淵紡績株式會社
右代表者 武藤山治
東京市神田區淡路町二丁目七番地特許辨理士 右代理人 江木衷
同 市神田區淡路町二丁目七番地特許辨理士 同 末繁彌次郎
大阪市東區横堀二丁目七十一番屋敷特許辨理士 同 江田邦太
東京市京橋區采女町二十七番地特許辨理士 同 木戸傳
靜岡縣駿東郡菅沼村茅沼富士瓦斯紡績株式會社第二號役宅 被請求人 井上篤太郎
東京市芝區高輪南町五十三番地 同 持田巽
同 市京橋區宗十郎町一番地特許辨理士 右代理人 岸清一

東京市京橋區銀座二丁目二十番地特許辨理士

同 市京橋區采女町二十一番地特許辨理士

同 市京橋區采女町二十一番地特許辨理士

右代理人

丸岡東治

同

石原卯八

同

飯田治彦

右當事者間ノ第一七二四九號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人申立ノ要領ハ第一七二四九號絹絲紡績原料精練法ノ特許ハ無効トス審判費用ハ被請

求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ明治四十二年七月十五日出願ノ本件特許ノ要部ハ製絲家ノ生絲ヲ繰絲スルニ際シテ生スル副産屑物ヲ乾燥凝固セシムルコトナク常ニ濕潤状態ニアラシメ此生屑物ヲ精練スル方法ニ存スルコトハ請求範圍竝ニ明細書本文ノ記載ニ依リテ明白ナリ然ルニ之レト同一方法ハ本件特許出願前既ニ福島縣郡山絹絲紡績株式會社ニ於テ公然實施セラレタル事實明瞭ナルヲ以テ本件特許ハ特許法第四條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ反スルモノナリ次ニ緒絲ハ絹絲紡績及紬絲製造ニ對シ共通ノ原料ナリ而シテ此緒絲ヲ常ニ濕潤状態ニアラシメ之ヲ精練シテ紬絲ノ原料ヲ製スル方法ハ古來山形縣西置賜郡地方ニ於テ行ハルル所ナリ從テ本件特許ハ紬絲原料精練法ヲ其儘紡績ニ使シタルニ止マリ其目的トスル所兩者相異ル所ナキカ故ニ本件特許ハ發明ヲ構成セサルモノナリ次ニ製絲屑物中緒絲即生皮苧ノミナラス蛹襯、揚繭等ハ絹絲紡績及紬絲ノ原料ナリ而シテ蛹襯、揚繭等ヲ濕潤状態ニアラシメ之レヲ精練スルコトハ甲第一號證ニ依リ明白ナリ即チ本件特許ト同一方法ハ本件特許出願前紬絲處理法トシテ公刊物ニ記載セラレ世人ノ周知ニ屬ス即チ本件特許ハ甲第一號證タル三谷徹著養蠶製絲屑物整理法第一一八頁中記載ノ方法ト單ニ其ノ名稱ヲ異ニスルノミ其ノ目的竝ニ工程上

何等差異ナク甲第一號證ニ依リ本件特許ハ又無効ナリ次ニ請求人ハ絹絲紡績業者ニシテ自カラ精練ヲ爲シ且之レヲ使用スルモノニシテ原料ノ處理法ニ付重要ナル利害關係ヲ有スルコト論ヲ俟タスト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ(一)本件請求ハ不合法ナルニ依リ却下セラレタシ(二)請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ請求會社ハ絹絲紡績業者ニシテ絹絲紡績原料ノ製造業者ニアラス故ニ本件特許ニ利害關係ヲ有スルモノニアラス從テ本審判請求ハ却下セラルヘキモノト信ス次ニ本件特許ト同一方法及常ニ濕潤状態ニ在ラシメタル緒絲ヲ精練シテ紬絲ノ原料ヲ製スル方法等ハ本件特許出願前既ニ公知ニ屬スル所ナリト云フ請求人ノ主張ハ根據ナキ陳述ニシテ被請求人ハ其事實ヲ認ムル能ハス次ニ紬絲ハ原料ヨリ引出シテ絲トナシタル後ニ精練スルモノナレハ絲トスル前ニ假令煮沸洗滌工程ヲ施スコトアリトスルモ固ヨリ本件特許トハ全ク別異ノ方法ナリ何トナレハ本件特許ハ直チニ絹絲紡績機ノ櫛梳ニ適當ナル精乾品ヲ得ヘキ程度ノ精練工程ニシテ紬絲ニ於ケル程度ノ精練工程ニアラサレハナリ次ニ甲第一號證タル屑物整理法第一一八頁中記載ノ方法ハ紬絲ノ原料即練皮苧ノ製法ニシテ斯カル方法ニ依リテ得タル原料ハ直チニ絹絲紡績機ニ依リ櫛梳スルコト能ハサルモノナリ請求人ハ該記載事項中單ニ『練て』ノ二字ヲ捉ヘ本件特許ノ精練ト同一工程同一意義ナリト曲解セントスルニ過キス然ルニ後文ニ依レハ明カニ蛹ノ儘煮沸洗滌スル方法即チ練皮苧ノ製造ニ外ナラス元來甲第一號證記事『練る』ト記載セルハ絹絲紡績ニ所謂洗滌ニ該當シ其ノ所謂『漂白』ナルモノコソ事實上精練ナルコト明白ナリ要スルニ請求人ノ主張ハ不當ナリト云フニ在リテ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人カ本件請求ニ付利害關係ヲ有セサルヲ以テ本件請求ハ却下セラルヘキ旨主張スト雖モ請求人ハ絹絲紡績業者ニシテ自ラ原料ノ精練ヲ爲シ且之レヲ使用スルモノニシテ其ノ原

料ノ處理法ニ付テハ著シキ利害關係ヲ有スルモノト認ム依テ案スルニ本件第一七二四九號特許ハ製絲家ノ生絲ヲ繰絲スルニ際シテ生スル副産屑物ヲ乾燥凝着セシムルコトナク直ニ之レヲ採リテ精練スル方法換言セハ常ニ濕潤狀態ニ在ル生屑物ニ適宜精練法ヲ應用シテ紡績用ニ適スル精乾品ヲ得ヘキ方法ナルコトハ其ノ請求範圍及明細書本文ニ依リテ明白ナリ然ルニ之レト同一目的及同一手段ヨリナル方法カ本件特許出願ノ日即チ明治四十年二月二十六日以前ニ於テ帝國内ニ於テ公然知ラレ又ハ公然用キラレタル事實ハ之ヲ證人若麻績安治ノ證言ニ依ルモ屑物ヲ常ニ濕潤狀態ニ置クヤ否又公然右方法ヲ實施シタルヤ否ノ二點ニ於テ明確ナラス從テ本件特許ハ特許法第四條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スト爲スノ請求人ノ主張ハ不當ナリ次ニ從來ノ紬絲ト本件特許ニ云フ紡績絹絲トハ其絲質ニ於テ大差アルノミナラス其工業狀態ニ於テモ亦全然相異ナルモノニシテ機業者間ニ於テモ夙ニ熟知セラレ、所トナレリ斯ク業態異ナリ且別異ノ絲質ヲ製スルニ際シ其原料ヲ處理スル手段ニ於テ會々其揆ヲ一ニスルモ之ニ依リテ直チニ本件特許方法ヲ公知公用ナリト稱スルコトヲ得サルノミナラス又容易ニ他ヲ推考シ得ヘク發明タル價值ナシト論スルコトヲ得テ從テ證人大道寺秀彌、佐藤兵助カ證言スル如ク緒ヲ直チニ精練シテ紬絲ノ原料トナス方法カ公知ナルモノ之ヲ以テ本件特許ヲ無効タラシムヘキモノニアラス次ニ甲第一號證絲屑物整理法中請求人指示ノ記事ハ是又本件特許トハ關係ナキ紬絲原料ノ處理法ナルヲ以テ本件特許カ特許法第四條第二號ニ該當スルモノト認ムルコト能ハス之ヲ要スルニ本件審判請求ハ其證據不十分ニシテ請求人ノ主張ヲ認ムルコト能ハス

仍テ本文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十七日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎

同 一 川 一
特許局事務官 村山小次郎

第二千四百八十六號

東京市本所區向島須崎町四十五番地 請求人 町井正路
同 市牛込區矢來町二十六番地特許辨理士 右代理人 岩崎穂一
東京府北豐島郡尾久村字下尾久 被請求人 東京硫酸肥料株式會社

大阪市東區谷町三丁目一番地 同 右代表社員 村上政次郎
大阪府西成郡今宮村字元木津四百四番地 同 小西租一
右代表社員 大阪硫酸株式會社

東京市京橋區南橫町十三番地特許辨理士 右代理人 宮島次郎
同 市京橋區采女町二十七番地特許辨理士 同 木戸傳
同 市京橋區采女町二十七番地特許辨理士 同 市川寬

右當事者間ノ第一八三三七號特許無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件審判請求ハ之ヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第一八二三七號特許ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件特許ハ明治四十二年十二月十四日ノ出願ニ係リ其要點ハ糞尿ニ大豆ノ粉末若ハ大豆ヲ水漬シ壓搾シテ得タル液汁及植物殊ニ蔬菜類ヲ壓搾シテ得タル液汁ヲ混和シテ糞尿中ニ含有スル尿素及尿素屬ノモノヲ悉ク「アンモニア」態ノ化合物ニ變セシメ之ニ少量ノ石灰ヲ加ヘテ加熱シ發生シタル安母尼亞瓦斯ヲ硫酸槽ニ導キ化合セシメテ成ルモノナリ然ルニ明治四十二年三月二十八日東京ニ於テ發行セラレタル東京化學會誌ニ農學士竹内德三郎ノ『高等植物中ニ尿素分解酵素ノ存在ニ就テ』ト題スル論文掲ケラレタルヲ見ルニ殆ント本件特許ト同一否本件特許ヨリ遙カニ廣ク研究セラレアリテ其『大豆ノ粉末若ハ液汁或ハ蔬菜類ノ液汁カ尿素分解酵素ニ適スルト共ニ能ク安母尼亞ヲ成生シ得且之ヲ硫酸安母尼亞ノ製造ニ應用スルヲ得可キコト』ヲ論定シアリテ要スルニ本件特許ハ前記竹内農學士ノ論文ニ依リ本件特許出願前既ニ公知少クトモ容易ニ應用ス可キ程度ノモノニ屬スルカ故ニ本件特許ハ特許法第四條第一號少クトモ同條第二號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ無効タルヘキモノナリ次ニ請求人ハ現ニ第二二九四三號登録實用新案權ヲ有シ且願書番號第六三五五號及同第六八〇七六號ノ二特許ヲ出願中ナリ而シテ右三件トモ何レモ糞尿ヲ原料トシテ硫酸安母尼亞ヲ製造スルモノニシテ此等ノ機器裝置等ヲ使用スル事業ト本件特許ヲ使用スル事業トハ全然同一ナルカ故ニ本件特許權ノ有無ハ直接ニ請求人ノ利害ニ關係ス又被請求人ノ一人タル東京硫酸肥料株式會社代表者村上政次郎及其ノ義甥タル田原明ヨリ請求人ニ對シ特許第一九九八〇號及第一九九二三〇號ノ權利侵害者トシテ告訴ヲ爲シ又證據保全ノ申請ヲ爲シタルコトアリ請求人ハ不當ノ壓迫カ更ニ請求人ニ加ヘラル、アランコトヲ思ヒ本件審判ヲ提起スルモノニシテ本件請求ニ付利害ノ關係ヲ有スルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件審判請求ニ關スル請求人ノ利害關係ノ申立明瞭ナラサルニ依リ本件請求ハ却下セララルヘキモノナリ又請求人ハ明治四十二年三月二十八日發行東京化學會誌ノ記事ヲ引用シテ本件特許ノ無効ヲ主張スルモ右記事ハ發明ノ試験ノ結果ヲ發表シタルモノニ外ナラス故ニ假ニ該發明カ右記事ノ爲メ特許法第四條第一號又ハ同條第二號ニ該當ストスルモ其出願ハ發明カ試験ノ爲メ特許法第四條各號ノ一ニ該當スルニ至リタル時ヨリ二年以内ニ爲サレタルコト明白ナルヲ以テ同法第五條ノ規定ニ該當シ特許ヲ受クルニ於テ何等ノ支障アルナシト云フニ在リ

審決ノ理由 請求人カ本件第一八二三七號特許無効ヲ請求スルニ付利害ノ關係ヲ有スト主張スル理由ヲ見ルニ請求人ハ本件特許ヲ使用スル事業ト同事業ニ從事シ且被請求人ニ關係アル特許第一九九八〇號及第一九九二三〇號ノ權利侵害者トシテ告訴又ハ證據保全ノ申請ヲ受ケタルニ付本件特許ノ有無ハ直接ニ請求人ノ利害ニ關係スト云フニアレトモ右事實ヲ以テハ請求人カ本件第一八二三七號特許ヲ無効タラシムヘキ審判請求ニ付利害關係ヲ有スルモノト認ムルコトヲ得ス從テ本件請求ハ特許法第六十九條ニ違反スル不法アルモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十七日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 奥山萬次郎
 同 村山小次郎

第二千五百二十四號

岡山縣兒島郡莊内村大字瀧九百二十番地
同 縣兒島郡灘崎村大字迫川千三百二十六番地
大阪市東區道修町五丁目一番地特許辨理士
岡山縣兒島郡莊内村大字宇藤木五百十二番地
大阪市南區安堂寺橋通四丁目二百三十五番屋敷特許辨理士

請求人 依田七五郎
參加人 山田淺三郎
右兩名代理人 近藤貞三
被請求人 大野幸太郎
右代理人 山内香

右當事者間ノ第一三九六七號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 登録實用新案第二一七七六號綿絲糊附再整器ノ構造ハ特許第一三九六七號ノ改訂絲精製裝置ノ特許請求範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人所有ノ登録實用新案第二一七七六號綿絲糊附再整器ノ構造ハ被請求人所有ノ特許第一三九六七號ノ改訂絲精製裝置ノ特許請求範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ甲第一號證公報ノ示ス如ク第二圖第三圖即チ内部ニ蒸汽分配柵Uヲ裝置シタル太鼓形ノ罐Aノミニ付テ新案權ヲ有スルモノニシテ之レヲ活用セシムル附屬裝置總柵H、糊壺G、「ブラシ」EF、搖動器C等ハ該新案權外ナルト同時ニ自己特許ノ範圍ニ屬スルモノナリト稱スレトモ元來請求人ハ實用新案權ヲ請求スルニ當リ普通絲線器又ハ糊附器ノ公知公用部分ハ之ヲ除外シ考案ノ要旨ヲ明示セシムル爲メ第二圖第三圖ノ構造ヲ請求範圍ニ記入シタルモノニシテ其意前記ノ公知公用部分ヲ配備シ又ハ同一作用ヲ呈スヘキ新規ノ裝置ヲ配置スルモ請求人ノ隨意ナラシメン

トスルノ思慮ニ出テタルモノナリ故ニ請求區域外ノ公知公用部分ヲ具備シタリトテ毫モ被請求人ノ特許權ヲ侵害シタルモノニアラスト云フニアリ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ
參加人山田淺三郎申立ノ要領ハ自己ハ請求人所有ノ登録實用新案第二一七七六號綿絲糊附再整器ヲ購入シ使用中ナルニ被請求人ヨリ特許權ノ侵害者トシテ岡山地方裁判所檢事局ニ告訴セラレタルヲ以テ審判參加ノ請求ヲナスモノニシテ自己ノ購入品ハ權利侵害品ニ非サルヲ信スト云フニ在リテ甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ請求ヲ却下ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ特許第一三九六七號ハ其特許明細書ニ明示スル如ク各種ノ構造裝置ヨリ成レル絲精製裝置ナリ之ニ反シテ請求人ノ登録實用新案第二一七七六號ノ物品ハ蒸汽分配柵Uヲ備ヘタル太鼓形ノ罐Aナリトス而シテ此兩者ノ間ニハ何等ノ疑ヒナク劃然タル區別アリテ存ス故ニ請求人カ該實用新案ノ物品ヲ製作若クハ使用スレハトテ被請求人ヨリ該特許權ノ侵害ナリト主張セラル、虞レ無キモノトス而シテ被請求人ハ曩キニ岡山地方裁判所檢事局ニ對シ請求人及訴外山田淺三郎ニ對シ特許權侵害ノ告訴ヲ提起セリト雖モ這ハ被請求人ノ前記特許ニ係ル絲精製裝置ト同一ノモノヲ製作使用シ居レルヲ以テ告訴ヲ提起シタルモノニシテ甲第三號證ノ物件カ請求人登録實用新案第二一七七六號ノ適法ナル實施ナルヤ否ヤハ別箇ノ問題ニ屬ス請求人ハ甲第三號證ニ於ケルBEFGHIJKLNOPQSハ普通絲線器ノ構造ニシテ公知公用ニ屬スト稱スレトモ此等ノ裝置カ或ル時期ニ於テ公知公用ナリシヤ否ヤハ未決ノ問題ニ屬スルノミナラス本件權利確認審判ニ於テハ此種ノ問題ハ全ク無關係ニ屬シ論議スヘキ限リニアラスト云フニアリ

審決ノ理由 本件登録實用新案第二一七七六號綿絲糊附再整器ノ要部ハ其登録請求範圍ニ記載シアル如

ク第二圖及第三圖ニ示シタル構造即チ内部ニ蒸汽分配糊Uヲ裝置シタル太鼓形ノ罐Aニ付テ實用新案權ヲ有スルハ明瞭ナリ而シテ其實行上ノ裝置トシテ同上實用新案附屬圖面第一圖ニ示セル滑車B、「ブラシ」E、糊壺G、総枠H、配糸器J、誘導車L、配糸器M、調帶滑車O、調帶P、S、「ロープ」QRヨリ成ル普通機構ヲ裝設シタルモノニテ本件第三號證ト均等ノ構造ヲ有スルモノナリ又特許第一三九六七號改訂絲精製裝置ハ糊函ト摩擦及乾燥裝置ト捲取裝置トヨリ成ルモノニシテ其明細書中ノ記載ニ徴スレハ從來糊ヲ浸着摩擦シテ綿絲ヲ處理スルモノナキニ非ルモ簡單ナル構成ニシテ充分ニ綿絲ノ光澤ヲ發スルヲ得サルノミナラス絲質ノ強韌均等ナラシムルヲ得サリシヲ該裝置ヲ完全ナラシムルコトニヨリテ容易ニ且迅速ニ綿絲ヲ線擦研磨センカ爲メニ其特許請求範圍第一項ニ掲ケタル構造即チ上面ヲ弧狀若シクハ各種ノ形狀トナシ内部ニ蒸汽ヲ通シウヘクナシタル金屬函ハ、糊函ヘ、絲導杆ルヲ有スル杆オ、數箇ノ刷子樋孔ヨヲ有スル杆タ及金屬函ハ上面ヲ一端ヨリ他端ニ往復シ得ヘキ杆オヨリ成ル摩擦及乾燥裝置ト特許請求範圍第二項ニ記載シタル捲取枠ムノ一端ヨリ他端ニ往復シ得ヘキ杆オ下部ニ半月形杆ケヲ設ケ柱コヲ折倒シ得ヘクナシ軸ノ一端ニ齒輪モ及ヒ之ト聯動スヘキ數箇ノ齒輪ヲ設ケ其一ノ軸ニ導溝スヲ有スル管イヲ設ケ導溝スニハ搖杆カノ釘区ヲ嵌合シ搖杆カノ一端ハ絲導杆区ヲ有スル杆ニ連絡シ中央ニハ長孔ヲ穿テテ之ニ縱杆ニ嵌挿シ縱杆カノ下端ニ釘エヲ設ケテ各齒輪ト聯動スル管カノ斜線及ヒ直線形ヨリ成ル導溝ニ嵌合セシメタル捲取裝置ト第一項トノ組合ニ付キ特許ヲ得タルモノナリ依テ此兩者ヲ對比スルニ請求人所有ノ登錄實用新案第二一七七六號ニ於テ要部トスル所ノ内部ニ蒸汽分配糊Uヲ裝置シタル太鼓形ノ罐Aノ部分カ被請求人所有ノ特許第一三九六七號ノ何レノ部分ニモ撞着スルモノニアラスシテ此兩者間ニハ何等ノ疑ヒモナク劃然タル區別アルハ被請求人モ已ニ認ムル所ナリ又請求人所有ノ實用新案第二一七七六號ニ於テ其要部ヲ活用セシムル爲ノ實行上ノ

附屬裝置タル滑車B、「ブラシ」E、糊壺G、総枠H、配糸器J、誘導車L、配糸器M、調帶滑車O、調帶P、S、「ロープ」QRハ綿絲糊附機ノ構造トシテハ從來ヨリ一般ニ知ラレタル構造ニシテ新規ナルモノニアラス而シテ此ヲ被請求人所有ノ特許第一三九六七號絲精製裝置ニ於ケル糊附裝置及捲取裝置ニ比スルニ其捲取裝置ハ構造全然相異スルモノニシテ又糊壺及「ブラシ」ヲ裝設スルカ如キハ假令其構造相類似スルト雖モ此點ハ從來ヨリ一般ニ知ラレタル普通ノ部分ナルヲ以テ此點ニ於テ被請求人ノ權利ニ撞着スルコトアルヘカラス故ニ何レノ點ヨリ論スルモ請求人所有ノ登錄實用新案第二一七七六號綿絲糊附再整器ハ被請求人所有ノ特許第一三九六七號ノ改訂絲精製裝置ノ特許請求範圍ニ屬セサルモノトス其他相方争フ所アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十七日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千五百四十六號

大阪市北區富田町二十七番地 請 求 人 中 田 松 治 郎
同 市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士 右 代 理 人 廣 井 代 藏
同 市西區立賣堀北通四丁目十七番地 被 請 求 人 安 彦 松 治 郎

右當事者間ノ第一六九八四號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第二一九九號登錄實用新案伸縮自在振レ直シ器ハ第一六九八四號特許中田式目立テ幅板ノ權利

範圍ニ屬セス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ第二一九九號登錄實用新案伸縮自在振レ直シ器ハ第一六九八四號特許中田式目立テ幅板ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人所
有ノ第一六九八四號特許中田式目立テ幅板ト被請求人所有ノ第二一九九號登錄實用新案伸縮自在振
レ直シ器トヲ比較スルニ「メリヤス」生地ヲ「ロール」ニ掛クルニ當リ「メリヤス」ノ曲リ若ハ振レテ正シ
或ハ直スコト及生地ヲ整成スルコトニ於テハ同一ノ目的ニ出ツルモノナリ又其構造ハ全ク相類似スル
モノニシテ請求人所有ノ第一六九八四號特許ノ構造ハ伸縮自在ナルニ枚ノ板「イ、ニ、イ、三、孔」ヲ有ス
ル支持板「ル」及小針ヲ植エタル「テンブル」ハ「ハ」トニヨリテ成ルモノニシテ支持板「ル」ノ適宜ノ穴「ウ」ニ鑿ヲ
挿入スルコトニヨリテ板「イ、ニ、イ、三」ヲ自在ニ伸縮シ得ルコト及「テンブル」ニヨリテ「メリヤス」生地ノ
曲ヲ正スコトヲ得ヘク構成シタルモノナルコトハ明細書ト圖面トニヨリテ明白ナリ而シテ被請求人所
有ノ第二一九九號登錄實用新案ノ構造ハ二枚ノ板「イ、ニ、イ、三」筒杆「ウ」有度杆「エ」及有針「ロール」ハ「ハ」トニヨリ
テ成ルモノニシテ有度杆「エ」ハ筒杆「ウ」内ニ適宜ニ挿入シ押螺子「フ」ニテ締ムルコトニヨリテ二枚ノ板「イ
ニ、イ、三」ヲ自在ニ伸縮シ得ルコト及有針「ロール」ハ「ハ」トニヨリテ「メリヤス」生地ノ振レテ直シ得ヘク構成シタル
コトハ説明書ト圖面トニヨリテ明白ナリ右兩者ヲ比較スルニ何レモ二枚ノ板ト支持板トヲ有シ伸縮自
在ナルコト及有針「ロール」若ハ「テンブル」ヲ板ノ内ニ嵌入シテ「メリヤス」ノ振レ若ハ曲リヲ正スコト
ハ全ク類似セリ而シテ請求人ノ本件特許ノ「イ、ニ、イ、三」ト被請求人ノ本件實用新案ノ「イ、ニ、イ、三」トハ殆ント均

等ノ構造ニヨリテ成レルモノニシテ前者ノ「イ、ニ、イ、三」カ其尖端少シク曲尺狀ニナレルモ斯ノ如キハ畢
竟構造上ノ差異ニアラスシテ單純ナル一部設計ノ變更ニ過キササルノミナラス中央板「ロ」有無ノ如キモ
本件特許ノ權利ニ格段ノ差異ヲ認ムルコト能ハス又被請求人ノ本件實用新案ニ於ケル筒杆「エ」及有度杆
「ウ」ニ依ル伸縮構造ハ請求人ノ本件特許ニ於ケル支持板「ル」ノ伸縮構造ヨリ容易ニ應用シ得ル程度ノモノ
ナルノミナラス被請求人ノ本件實用新案ノ有針「ロール」ハ「ハ」トニヨリテ請求人ノ本件特許ノ有針「ロール」ハ「ハ」ヨリ
容易ニ應用スルコトヲ得ルモノナリ尚ホ請求人ノ本件特許モ被請求人ノ本件實用新案モ同シク「メリ
ヤス」生地ヲ艶出シ「ロール」ニ掛クルニ當リ「メリヤス」筒狀内ニ嵌入シ且其幅ニ從テ自在ニ伸縮ヲナ
シ適宜ニ使用シ得ルモノニシテ其用途ヲ同一ニセリ之ヲ要スルニ第一其目的ヲ同一ニシ第二其構造全
ク相類似シ第三其用途ヲ同一ニセル物品ナリ故ニ被請求人所有ノ本件實用新案ノ構造ハ請求人所有ノ
本件特許ノ權利範圍内ニ屬スルモノナリト云フニ在リ
被請求人申立ノ要旨ハ第二一九九號登錄實用新案伸縮自在振レ直シ器ハ第一六九八四號特許中田式
目立テ幅板ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ第一、請求人ノ審
判請求書理由中ニ其構造ハ全ク類似ストアルモノ兩者ヲ詳細ニ比較セハ全ク其構造ヲ異ニセリ即チ請求
人所有ノ本件特許ノ構造中二枚ノ板「イ、ニ、イ、三」ハ曲尺狀ニシテ中央板「ロ」ニ依リテ支持セラルルモ被請
求人所有ノ本件實用新案ノ構造中二枚ノ板「イ、ニ、イ、三」ハ一直線ニシテ更ニ中央板「ロ」ノ如キモノヲ有セス又請
求人ノ本件特許ハ孔「ウ」ヲ有スル支持板「ル」ニ鑿ヲ挿入スルコトニ依リテ板「イ、ニ、イ、三」ヲ伸縮シ得ルモ
ノナレトモ被請求人ノ本件實用新案ハ板「イ、ニ、イ、三」ノ内面ニ筒杆「ウ」ヲ定着シ有度杆「エ」モ板「イ、ニ、イ、三」ノ内面ニ定着セラ
レタルモノニシテ此筒杆「ウ」内ニ有度杆「エ」ヲ出入セシムルコトニ依リテ板「イ、ニ、イ、三」ヲ伸縮セシメ得ルモノト
ス又第一六九八四號特許ノ「テンブル」ハ「ハ」心棒「ニ」ヲ有スル小針ヲ螺旋狀ニ植エタル杆ニシテ撥條「ヘ」ト

螺杆(ト)トニヨリテ一端ヲ移動シ得ヘク構成シタルモノナレトモ第二一九九號實用新案ノ有針管(ハ)起毛機ノ廢物ヲ利用シテ振レ直シ「ロール」ト爲シタルモノニシテ「ナット」(ハ)ニテ締着シタル儘回轉スレトモ更ニ移動スルコトナシ故ニ「テンブル」其物モ異レハ亦取付方モ全ク異ルモノナリ尙ホ第一六九八四號特許ノ構造中ニハ最要ノモノトシテ小杆(リ)、小車(又)ヲ具備スレトモ第二一九九號實用新案ニハ之等ノモノヲ使用セス第二、第一六九八四號特許ノ特許請求範圍ハ第二一九九號登錄實用新案ノ登錄請求範圍ト撞着スルコトナシ之ヲ要スルニ被請求人所有ノ第二一九九號登錄實用新案ノ振レ直シ器ノ構造及權利範圍ハ請求人所有ノ第一六九八四號特許中田式目立テ幅板ノ構造及權利範圍トハ全然差異アルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 請求人所有ノ第一六九八四號特許中田式目立テ幅板ハ其明細書ノ記載ニ徴スルニ該發明ノ性質ハ幅板ニ於テ兩面ニ廻轉自在ナル小針ヲ螺旋狀ニ植エタル杆及小杆ヲ孔内ニ設ケ且外側面ニ廻轉自在ナル小車ヲ設ケタル幅ヲ廣狹自在ナラシムルコトヲ得ル點ニ在ルモノナリ而シテ其特許請求範圍ニ於テ板(イ)ノ兩面ニ廻轉自在ナル小針ヲ螺旋狀ニ植エタル杆(ハ)及小杆(リ)ヲ孔内ニ設ケ且外側面ニ廻轉自在ナル小車(又)ヲ設ケト記載シタリ故ニ該發明ノ要點トスル所ハ小針ヲ螺旋狀ニ植エタル廻轉自在ナル杆(ハ)板(イ)ノ兩面ニ設ケ且外側面ニ廻轉自在ナル小車(又)及小杆(リ)ヲ附設シタル點ニ在ルハ明瞭ニシテ二箇ノ板(イ)ト中部ノ板(ロ)トヲ廣狹適宜ニ連結シ支持板(ル)及鉸(ヲ)トヲ以テ之ヲ支持スルカ如キ又ハ杆(ハ)ノ心棒(ニ)ノ一端ヲ鉸(ホ)ヲ以テ運動自在ナルヘク定着セシメ他端ヲ一方ヨリ撥條(ヘ)ヲ以テ壓シ一方ヨリ螺絲ヲ有スル杆(ト)ヲ以テ之ヲ支持シ此杆ヲ捻シ撥條ノ壓力ヲ以テ其一端ヲ適度ニ移轉セシメ從テ杆(ハ)ヲ傾斜セシムル等ノ構造ハ該發明實行上ノ從屬部分タルモノト認メサルヘカラス而シテ第二一九九號登錄實用新案伸縮自在振レ直シ器ハ其登錄請求範圍ニ於テ圖面ト説明トニ示ス如ク嵌脱自在ナル

有針「ロール」(ハ)ト伸縮自由ナル有度杆(モ)トヲ具備セル振レ直シ器ノ構造ト記載セリ而シテ説明書中其有針「ロール」及有度杆ノ構造ニ關シ説明シテ曰ク(ハ)起毛機ノ廢物ヲ利用シテ振レ直シ「ロール」ト爲シタル有針管(ハ)受金(ニ)ハ兩端ニ螺子ヲ有スル軸杆(ハ)「ナット」(ト)ハ板(イ)ノ内面ニ定着セラレタル有度杆(モ)ハ押螺子ナリト然ラハ該實用新案權ノ存在スル所ハ嵌脱自在ナラシムル爲メニ受金(ニ)軸杆(ハ)ヲ螺着シ「ナット」(ハ)ニ依リテ固着シ得ヘク爲シ而シテ其軸杆(ハ)ニ螺旋狀ニ植毛セラレサル有針「ロール」各一箇ヲ二枚ノ板(イ)ノ一部ニ裝設シ且目盛シタル杆(ト)ヲ筒杆(ト)中ニ伸縮自由ナルヘク裝置シタル點ニ在ルハ明瞭ナリ依テ此兩者ヲ對比スルニ登錄實用新案第二一九九號ハ第一六九八四號特許ニ於テ主要部トスル所ノ外側面ニ廻轉自在ナル小車(又)ヲ有セス又小杆(リ)ヲ設ケス且受金(ニ)軸杆(ハ)ヲ螺着シ「ナット」(ハ)ニ依リテ固着シ得ヘクシ其軸杆(ハ)ニ螺旋狀ニ植毛セラレサル有針「ロール」各一箇ヲ二枚ノ板(イ)ノ一部ニ裝設シタルハ第一六九八四號特許ニ於テ小針ヲ螺旋狀ニ植エタル廻轉自在ナル杆(ハ)ニ箇ヲ各板(イ)ニ裝設シタルニ比シ別種ノ構造ニ屬スルモノナリ故ニ此點ニ於テモ兩者ノ權利ノ撞着スル理由ナシ又第二一九九號登錄實用新案ニ於テ中部ノ板(ロ)ヲ有セスシテ伸縮自由ナル有度杆(モ)ヲ設ケタル構造ハ第一六九八四號特許ニ於テ二箇ノ板(イ)ト中部ノ板(ロ)トヲ廣狹ヲ適宜ナラシムルヘク連結シ支持板(ル)及鉸(ヲ)ヲ以テ之ヲ支持スル構造ニ比シ構造上著シキ相違アルモノニシテ設計ノ變更又ハ容易ニ應用シ得ヘキ程度ニ在ルモノト稱スルコトヲ得ス故ニ何レノ點ヨリ論スルモ第二一九九號登錄實用新案伸縮自在振レ直シ器ハ第一六九八四號特許中田式目立テ幅板ノ權利範圍ニ屬スヘキ理由ナキモノトス其他當事者間ニ於テ相爭フ所アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月七日於特許局

審判長 特許局技師 一 塚本信治
同 特許局事務官 奥山萬次郎

第二千五百四十四號

岡山縣小田郡笠岡町大字笠岡二千七百九十八番地 請求人 橋野定吉
同 縣小田郡笠岡町大字笠岡二千六百七番地 被請求人 小川太良四郎
大阪市東區道修町五丁目一番地特許辦理士 右代理人 近藤貞三

右當事者間ノ第二〇一四號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件請求ハ之レヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製作販賣スル噴霧器ハ請求人ノ特許第二〇一四號橋野式噴霧器ト撞着ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ前記特許ハ甲第一號證ニ詳記スル如ク作ラレタルモノニシテ被請求人ノ製造販賣スルモノハ甲第二號證ノ如ク單ニ螺子(ル)ヲ下部ニ備ヘテ水路(ヨ)ノ開塞作用ヲナサシメ噴霧孔(ロ)ノ噴霧作用ヲ停止又ハ開放スルモノナリ斯ク橋野式ハ上部ノ捻(ホ)ヲ回シテ開塞ヲ自由タラシメ小川式ハ下部(ル)ヲ回ハシテ開塞ヲ自由ナラシムモノニシテ上部ト下部ト差異アレトモ捻ノ作用同一ニシテ又一孔若クハ數孔ヨリ噴霧作用ヲナスハ橋野式ノ性質ヲ利用シ容易ニ推考シ得ルモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ未タ嘗テ甲第二號證ノ如キモノヲ製造販賣シタルコトナシ又被請求人ノ出願セル第六四三一九號消毒用噴霧器ハ其圖面ト説明トニ依リ明カナル如ク甲第二號證トハ全然構造ヲ異ニセリ故ニ請求人ノ本件ヲ提起セルハ不法ノ行爲ニシテ被請求人ハ之レカ爲メ法律上ノ責任ヲ負フコトナシト云フニアリ

審決ノ理由 請求人ハ被請求人カ甲第二號證噴霧器ヲ製造販賣セリト主張シ本件請求ヲ爲シ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出スト雖甲第五號證ハ事實被請求人カ頒布セシ廣告ナリトスルモ其圖面ニ示セル所ノモノハ單ニ外形ニ止マリ内部ノ構造ヲ表ササルヲ以テ果シテ甲第二號證ト同一ナルヤ明カナラス又甲第六號證受取書中記載ノ噴霧器ハ如何ナル構造ノモノナルヤ明カナラス又甲第四號證實物ハ甲第二號證圖面及其説明書ト同一構造ニアラス要スルニ被請求人カ甲第二號證噴霧器ヲ製造販賣セシコトノ證據十分ナラス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十三日於特許局

審判長 特許局技師 塚本信治
同 特許局事務官 奥山萬次郎
村山小次郎

第二千五百三十五號

四十六

大阪市西區西長堀南通二丁目二十番地
同 市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許辦理士
廣島市下中町二十二番地

請求人 園田才治
右代理人 岡田謙三郎
被請求人 衛生防臭器製造合資
會社

右代表社員 竹村三郎

右當事者間ノ第一五三四號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人カ製造販賣スル甲第一號證吸臭器ハ被請求人ノ第一五三四號特許衛生防臭器ノ範圍ニ屬
セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ノ申立ノ要領ハ請求人カ製造販賣スル甲第一號證ノ吸臭器ハ被請求人ノ特許第一五
五三四號衛生防臭器ノ特許請求範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ右
甲第一號證ハ踏板^㉓ニ定置セラレタル便器^㉔ノ下端ニ掛ケタル藥液容器^㉕ト外側^㉖ニ穿テル孔^㉗リト中
蓋^㉘ニ懸垂シ孔^㉙ト有スル蓋^㉚ト筒口^㉛ト環^㉜ト切缺^㉝チヲ有スル被筒^㉞トト具ヘタルモノナリ然ルニ
特許第一五三四號ハ其請求範圍ニ明示スル如ク一箇ノ器ニ少量ノ藥品ヲ盛リテ廁又ハ便所室内等ノ
臭氣ヲ長日時變化ナク防止セシムル爲メニ箱^㉟ト棚^㊱ト藥容器^㊲ト水容器^㊳ト蓋^㊴チヲ裝置シタル衛生
防臭器トアリ而シテ其特許ノ要領ニハ「本發明ハ木製長方形ノ箱ニシテ内部ニ二箇外部ニ一箇ノ容器
ヲ据置シ前方ニハ開閉自在ナル蓋ヲ取り付ケテ裝置セシモノ」トアリテ最モ明瞭ニ其特許範圍ヲ表示

セリ斯ク兩種ノ防臭器ハ其構造作用全然相異ナルモノナリト云フニアリテ甲第一號證ヲ提出セリ
被請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造販賣スル甲第一號證ノ吸臭器ハ被請求人ノ第一五三四號特許衛
生防臭器ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ製造販賣スルモノ
ハ被請求人ノ本件特許ト對比スルニ稍ヤ外觀ヲ異ニスルモ底部ニ穴ヲ穿チ之ヲ通シテ「アンモニヤ」瓦
斯ヲ内部ニ盛リタル藥液ニ吸收セシムル裝置ハ全ク同一ニシテ特許防臭器ノ水容器ト水分ヲ吸收セシ
ムル藥容器「生石灰入」ヲ省略シタルノミ其主タル藥品ハ即チ被請求人カ特許以來本器ニ使用セル硫酸
ヲ硝子製ノ容器ニ盛リタルモノニシテ全ク特許防臭器ト同一ノ方法ナリト云フニアリテ乙第一號證乃
至乙第五號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人ノ本件第一五三四號特許衛生防臭器ハ其請求範圍ニ依レハ一箇ノ器ニ少量ノ藥
品ヲ盛リテ廁又ハ便所室内等ノ臭氣ヲ長日數變化ナク防止セシムル爲メニ箱^㉟ト棚^㊱ト藥容器^㊲ト水
容器^㊳ト蓋^㊴ト其願書圖面ノ如ク裝置シタル構造ヨリ成ルモノナリ然ルニ請求人カ製造販賣セル甲
第一號證吸臭器ハ審判請求書附屬圖面ニ示セル如ク踏板^㉓ニ定置セラレタル便器^㉔ノ下端ニ掛ケタル
藥液容器^㉕ト外側^㉖ニ穿テル孔^㉗リト中蓋^㉘ニ懸垂シ孔^㉙ト有スル蓋^㉚ト筒口^㉛ト環^㉜ト切缺^㉝チヲ有ス
ル被筒^㉞トト具ヘタル構造ヨリ成ルモノニシテ兩者ハ其構造上明カニ別種ノ構造ニ屬スルモノナリト
認ム被請求人ハ甲第一號證ハ硫酸ヲ硝子製ノ容器ニ盛リタル點ニ於テ特許防臭器ト同一ノ方法ナリト
主張スト雖硫酸ヲ用キテ「アンモニヤ」ヲ吸收セシムルコトハ普通ニ知ラルル所ニシテ敢テ本件特許ニ
限リ特殊ナルモノニアラス故ニ此點ヲ以テ本件特許ノ要部ト見ルコトヲ得ス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十四日於特許局

四十七

第二千五百七十四號

四十八
審判長 特許局技師 小野 喜惣治
同 塚 本 信 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

請求人 吉野 源次郎
右代理人 尾形 兵太郎
同 淺 村 三 郎
被請求人 小 林 重 正
右代理人 小 池 宗 三 郎
被請求人 平 田 清 五 郎
大阪市南區難波新川町二丁目六百七十八番屋敷
同 市東區内本町一丁目二十五番地特許辨理士
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士
岐阜市八寺町一丁目九百三十三番地
大阪市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許辨理士
東京市日本橋區箱崎町四丁目一番地

右當事者間ノ第九〇七〇號改訂特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ製造販賣セル甲第一號證炬燵ハ被請求人所有ノ改訂特許第九〇七〇號安全火燵ノ權利範圍ニ屬セシメ
圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證炬燵ハ被請求人ノ所有スル改訂特許第九〇七〇號安全火燵ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ製造販賣セル炬燵ハ甲第一號證ノ一圖面及圖面ノ說明ニ示ス如ク切口稍々斷頭等邊三角狀ヲ爲セ

ル長枠(イ)ト切口横形長方形ヲナシ下底及兩側ハ平板ニテ造リタル枠(ロ)トヲ合體シテ切口六角形ノ長枠ヲ構成シ之ニ蝶鉸部分(ハ)ヲ付設シ及左右外方ニ倒樋狀ノ耳(ホ)ヲ具ヘタル火入部分(ニ)受子(ヘ)蓋(ト)ヲ具備シテ成ルモノトス而シテ被請求人ノ所有スル改訂特許第九〇七〇號安全火燵ハ其明細書中發明ノ性質及目的ノ要領發明ノ詳細ナル說明及特許請求範圍ニ記載スル所ニ徴スレハ其權利範圍トスル所ハ火燵ヲ横倒スルモ又ハ手焙ニ供スル爲メ火燵ヲ豎ニスルモ其他孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢(ハ)ノ常ニ一定ノ位置ヲ保持スルコトヲ得ヘク以テ失火等ノ危險ヲ生スルノ虞ナカラシムヘク即チ八角又ハ六角柱形ノ上下周圍ニ排氣孔(チ)及排氣孔或ハ透(ト)ヲ穿テタル外器(イ)火鉢(ハ)火鉢入(ロ)火鉢入懸輪(ハ)軸(ニ)ヲ、軸留(ホ)等ヲ組合セテ自在關節ヲ設ケ之ニ火鉢ヲ裝附シテ成ル特種ノ構造ナリ就中右構造中火燵ヲ横倒スルモ又ハ手焙ニ供用スル爲メ火燵ヲ豎ニスルモ其他孰レノ方向ニ顛倒スルモ火鉢(ハ)ノ位置ヲ常ニ一定セシムル様設備シタル火鉢取附裝置即チ火鉢入(ロ)火鉢入懸輪(ハ)軸(ニ)ヲ、軸留(ホ)ハ本發明ノ主要部分ヲ爲スモノト云フヘシ今之ヲ請求人ノ甲第一號證炬燵ト對比スルニ請求人ノ炬燵ニ於テハ被請求人ノ本件特許ニ於テ其主要部分トスル所ノ火鉢取附裝置即チ火鉢入(ロ)火鉢入懸輪(ハ)軸(ニ)ヲ、軸留(ホ)ノ構造ハ全然之ヲ缺如セリ從テ請求人ノ炬燵ハ手焙ト爲スタメ之ヲ豎ニ爲ストキ火入部分(ニ)ハ上向トナラスシテ横向トナリ火ヲ放出スルコトトナリ到底手焙用ニ供スルコトヲ得サルモノナリ加之請求人ノ炬燵ニ於テハ火入部分(ニ)ト一體ニ倒樋狀ノ耳部(ホ)ヲ設ケタリ要スルニ兩者其目的及構造ヲ異ニセラルコト處述ノ如ク明白ナルヲ以テ甲第一號證炬燵ハ被請求人ノ改訂特許第九〇七〇號ノ權利範圍ニ屬セサルコト明瞭ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ
被請求人小林重正申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證炬燵ハ被請求人ノ所有スル特許第九〇七〇號改訂安全火燵ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人

ノ所有ニ係ル改訂特許第九〇七〇號安全火燧ハ其特許請求範圍ニ明記シタル如ク八角又ハ六角柱形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及排氣孔又ハ透トヲ穿テ外器イニ火鉢入、火鉢入懸輪ハ、軸ニヲ、軸留ホ等ヲ圖面ノ如ク組合ハセ火燧ヲ如何ナル程度ニ顛倒スルモ火入ハ常ニ一定ノ位置ニ上向ニ吊垂セラレ顛倒跳逸ノ虞無カラシメタル全體ノ構造ニ在ルモノト解釋スルヲ至當トス從テ外器イ火鉢取付裝置ヲ各別箇ノモノトシテ論スヘキ性質ノモノニアラサルハ明白ノ理ナリ故ニ火鉢取付裝置ヲ外ニシテ本改訂特許權ノ存在ナク又外器イヲ除外スレハ火燧ト謂フ物品ノ構造ニ於テ無意味ノモノタリ仍テ此等兩者ハ全然不可離物ト爲シ茲ニ請求人ノ製造セル甲第一號證炬燧ト對照スルニ外器ノ形狀ハ幾分相違ノ點アレトモ構造ノ點ニ於テハ同一ニシテ火鉢ヲ吊垂シタル場所ニ自在關節ヲ設ケ回轉自由ナラシメタル點モ亦同一ナリ唯後者ニ在リテハ火鉢ニ兩側面ニ直チニ倒樋狀ノ耳ホヲ設ケ外器ノ接合部兩側ニ備フル受子ハニ掛合スヘク爲シタルト炬燧ヲ豎ニシタル場合火鉢ノ位置ヲ上向ニ定置スヘキ構造ヲ省略シタルトノ差異アレトモ如斯ハ全ク設計上ノ變更ニ止マルモノニシテ其根本ノ精神ニ於テハ目的要領共ニ同一ナリト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出セリ又被請求人平田清五郎ノ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由

本件改訂特許第九〇七〇號安全火燧ハ其明細書ニ徵スルニ發明ノ性質トシテ本發明ハ使用ノ際誤テ火鉢カ顛倒スルモ火ヲ入ルレハ外器内ノ中央ニ依然トシテ其位置ヲ變セサル爲メ失火若ハ燒ケ抜キテ危險ヲ他ニ及ホスカ如キ憂ナク動搖不傾ニシテ安全ナル手焙兼用ノ火燧ニ係リト記載シ又發明ノ詳細ナル説明中外器イハ木製ニシテ八角又ハ六角ノ柱トナシ上下ニ圓形ノ排氣孔ヲ穿テ周圍モ亦長方形ノ排氣孔ト又ハ柱間透トナシテ火氣ヲ散布セシム云々火鉢ハ及火ノ出入ハ外器イノ一方面ノ火鉢入口リヲ抽斗トナシ又ハ外器イヲ半割シタル二面ノ接合ノ一端ヲ蝶鉸ヨリ以テ連着シ開閉ノ便ニ供ス云々火鉢入、火鉢入懸輪ハ、軸ヲ、軸留ホ、軸ニ等ノ組合ニ依テ或ハ火鉢入懸輪ハノ左右ニ軸兼用

ノ二本ノ腕ヲ具ヘ其腕ヲ兩軸留ホトニ嵌メ込メ火鉢入懸輪ハノ兩側ニ支持セル軸ニトニ依テ火鉢ハハ自在ニ廻轉シ得ル構造ニシテ本器イハ孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢ハ常ニ一定ノ位置ヲ保持スヘシ云々ト記載シ又其特許請求範圍ニ於テ八角又ハ六角形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及排氣孔或ハ透トヲ穿テタル外器イハ外器イハ八角又ハ六角柱形ノ一側ヲ抽斗トシ之ヨリ火ヲ入ルヘクナシタルモノ若ハ是等柱形ヲ豎半割シテ火ヲ入ルヘクナシタルモノナリト火鉢ハ、火鉢入懸輪ハ、軸ニヲ軸留等ヲ組合セテ自在關節ヲ設ケ之ニ火鉢ヲ裝附シテ成ル安全火燧ト記載セリ之ニ關シ請求人ハ其審判請求書中ニ説明シテ曰ク本件特許ニ於ケル其權利範圍トスル所ハ火燧ヲ橫倒スルモ又ハ手焙ニ供スル爲メ火燧ヲ豎ニスルモ其他孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢ハ常ニ一定ノ位置ヲ保持スルコトヲ得ヘク以テ失火等ノ危險ヲ生スルノ虞ナカラシムヘク即チ八角又ハ六角柱形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及排氣孔或ハ透トヲ穿テタル外器イ、火鉢ハ、火鉢入、火鉢入懸輪ハ、軸ニヲ、軸留ホ等ヲ組合セテ自在關節ヲ設ケ之ニ火鉢ヲ裝附シテ成ル特種ノ構造ナリ就中右構造中ニ於テ火燧ヲ橫倒スルモ又ハ手焙ニ供用スル爲メ火燧ヲ豎ニスルモ其他孰レノ方向ニ顛倒スルモ火鉢ハ常ニ一定セシムル樣設備シタル火鉢取付裝置即チ火鉢入、火鉢入懸輪ハ、軸ニヲ、軸留ホハ本發明ノ主要部分ヲ爲スモノト云ハサルヘカラスト然ルニ火鉢ニ於テ火鉢體ノ傾倒スルニ拘ラス其火入ヲ常ニ一定ノ上向ノ位置ニ保持セシムル爲ニ之ヲ自在關節懸輪ニヨリテ懸架スル構造ハ本件特許出願日即明治三十四年十一月一日以前特許第七八八號火鉢ノ一部ニ於テ見ラル、所ナリ故ニ此構造ノミヲ以テ本件特許ノ要點ト爲スモノト認ムヘカラス又案火ノ圓筒狀外器ノ周圍ヲ柱間透トシテ火氣ノ散布ニ便ナラシメ且半割シタル兩部ヲ中央ニ蝶番ヲ設ケテ連着シ其内部ニ火器ヲ懸架シタルモノモ本件特許出願以前特許第三八七七號案火ニ於テ知ラル、所ナリ故ニ亦此點ノミヲ以テ本件特許ノ要點ト爲スモノトハ認ムヘカラス尙本件特許ニ於テ外器イヲ八角

又ハ六角形ニ構成スルカ如キハ構造上ノ便宜ニ由ルモノニシテ其八角タルト六角タルトハ之ヲ發明ノ要點ト認ムヘカラス故ニ其權利範圍トスル所ハ被請求人カ其答辯書ニ於テ云フカ如ク八角又ハ六角柱形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及排氣孔又ハ透トヲ穿テ外器ニ火鉢入、火鉢入懸輪ハ、軸ニテ、軸留索等ヲ圖面ノ如ク組合ハセ火燧ヲ如何ナル程度ニ顛倒スルモ火入ハ常ニ一定ノ位置ニ上向ニ吊垂セラレ顛倒跳逸ノ爲メ失火ノ危険ヲ生スル虞ナカラシメタル全體ノ構造ニ在ルコト明瞭ニシテ此等ノ部分ノ組合ヲ具有セス或ハ組合ノ要素ヲ異ニスルモノハ其權利範圍ニ屬セサルコト自ラ明白ナリトス然ルニ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證炬燧ノ構造ハ切口稍斷頭等邊三角狀ヲ爲セル長棒ト切口橫形長方形ヲナシ下底及兩側ハ平板ニテ造リタル棒トヲ合體シテ切口六角形ノ長棒ヲ構成シ之ニ蝶鉸部分ハ付設シ及左右外方ニ倒樋狀ノ耳索ヲ具ヘタル火入部分ニ受子ヘ、蓋トヲ具備シテ成ルモノニシテ本特許ニ於テ組合ノ要素トスル火鉢取付裝置即火鉢入、火鉢入懸輪ハ、軸ニテ、軸留索ノ構造ハ全然之ヲ缺如セリ且火入部分ニ倒樋狀ノ耳部索ヲ設ケタルノミニシテ外器ヲ豎位置ニ置キテ本件特許ニ於ケルカ如キ手焙兼用ノ特徵ヲ有セサルモノナリ要スルニ請求人ノ製造販賣セル第一號證炬燧ハ作用上ノ相違アルノミナラス本件特許ノ權利範圍トスル各部分ノ組合ヲ具有セス且組合ノ要素ヲ異ニスル所ノ被請求人所有ノ改訂特許第九〇七〇號安全火燧ノ權利範圍ニ屬セサルコト明瞭ナリ其他當事者間相争フ所アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
同 塚本信治

特許局事務官 奥山萬次郎

第二千五百七十三號

| | | |
|------------------------|------|-------|
| 大阪市南區難波新川町二丁目六百七十八番屋敷 | 請求人 | 吉野源次郎 |
| 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 | 右代理人 | 淺村三郎 |
| 同 市東區内本町一丁目二十五番地特許辨理士 | 同 | 尾形兵太郎 |
| 岐阜市八寺町一丁目九百三十三番地 | 被請求人 | 小林重正 |
| 大阪市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許辨理士 | 右代理人 | 小池宗三郎 |
| 東京市日本橋區箱崎町四丁目一番地 | 被請求人 | 平田清五郎 |

右當事者間ノ第九〇七〇號改訂特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ製造販賣セル甲第一號炬燧ハ被請求人所有ノ改訂特許第九〇七〇號安全火燧ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證炬燧ハ被請求人ノ所有スル改訂特許

第九〇七〇號安全火燧ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ製造販賣セル炬燧ハ甲第一號證ノ一圖面及圖面ノ説明ニ示ス如ク切口稍々斷頭等邊三角狀ヲ爲セル長棒ト切口稍々斷頭等邊三角ヲ倒置セル形狀ノ長棒トヲ合體シテ切口六角形ノ長棒ヲ構成シ之ニ蝶鉸部分ハ付設シ及左右外方ニ倒樋狀ノ耳索ヲ具ヘタル火入部分ニ受子ヘ、蓋トヲ具備シテ成

ルモノトス而シテ被請求人ノ所有スル改訂特許第九〇七〇號安全火燧ハ其明細書中發明ノ性質及目的ノ要領發明ノ詳細ナル説明及特許請求範圍ニ記載スル所ニ徴スレハ其權利範圍トスル所ハ火燧ヲ横倒スルモ又ハ手焙ニ供スル爲メ火燧ヲ堅ニスルモ其他孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢ハハ常ニ一定ノ位置ヲ保持スルコトヲ得ヘク以テ失火等ノ危險ヲ生スルノ虞ナカラシムヘク八角又ハ六角柱形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及排氣孔或ハ透トヲ穿チタル外器イ、火鉢入懸輪ハ、軸ニテ、軸留ホ等ヲ組合セテ自在關節ヲ設ケ之ニ火鉢ヲ裝付シテ成ル特種ノ構造ナリ就中右構造中火燧ヲ横倒スルモ又ハ手焙ニ供用スル爲メ火燧ヲ堅ニスルモ其他孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢入懸輪ハ、軸ニテ、軸留ホ等ヲ樣設備シタル火鉢取付裝置即チ火鉢入口、火鉢入懸輪ハ、軸ニテ、軸留ホハ本發明ノ主要部分ヲ爲スモノト云フヘシ今之ヲ請求人ノ甲第一號證炬燧ト對比スルニ請求人ノ炬燧ニ於テハ被請求人ノ本件特許ノ主要部分トスル所ノ火鉢取付裝置即チ火鉢入口、火鉢入懸輪ハ、軸ニテ、軸留ホノ構造ヲ全然缺如セリ從テ請求人ノ炬燧ハ手焙ト爲メ之ヲ堅ニ爲ストキハ火入部分ニハ上向トナラスシテ横向トナリ火ヲ放出スルコト、ナリ到底手焙用ニ供スルコトヲ得サルモノナリ加之請求人ノ炬燧ニ於テハ火入部分ニト一體ニ倒樋狀ノ耳部ホヲ設ケタルノ差異アリ之ヲ要スルニ兩者其目的及構造ヲ異ニセルコト以上述フル如ク明白ナルヲ以テ甲第一號證炬燧ハ被請求人ノ改訂特許第九〇七〇號ノ權利範圍ニ屬セザルコト明瞭ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人小林重正申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證炬燧ハ被請求人ノ所有スル改訂特許第九〇七〇號安全火燧ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有スル改訂特許第九〇七〇號安全火燧ハ其特許請求範圍ニ明記スル如ク八角又ハ六角柱形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及排氣孔或ハ透トヲ穿チタル外器イト火鉢入口、火鉢入懸輪ハ、軸ニテ、軸留ホ

等ヲ組合ハセタル全體ノ構造ナリ故ニ請求人ノ言フカ如ク其物品ヲ分解シ主從ノ部分ヲ各別ニ論スヘキ性質ノモノニアラサルコト勿論ナリ而シテ今改訂特許第九〇七〇號安全火燧ト請求人ノ製造販賣スル甲第一號證炬燧トヲ比較スルニ其外器ニ於テハ全ク同一ニシテ火鉢ヲ吊垂シタル各構造モ共ニ同一ナリ唯後者ハ火鉢ニノ兩側ニ倒樋狀ノ耳ホヲ附シ之ヲ外器兩側ノ受子ヘニ掛ケ止メタルノ相違アリテ若シ炬燧ヲ縦ニ置クトキハ火鉢ハ横樣トナリ火ヲ放出スルコトアルモ斯ノ如キコトハ其設計上ノ結果ニ他ナラス且火鉢ノ兩側ニ耳ヲ附シタルト火鉢及其懸輪ヲ別箇ニ爲シタルトハ畢竟設計上ノ變更ニ止マリ懸輪ノ二重ナルモノヲ單ニ一箇ト爲シ炬燧ヲ置キテ使用シ能ハサラシメタル如キモ改訂特許第九〇七〇號安全火燧ニ比スレハ寧ロ退歩ヲ示スモノニシテ其根本發明ノ意義ニ於テハ全ク同一ナリ之ヲ要スルニ請求人ノ製造販賣スル甲第一號證炬燧ト被請求人ノ所有スル改訂特許第九〇七〇號安全火燧トハ設計上ニ於テ僅少ノ相違アルモ根本ノ目的要領及構造ニ於テハ全ク同一ナリト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出セリ又被請求人平田清五郎ハ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由 本件改訂特許第九〇七〇號安全火燧ハ其明細書ニ徴スルニ發明ノ性質トシテ本發明ハ使用ノ際誤テ火鉢カ顛倒スルモ火ヲ入ルレハ外器内ノ中央ニ依然トシテ其位置ヲ變セサル爲メ失火若ハ燒ケ抜キテ危險ヲ他ニ及ホスカ如キ憂ナク動搖不傾ニシテ安全ナル手焙兼用ノ火燧ニ係リト記載シ又發明ノ詳細ナル説明中外器イハ木製ニシテ八角又ハ六角ノ柱形トナシ上下ニ圖形ノ排氣孔ヲ穿チ周圍モ亦長方形ノ排氣孔ト又ハ柱間透トナシテ火氣ヲ散布セシム云々火鉢入懸輪ハ及火ノ出入ハ外器イノ一方面ノ火鉢入口リヲ抽斗トナシ又ハ外器イヲ半割シタル二面ノ接合ノ一端ヲ蝶鉸ヨヲ以テ連着シ開閉ノ便ニ供ス云々火鉢入口、火鉢入懸輪ハ、軸ヲ、軸留ホ、軸ニ等ノ組合ニ依テ或ハ火鉢入懸輪ハノ左右ニ軸兼用ノ二本ノ腕ヲ具ヘ其腕ヲ兩軸留ホトワニ嵌メ込ミ火鉢入懸輪ハノ兩側ニ支持セル軸ニトニ依テ火鉢

(ハ)自在ニ廻轉シ得ル構造ニシテ本器(イ)ハ孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢ハ常ニ一定ノ位置ヲ保持スヘシ云々ト記載シ又其特許請求範圍ニ於テ八角又ハ六角形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及ヒ排氣孔或ハ透トヲ穿テタル外器(イ)ハ八角又ハ六角柱形ノ一側ヲ抽斗トシ之ヨリ火ヲ入ルヘク爲シタルモノナリト若ハ此等柱形ヲ豎半割シテ一端ニ蝶着シタル裝置ニ依リ半割シテ火ヲ入ルヘク爲シタルモノナリト火鉢(ハ)火鉢入懸輪(ハ)軸(ニ)ヲ、軸留等ヲ組合ハセテ自在關節ヲ設ケ之ニ火鉢ヲ裝附シテ成ル安全火燧ト記載セリ之ニ關シ請求人ハ其審判請求書中ニ說明シテ曰ク本件特許ニ於ケル其權利範圍トスル所ハ火燧ヲ橫倒スルモ又ハ手焙ニ供スル爲メ火燧ヲ豎ニスルモ其他孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢(ハ)ハ常ニ一定ノ位置ヲ保持スルコトヲ得ヘク以テ失火等ノ危險ヲ生スルノ虞ナカラシムヘク即チ八角又ハ六角柱形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及ヒ排氣孔或ハ透トヲ穿テタル外器(イ)火鉢(ハ)火鉢入懸輪(ハ)軸(ニ)ヲ、軸留(ホ)等ヲ組合ハセテ自在關節ヲ設ケ之ニ火鉢ヲ裝付シテ成ル特種ノ構造ナリ就中右構造中ニ於テ火燧ヲ橫倒スルモ又ハ手焙ニ供用スル爲メ火燧ヲ豎ニスルモ其他孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢(ハ)ノ位置ヲ常ニ一定セシムル様設備シタル火鉢取付裝置即チ火鉢入懸輪(ハ)火鉢入懸輪(ハ)軸(ニ)ヲ、軸留(ホ)ハ本發明ノ主要部分ヲ爲スモノト云ハサルヘカラスト然ルニ火鉢ニ於テ火鉢體ノ傾顛スルニ拘ハラズ其火入ヲ常ニ一定ノ上向ノ位置ニ保持セシムル爲メニ之ヲ自在關節懸輪ニヨリテ懸架スル構造ハ本件特許出願日即チ明治三十四年十一月一日以前特許第七八八號火鉢ノ一部ニ於テ見ラル、所ナリ故ニ此構造ノミヲ以テ本件特許ノ要點ト爲スモノト認ムヘカラス又案火ノ圓筒狀外器ノ周圍ヲ柱間透トシテ火氣ノ散布ニ便ナラシメ且半割シタル兩部ヲ中央ニ蝶番ヲ設ケテ連着シ其内部ニ火器ヲ懸架シタルモノモ本件特許出願以前特許第三八七七號案火ニ於テ知ラル、所ナリ故ニ亦此點ノミヲ以テ本件特許ノ要點ト爲スモノト認ムヘカラス尙本件特許ニ於テ外器(イ)ヲ八角又ハ六角形ニ構成スルカ如キハ構造上ノ便宜ニ

由ルモノニシテ其八角タルト六角タルトハ之ヲ發明ノ要點ト認ムヘカラス故ニ其權利範圍トスル所ハ火燧ヲ橫倒スルモ又手焙ニ供スル爲メ火燧ヲ豎ニスルモ其他孰レノ方向ニ轉倒スルモ火鉢(ハ)ハ常ニ一定ノ位置ヲ保持スルヲ得ヘク以テ失火ノ危險ヲ生スルノ虞ナカラシムル爲メニ被請求人カ其答辯書中ニ記載スルカ如ク八角又ハ六角柱形ノ上下周圍ニ排氣孔ヲ及ヒ排氣孔或ハ透トヲ穿テタル外器(イ)ト火鉢(ハ)火鉢入懸輪(ハ)火鉢入懸輪(ハ)軸(ニ)ヲ、軸留(ホ)等ヲ組合ハセタル全體ノ構造ナルコト明瞭ナリ從テ此等ノ部分ノ組合ヲ具有セス若ハ組合ノ要素ヲ異ニスルモノハ其權利範圍ニ屬セサルコト自ラ明白ナリト然ルニ請求人ノ製造販賣スル甲第一號證炬燧ノ構造ハ切口稍々斷頭等邊三角狀ヲ爲セル長枠(イ)ト切口稍々斷頭等邊三角ヲ倒置セル形狀ノ長枠(ロ)トヲ合體シテ切口六角形ノ長枠ヲ構成シ之ニ蝶鉸部分(ハ)ヲ付設シ及左右兩外方ニ倒樋狀ノ耳(ホ)ヲ具ヘタル火入部分(ニ)受子(ハ)蓋トヲ具備シテ成ルモノニシテ本件特許ニ於テ組合ノ要素トスル火鉢取付裝置即チ火鉢入懸輪(ハ)火鉢入懸輪(ハ)軸(ニ)ヲ、軸留(ホ)ノ構造ヲ有セス且火入部分ニ倒樋狀ノ耳(ホ)ヲ設ケタルノミニシテ外器ヲ豎位置ニ置キテ本件特許ニ於ケルカ如キ手焙兼用ノ特徵ヲ有セサルモノナリ要スルニ甲第一號證炬燧(ハ)之ヲ改訂特許第九〇七〇號安全火燧ニ比スルニ作用上ニ相違アルノミナラス該特許ノ權利範圍トスル各部分ノ組合ヲ具有セス且組合ノ要素ヲ異ニスルモノニシテ前者ハ後者ノ權利範圍ニ屬セサルコト明瞭ナリ其他當事者間相爭フ所アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ說明セス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
 同 塚 本 信 治

第二千四百五十七號

東京市赤坂區青山北町七丁目八番地

請求人 千々和 政喜

福岡縣筑紫郡聖相村大字松園六百四十五番地

被請求人 中原 孫助

右當事者間ノ第一八六四號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ特許第一八六四號洗眼器ハ無効トシ審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
ト審決相成度其理由ハ特許第一八六四號洗眼器ノ明細書及圖面ヲ案スルニ橢圓壙形イヲ壙形ロノ上半部ノ容器ト接着シ空氣吹込ノ通路口ハ竝ニ藥液流出口ニ直立管ソヲ「キルク」栓又ハ護膜栓チニ挿入シ橢圓壙形イ、直立管ソヲ直立ト屈曲トノ二種ノ組合セヨリ成ルモノナリ然ルニ明治三十四年東京市本所區石原町五十二番地平澤權吉カ本件特許ト同一形狀ノ構造ニシテ同果ノ洗眼器ヲ發明シ粉塵ノ眼中ニ入りタル時ニ使用スレハ效果ヲ奏スルヲ以テ特許出願ヲ爲サント請求人方ニ携帶シ又其後希望者ノ乞ヒニ依リ該器ヲ分布セリ加之藥瓶ノ一方ヨリ空氣ヲ吹込ミ瓶口ノ「キルク」栓ニ直立管ヲ通シテ藥水ヲ噴出セシメ洗眼スル洗眼裝置ハ「コルペン」式ト稱シ古來ヨリ公知公用ニ係レリ又「コルペン」式ニ眼當器ヲ附着シタル點ヲ以テ發明ナリトセンカ特許第八〇五八號洗滌器ノ如ク廢液ヲ他ニ導ク爲メニ廢液受器ノ一方下部ニ流出口ヲ設ケ藥液注射管ノ上部ト受具トヲ接着セシメタル部分ハ本件

特許局事務官 奥山萬次郎

特許ニ於ケル眼當器ヲ藥瓶ノ上部ニ付着シ藥液ヲ噴出セシムル方法ト毫モ異ル所ナシ又本件特許發明ノ要部ハ藥瓶ノ一方ヨリ空氣ヲ吹込ミ「キルク」栓ヲ通シタル直立管ニヨリ空氣ノ壓力ニテ藥水カ噴出シ眼部ヲ洗滌スル點ニアリトセンカ之レ普通ニテ發明トナラス又廢液ノ飛散ヲ防クヘキ眼當器ヲ以テ要素トセンカ之レ天保八年ノ刊行ニ係ル續眼科錦囊ニ於テ公知公用ニ屬ス又本件特許ハ其實施ニ不能ナル事項及圖面ヲ記載シ權利ノ膨大ヲ假裝セル事ハ現ニ被請求人カ特許標記ヲ附シテ製造販賣セル物品ヲ見レハ明ナリ此點ニ於テ本件特許ハ特許法第四十九條第四號ニ該當スト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件請求ハ曩キニ請求人ノ實兄直政ノ名義ヲ以テ提起セラレ勝算ノ見込ナキヤ惶惶請求ヲ取下ケ今又新ニ實弟政喜ノ名義ヲ以テ本件無効審判ヲ請求スルヲ以テ却下セラルヘキモノナリ又請求人ハ高德平氏著作ノ理學教科書記載ノ空氣壓縮實驗用理化器具ヲ以テ本件特許ト同法ナリト云フト雖同法必ス發明ナラスト云フヲ得ス例ヘハ織器ニ於テモ等シク同法タリト雖一部ノ裝置所謂組合セカ新規ノ工風發明タルカ爲メ特許セラレタルモノ數多アリト云フニアリ

審決ノ理由 被請求人ハ本件請求ハ曩キニ請求人ノ實兄ニ依リ提起セラレタルモ勝算ノ見込ナキヲ以テ之ヲ取下ケ今又實弟タル請求人ノ名義ヲ以テ提起セラレタルヲ以テ却下セラルヘキモノナリト主張スト雖兩者ハ假令兄弟ノ關係アリトスルモ別箇ノ主體ニ屬スルノミナラス又假リニ同一審判ニ屬ストスルモ其確定審決ノ登錄ナキ限リハ何人ト雖之ヲ請求シ得ヘキコトハ特許法第八十七條ノ規定スル所ナルヲ以テ被請求人ノ主張ハ採用スルヲ得ス依テ之レヲ審案スルニ本件特許中原式洗眼器ハ其特許請求範圍ニ依レハ橢圓壙形ノ上半部イヲ壙形下半部ノ容器ロト接着シ空氣吹込ミノ通路口ハ竝ニ藥液ノ

流出通路口三及直立管リヲ「キルク」栓〔又ハ護謨栓〕ヲニ挿入シタル構造ヨリ成ルモノナリ今之レヲ請
 求人提出ノ甲第一號證及甲第二號證物品ト比較スルニ甲第一號證ハ化學器械ニシテ本件洗眼器ト其目
 的ヲ異ニスルノミナラス中央木栓ニ挿入シタル直角ニ曲リタル硝子管ヨリ空氣ヲ吹キ込ミ下瓶内ノ液
 ヲ直立管ヲ通シテ上騰セシメ「フラスコ」ヲ充タサシムルモノニシテ其構造及效果ニ於テ兩者相異レリ
 又甲第二號證「シュワイゲル」氏洗眼如露及「セーミスユ」氏洗眼器ハ「サイホン」理法ニ依リ水ヲ導キ又
 ハ上部ニアル護謨球ヲ收縮セシメテ水ヲ吹キ出スモノニシテ本件洗眼器ノ如ク外部ヨリ空氣ヲ吹キ込
 ムヘキ構造ニアラサルヲ以テ共ニ本件洗眼器ト別異ノモノナリ從テ甲第一號證及甲第二號證ニ依リ本
 件特許ヲ無効トスルコトヲ得ス又甲第四號證及甲第六號證ハ其印刷ノ時日明カナラサルノミナラス隨
 時調製シ得ヘキ印刷物ナルカ故ニ何等ノ證據力ナシ又證人平澤權吉ノ證言ハ之レヲ信憑スルニ足ラス
 次ニ請求人ハ本件特許ハ特許法第四十九條第四號ニ該當スト主張シ甲第六號證ヲ提出スト雖右ハ前記
 ノ理由ニ依リ何等ノ證據トナラサルヲ以テ此點ニ對スル請求人ノ主張モ採用スルヲ得ス
 仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月二十二日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 同 塚 本 信 治
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千四百四十六號

京都市上京區中立賣通智惠光院東入新泉丸町四百六十番地 請 求 人 藤 家 吉 之 助
 同 市上京區下立賣通小川西入西大路町百三十八番地 右 代 理 人 岡 田 信 次 郎
 特許辨理士
 同 市上京區大宮通寺之内下ル西入新美濃部町八番戶 被 請 求 人 岩 崎 伊 助
 同 市上京區上立賣通淨福寺東入聖天町一番地 同 青 木 富 次 郎
 同 市上京區中立賣通智惠光院東入多門町四百四十一番地 右 代 理 人 森 田 茂
 特許辨理士

右當事者間ノ第一八二六一號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人カ一箇ノ「シリンドー」ヲ具ヘタル普通ノ紋織機ニ應用シテ販賣セル甲第一號證ノ豎針ハ被
 請求人ノ所有スル特許第一八二六一號紋織機ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ請求人カ「シリンドー」ヲ前後兩面ニ裝置セサル紋織機ニ應用シテ販賣
 セル甲第一號證ノ豎針ハ被請求人ノ所有スル特許第一八二六一號ノ紋織機ノ權利範圍ニ屬セス審判費
 用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ特許第一八二六一號ノ權利ハ其特許請求範圍ニ依レハ
 「シリンドー」ヲ前後兩面ニ裝置シタル紋織機ニ於テ第六圖ニ示ス「フック」ヲ使用シ之ニ依リテ「スパイ
 ラル」スプリング」ヲ具ヘサル横針ヲ押出スヘク爲シタルモノナルコト明瞭ナリ然ルニ甲第一號證ノ豎
 針ハ古クヨリ紋織機ノ一部トシテ普通ニ使用セルモノナルハ英國「フォックス」氏著「メカニズム、オブ、
 ウヂーピング」一八六頁及横井寅雄著實用織機後編二四一頁ニ記載セル「ベルドル、ジャカード」ニ依リ明

カナルヘク之ヲ普通ノ構造ヨリ成ル紋織機〔即チ「シリンダー」ヲ一面ノミニ具ヘタルモノ〕ニ應用スルモ決シテ特許權ヲ侵害スルモノニ非ラス其他特許明細書中詳細ナル説明ニ於テ彈性ヲ有スル「フック」ノ效用ヲ新規ナルモノノ如ク記載セルモ特許ノ權利トスル所ハ特許請求範圍ニ記載セル所ヲ以テ決スルヲ至當トスルコトハ明細書中特ニ其請求範圍ヲ明示スルコトヲ規定セラレタル法規ニ依ルモ明瞭ナルヲ以テ該記載ヲ以テ特許ノ主要點ナリト云フヘカラス要之紋織機ニ於テ横針ニ「スプリング」ヲ使用セシテ彈性ヲ有スル堅針ノ力ニ依リテ横針ヲ作用セシムヘキ構造ハ本件特許出願ヨリ數年前既ニ公知公用ノモノナルカ故ニ發明トスヘキ點ニアラス仍テ其大體ノ機構カ「シリンダー」ヲ前後兩面ニ裝置シタルモノニアラサル限リ其形狀ノ如何ニ拘ハラス本件特許ノ權利範圍ニ屬セスト云フニ在リテ甲第一號證乃至第四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件特許ハ「ジャッカード、メカニック」ニ於テ「スバイラル、スプリング」ト同一效果ヲ呈セシムヘキ目的ニ依リ彈性堅針ヲ使用スヘク構成シタルニ在ルハ圖面及説明ニ徴シテ明ナリ故ニ甲第一號證ノ堅針カ單ニ普通紋織機ニ依リテ公知ニ屬シタリトノ漠然タル理由ノ爲メニ本件特許ノ效力ヲ左右シ得ヘキモノニアラス請求人ハ普通紋織機ノ種類ニ數十種アリト云ヒ其一例トシテ甲第三號證及第四號證ヲ提出セリト雖モ之レ「ジャッカード」式紋織機ト其系統ヲ異ニセル特殊紋織機ニシテ此ノ如キ紋織機ハ假令數百種アリトスルモ本件特許ノ效力ニ關係ヲ及ホスモノニアラス要スルニ請求人ハ本件特許ノ特許請求範圍ハ「シリンダー」ヲ前後兩面ニ裝置スルニ在ルカ故ニ「シリンダー」ヲ片面ニノミ使用スルモノハ權利カ如ク假令「シリンダー」ノ片面裝置ナルニセヨ本件特許ト同一目的及性質ノ下ニ甲第一號證ノ如キ彈

性堅針ヲ使用スルモノタルニ於テハ本件特許ノ權利ト撞着スルハ當然ナリト云フニ在リ

審決ノ理由

本件特許第一八二六一號紋織機ノ明細書ニ徴スルニ發明ノ性質及目的ノ要領トシテ本發明ハ彈性ヲ有スル「フック」ト該「フック」ノ彈力ニ抗拒スル「フック」支トニ依リテ「ニードル」ヲ作用セシムヘキ構造ニ成ル紋織機ニ係リ其目的トスル所ハ「スバイラル、スプリング」ヲ要セシテ「ニードル」ヲ作用セシムルニ在リト記載シ又發明ノ詳細ナル説明中彈性ヲ有スル「フック」ノ構造ニ關シ「フック」ハ二條ニ分岐シタル線條「ナラ」ノ稍長キ一線「上」ノ上端ヲ短キ鉤狀トナシ基部「ム」ハ上端ノ鉤狀ト相對シテ曲鈎シ彈力ヲ有セシム云々ト記載シ又同説明中元來「スバイラル、スプリング」カ「ニードル」ノ進退ヲ不規律ニシ隨テ其操業ニ及ホス缺點ハ當業者ノ常ニ苦シム所ナリ本發明ハ「フック」ノ形狀ヲ二條ニ分岐シタル線條「ナラ」ノ長キ一線「上」ノ上端ヲ短キ鉤狀ト爲シ基部「ム」ハ之ニ對シテ鉤曲シ成セルカ故ニ常ニ彈性ヲ有シテ而カモ該彈力ハ「フック」支トニ妨ケラレテ外ニ壓縮シ該壓縮ニ因ル彈力ノ反撥ニ依リテ「ニードル」ヲ押出スノ構造ナルニ依リ能ク在來ノ「スバイラル、スプリング」ノ働ヲ有シテ而カモ「スバイラル、スプリング」ニ賴ルカ如キ缺點ナキ有益ノ發明ナリトスト記載シ又特許請求範圍ニ於テ「シリンダー」ヲ前後兩面ニ裝置シ前面ニ取着ケタル「シリンダー」ハ紋部分ヲ組織セシメ後面ニ取着ケタル「シリンダー」ハ地部ヲ組織スヘク構成セラレタル紋織機ニ於テ二條ニ分岐シタル線條ノ稍長キ一線ノ上端ヲ曲鈎シ基部ハ上端ノ曲鈎部ト對向セシメテ鉤曲シテ成ル彈性ヲ具ヘタル「フック」ヲ「フック」支トニ依リテ常ニ外ニ壓セシメ以テ「スバイラル、スプリング」ノ作用ヲ呈セシムヘク構成セラレタル紋織機ト記載セリ此等ノ記載ニ徴スルニ本發明ノ要點トスル所ハ「スバイラル、スプリング」ニ賴ルノ缺點ヲ改良センカ爲メニ二條ニ分岐シタル線條「ナラ」ノ稍長キ一線「上」ノ上端ヲ曲鈎シ基部「ム」ハ上端ノ曲鈎部ニ對向セシメテ曲鈎シテ成ル彈性ヲ具ヘタル「フック」ヲ「フック」支トニ依リテ常ニ外ニ壓セシメテ「スバイ

ラル、スプリング」ノ作用ヲ呈セシムヘク構成シ之ヲ前後兩面ニ「シリンドア」ヲ有スル紋織機ニ適用シテ其織機ノ效果ヲ完全ナラシムルニアルハ明瞭ナリ然ルニ甲第一號證ノ堅針ハ單ニ一條ノ金屬線ヲ折曲ケ其長片ノ一端ヲ曲鈎シタルモノニシテ之ヲ特許第一八二六一號ニ於ケル「フック」ニ比較スルニ其形狀ノ著シク相違スルノミナラス之ヲ「シリンドア」ヲ一面ニノミ具フル普通ノ紋織機ニ適用スルハ特許第一八二六一號ニ於テ前後兩面ニ「シリンドア」ヲ有スル紋織機ニ適用スルニ比シ應用上ノ相違アルモノトス故ニ請求人カ普通ノ紋織機即チ一箇ノ「シリンドア」ヲ具フル紋織機ニ甲第一號證ノ堅針ヲ應用スルハ特許第一八二六一號紋織機ノ權利範圍ニ屬セサルナリ其他當事者間ニ爭フ所アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月二十二日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千五百六十九號

大 阪 市 北 區 老 松 町 三 丁 目 四 十 二 番 屋 敷 請 求 人 丹 羽 莊 治 郎
同 市 北 區 眞 砂 町 二 十 二 番 地 特 許 辦 理 士 右 代 理 人 齋 藤 秀 岳
大 阪 府 西 成 郡 本 庄 豐 崎 町 六 百 六 十 九 番 地 被 請 求 人 戶 田 兵 右 衛 門

大 阪 市 東 區 淡 路 町 一 丁 目 二 十 四 番 地 特 許 辦 理 士 右 代 理 人 佐 々 木 高 吉

右當事者間ノ舊韓國特許第一〇號權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人カ製造販賣セル甲第二號證ノ腹掛股引ハ舊韓國特許第一〇號ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ所有スル舊韓國特許第一〇號腹掛「バッチ」ト請求人カ製造販賣セル甲第二號證ノ腹掛股引トハ撞着セサルモノトス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ舊韓國特許第一〇號ノ構造ハ其特許請求範圍ニ記載セル如ク圓筒ノ生地Aノ中央部ヲ鍵ノ手①②ニ裁切セル一方ニ更ニ③ノ切裂ヲ加ヘ之ヲ縫合シテ兩足部Aト股明キ部④トシ臀部Aノ上縁⑤ニ伸縮力アルモノ⑦ヲ加ヘ胸當Aノ兩邊⑥、襟部⑤、襟紐⑨並ニ匿囊B、筒先Cヲ任意トシテ成ル腹掛「バッチ」ノ構造ナルモ其要點トスル所ハ圓筒ノ莫大小生地ヲ適宜ノ長サニ裁斷シ更ニ中央ヨリ交互ニ鍵形ニ裁斷シ其圓筒部ノ中央ヲ適宜ノ所ヨリ裁切シ其裁切部ヲ各別ニ縫着シテ股部ヲ作り他ノ一片ヲ胸當部ニ充ツル裁斷方ヲ目的トスル構造ニ在リ而シテ請求人ノ製造販賣ニ係ル甲第二號證ノ物品ハ莫大小生地ヲ切開シテ上部左右ヲ弧狀ニ列リタル在來ノ胸掛形ニ裁斷シ其中央部適宜ノ個所ヨリハノ如ク縦ニ裁切シ左右②③ノ兩邊及縱斷部ヲ各別ニ縫着シ上部ニ紐ヲ施スヘク爲シタルモノニシテ其考案ハ從來ノ胸掛ヨリ胚胎シタルモノ而カモ其臀部ニ於ケル重ネ掛ニ由リテ臀部ヲ被覆スルノ利アリ而シテ請求人ノ甲第二號證ノ腹掛「バッチ」ハ其出願前公知ニ屬セルノ故ヲ以テ明治四十五年三月二十日實用新案登錄ノ拒絕査定ヲ受ケタルモノニシテ請求人ノミナラス何人ト雖モ之ヲ實施シ得ルモノナルコト明カナリ要スルニ本件特許甲第一號證ノ物品ト甲第二號證腹掛「バッチ」トハ其構造ヲ異ニシ彼此撞着セサルモノナリト云フニ在リテ其事實ヲ確カムル爲メニ甲第一號證乃至甲第七號證ヲ

提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造販賣スル甲第二號證腹掛「バッチ」ハ被請求人ノ所有スル舊韓國特許第一〇號腹掛「バッチ」ノ權利範圍ニ屬ス 審判費用ハ請求人ノ負擔トスト 審決相成度其理由ハ請求人ノ製造販賣セル甲第二號證腹掛「バッチ」ハ被請求人ノ特許明細書第二圖ニ示ス生地ニ於テ胸掛片ノ兩側ヲ斜メトシ③ナル符號ヲ付シタル部分ヲ其上方マテ裁チ放シテ甲第三號證ノ如キ生地ト爲シ之ヲ被請求人ノ特許腹掛「バッチ」ト同様ニ縫ヒ上ケタルモノニシテ此ノ如ク變更セルハ發明ノ精神ヲ變更セサル些少ノ變更ニ過キス從テ此差異ヲ以テ甲第二號證ノ腹掛「バッチ」カ本件特許ノ權利範圍ニ屬セスト爲スハ不當ナリ次ニ請求人ハ其製造販賣スル腹掛「バッチ」ハ公知公用ニシテ何人モ製造販賣ヲ妨ケサルモノナリト云フモ之レ被請求人ノ特許腹掛「バッチ」カ數年前ヨリ公知公用ニ屬スルヲ以テ請求人ノ出願カ登錄ヲ得サル所以ニシテ此事實ハ以テ兩者ノ腹掛「バッチ」カ同一ナルコトヲ立證シ得ヘキモ之ニ依リテ何人モ製造販賣シ得ヘシト爲スハ不當ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ノ所有スル舊韓國特許第一〇號ハ其請求範圍トシテ「上文所記ノ目的ヲ達スル爲メニ前文ニ詳記セル如ク圓筒ノ生地Aノ中部ヲ鍵ノ手ニ①②ニ截切セル一方ニ更ニ③ノ切裂ヲ加ヘ之ヲ縫合ハシテ兩足部Aト股明キ部④トシ臀部Aノ上椽⑩ニ伸縮力アルモノ⑦ヲ加ヘ胸當Aノ兩邊⑥襟部⑤襟紐⑨竝ニ匿囊B、筒先Cヲ任意トシテ成ル腹掛「バッチ」トアリテ同特許發明ハ圓筒狀莫大小生地ノ利用ヲ以テ考案ノ根本ト爲シ之ニ伴フ裁方ヲ施シテ縫合シタル「バッチ」ノ構造ヲ以テ其要部ト爲スモノニシテ殊ニ③ノ如キ裁切部ヲ採用セル結果臀部ヲ縫綴スル必要ナク且胸廻リノ太サヲ調節スヘキ爲メ「ゴム」紐ヲ使用スル必要ヲ生セサルモノナリ然ルニ請求人ノ製造販賣セル甲第二號證ニ圖示セル「バッチ」ハ平生地ヲ利用シタルモノニシテ圓筒狀生地ヲ用キタル本件特許ト其考案ノ根本ヲ異ニ

セルノミナラス其裁方ニ於テモ亦本件特許ト異ルモノナリ即右「バッチ」ハ長方形ノ莫大小平生地ヲ採リ其上部ハ弧狀ニ削リ下部ハ其中央ヲ縱ニ裁切シ且臀部ニ於テ重ネ掛部ヲ生スヘキ裁斷方即從來坊間ニ散見スル所ノ寢冷「シラズ」其他小兒用股引ニ於テ普通公知ノ裁方ヲ採リ之ヲ縫綴シタル股引ノ構造ニシテ本件特許ト異ナリ臀部ヲ縫合ハスヘキ必要アルノミナラス重ネ合ハセ部ヲ設ケ且本件特許ノ要部トスル胸廻リノ太サヲ調節スヘキ要件ヲ缺如シ而カモ本件特許ニ於ケル圓筒狀生地ニ換ユルニ平生地ヲ利用シタルモノナリ要スルニ甲第二號證ノ「バッチ」ハ本件特許トハ何等關係ナキ全然別種ノ考案ニ屬スルモノニシテ其構造中一モ本件第一〇號舊韓國特許ノ權利範圍ニ觸ルル所ナシ其他當事者間相争フ所アルモ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セス 仍テ本文ノ如ク審決ス

大正二年三月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 小野喜惣治
特許局事務官 村山小次郎

第二千四百三十五號

東京市淺草區榮久町十八番地
同 市京橋區木挽町四丁目九番地特許辨理士
同 市淺草區藏前片町七番地

請求人 深川勝太郎
右代理人 細川陽之介
被請求人 永峰清次郎

右當事者間ノ第一七三七〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 「セルロイド」薄版ヲ以テ製シタル内空物ヲ第二二〇九二號登録實用新案ノ圖面ニ示セル型金ニテ

挾持セシメ給熱シツ、該内空物内ニ空氣ヲ吹キ込ミテ膨脹セシメ以テ所好ノ形狀、模様ヲ附與スル「セルロイド」製内空物製作方法ハ第一七三七〇號特許ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ「セルロイド」薄板ヲ以テ豫メ製セラレタル密閉セル内空物ヲ請求人ノ

權利ニ屬スル登録實用新案第二二〇九二號「セルロイド」空虛形製造裝置ニ於ケル型金ニ挾持セシメ該

「セルロイド」ノ空虛形内ニ空氣ヲ吹キ込ミテ膨脹セシメ以テ空虛形「セルロイド」ヲ製作スル請求人實

施ノ方法ハ被請求人ノ有スル特許第一七三七〇號「セルロイド」形付法ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ

被請求人ノ負擔トスト 審決相成度其理由ハ本件第一七三七〇號特許ハ「セルロイド」ノ薄板内ニ「アン

モニヤ」水ヲ收容スヘク適宜ノ形狀ニシテ空氣ノ漏洩スルコトナキ内空物ヲ構成シ之ニ熱氣ヲ保有ス

ル適宜ノ押型ヲ以テ壓迫シテ所好ノ形狀又ハ模様ヲ附設セシムヘキ「セルロイド」形付法ナルコトハ其

發明ノ性質及特許請求範圍ニ明記スル所ナリ然ルニ請求人ハ自己ノ有スル登録實用新案第二二〇九二

號「セルロイド」空虛形製造裝置ニヨリ空虛形ノ「セルロイド」ヲ製造スルモノニシテ空氣以外「アンモ

ニヤ」水若クハ其同效用ヲナスヘキ資料ヲ毫モ收容スルニアラス從テ本件特許權利範圍ニ屬スルモノ

ニアラスト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト 審決相成度其理由ハ請求人

ハ空氣ヲ蓄有スル「セルロイド」ノ内空物ヲ加熱型ニテ壓迫形成セシムル所ノ「セルロイド」ノ形付法ハ

第一七三七〇號特許ノ權利範圍ニ屬セスト云フニ在ルモ右特許ハ「セルロイド」ノ薄板ヲ適宜屈曲シテ

其内ニ「アンモニヤ」水若クハ之ト同效用ヲナスヘキ資料ヲ收容スヘク適宜ノ形狀ニシテ空氣ノ漏洩ス

ルコトナキ内空物ヲ構成シ之レニ熱氣ヲ保有スル適宜ノ押型ヲ以テ壓迫シテ所好ノ形狀又ハ模様ヲ付

設セシムヘキ「セルロイド」ノ形付法ナルヲ以テ右請求人ノ方法ハ本件特許ノ權利範圍ニ屬スルハ明カ

ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件請求ハ第一七三七〇號特許權ト第二二〇九二號實用新案權トノ確認又ハ前者ト第二二

〇九二號登録實用新案「セルロイド」空虛形製造裝置ノ使用方法トシテ圖面ノ說明書中ニ記載スル方法

トノ確認ヲ求ムルモノニアラスシテ請求人カ實施スル方法ト右特許トニ付キ權利ノ確認ヲ求ムルモノ

ナリ而シテ請求人カ實施スル方法ハ大正元年十二月十四日及同二年一月九日附一定ノ申立訂正書等ニ

依レハ第二二〇九二號登録實用新案裝置ノ一部分タル型金ト該裝置ノ使用方法トシテ其圖面ノ說明書

中ニ記載セル方法ト異ナレル別手段トノ結合方法即豫メ「セルロイド」薄版ヲ以テ製シタル内空物ヲ第

二二〇九二號登録實用新案ノ圖面ニ示セル型金⑤⑤ニテ挾持セシメ型金ニ給熱シツ、内空物ノ内部ニ

空氣ヲ吹キ込ミテ膨脹セシメ以テ所好ノ形狀又ハ模様ヲ附設スル空虛形「セルロイド」製作方法ニシテ

單ニ熱型ト空氣ノ膨脹性トヲ利用スルモノナリ又第一七三七〇號特許ハ「アンモニヤ」水若クハ之レト

同效用ヲナスヘキ資料ヲ收容セル適宜形狀ノ「セルロイド」内空物ヲ構成シ之レヲ熱型ニテ壓シ所好ノ

形狀又ハ模様ヲ附設スル「セルロイド」内空物製作方法ナルコトハ其請求範圍ノ示ス所ナリ即右特許ハ

「アンモニヤ」水若クハ其他熱ノ爲ニ容易ニ氣化シ且膨脹スヘキ特殊ノ物質ヲ豫メ内空物内ニ收容スル

考案ヲ以テ其要部トナスモノニシテ其權利範圍モ亦此點ニ存ス然ルニ請求人實施ノ方法ハ右氣化物使

用ノ考案ヲ全然缺如セル別異ノ方法ナルノミナラス單ニ空氣ノ膨脹性ト熱型トヲ利用スル如キハ何等

六十九

新規ノ點ナク之レニ類似ノ考案例ヘハ右特許出願前帝國内ニ頒布セラル、英國特許明細書摘要中登載セラル、西曆一九〇二年同國特許第三三五六號ノ如キハ「セルロイド」製内空物ヲ型ニテ挾持シツ、其内部ニ蒸氣ヲ送リテ其膨脹性ヲ利用スル方法ニシテ已ニ公刊物ニ依リ公知ニ屬スル所ナリ故ニ請求人實施ノ方法ハ前説明ノ如ク第一七三七〇號特許トハ全然其考案ヲ異ニセルモノニシテ兩者相觸ル、所ナキノミナラス右特許權ノ範圍カ單ニ熱型ト空氣利用トノ結合方法ニ及ハサルモ亦明カナリ尙ホ其他双方ニ於テ争フ所アルモ本審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ加ヘス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
同 一 川 一
特許局事務官 三浦 惠 一

第二千三百九十六號

東京市淺草區瓦町二十八番地 請求人 八木 四郎
同 東京橋區木挽町四丁目九番地特許辨理士 右代理人 細川陽之介
同 市淺草區藏前片町七番地 被請求人 永峰清次郎
同 市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士 右代理人 稻木繁太郎

右當事者間ノ第一七三七〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人カ實施セル甲第一號證記載ノ「セルロイド」形附法ハ第一七三七〇號特許ノ權利範圍ニ屬セ
ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人カ實施セル甲第一號證「セルロイド」形付法ハ被請求人カ有スル
特許第一七三七〇號「セルロイド」形付法ノ特許權利ノ範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト
審決相成度其理由ハ請求人カ實施セル「セルロイド」形付法ハ甲第一號證ノ如ク豫メ空虛形ニ製シタル
「セルロイド」ヲ熱シタル金屬製ノ割型ニテ挾持セシメ密閉セラレタル空虛内ノ空氣ノ膨脹力ニヨリ
「セルロイド」ニ形付スル方法ナリ斯ノ如キ方法ハ内空形菓子又ハ護謨製品等ニ於テ廣ク公用セラレツ
ツアルハ世人ノ知悉スル所ナリ加之「セルロイド」形付法ニ於テモ明治四十年前後ヨリ當業者中斯ル方
法ヲ實施セルハ明確ナル事實ナリ然ルニ被請求人カ明治四十二年九月一日附出願ノ本件特許第一七三
七〇號「セルロイド」形付法ハ「アンモニヤ」水ノ使用ヲ以テ發明ノ主腦トナスハ發明ノ性質及特許請求
範圍ニ依リテ明白ナリ從テ請求人カ實施スル前記公知ノ方法ハ本件特許トハ異ナルモノニシテ第一七
三七〇號特許權ヲ侵害セルモノニアラスト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲナセ
リ
被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ實施セル甲第一號證記載ノ「セルロイド」形付法ハ被請求人ノ第一七三
七〇號改訂特許ノ範圍ニ屬スルモノトス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ
「セルロイド」製内空物ニ熱型ヲ以テ種々ノ形狀ヲ付設スルコトカ明治四十年前後ヨリ公知ニ屬スル所
ナリト主張スルモ右ハ莫然架空ニシテ舉證ノ見ルヘキモノ毫モ存在セサルヲ以テ請求人ノ陳述ハ信憑
スルニ足ラス又本件第一七三七〇號特許ハ其改訂ノ特許請求範圍ニ依レハ「セルロイド」ノ薄板ヲ適宜

屈曲シテ其内ニ「アンモニヤ」水若クハ之ト同效用ヲナスヘキ資料ヲ收容スヘク適宜ノ形状ニシテ空氣ノ漏洩スルコトナキ内空物ヲ構成シ之レニ熱氣ヲ保有スル適宜ノ押形ヲ以テ壓迫シテ所好ノ形状又ハ模様ヲ付設セシムヘキ「セルロイド」形付法ニシテ「セルロイド」ノ内空物ニ收容スヘキモノハ強チニ「アンモニヤ」ト局限セサルト同時ニ苟クモ「アンモニヤ」ト同效用即熱ニ依リテ膨脹セラレヘキ性質ノモノハ總テ之ヲ包含スヘキモノトス果シテ然ラハ甲第一號證ノ如キ「セルロイド」ノ内空物カ熱ノ爲メニ膨脹スヘキ性質ノモノヲ包含スル以上ハ其内容物ノ種類如何ニ拘ハラズ當然本件改訂特許權ノ範圍ニ屬スヘキモノナルコト明白ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 明治四十一年十二月三日出願同四十五年五月二十四日附改訂許可ノ本件第一七三七〇號特許ハ「セルロイド」ノ薄板ヲ屈曲シテ其内部ニ「アンモニヤ」水若クハ其同效物ヲ收容シタル密閉内空物ヲ構成シ之レヲ加熱型ニテ壓シ所好ノ形状又ハ模様ヲ附設スル「セルロイド」形附法ナルコトハ其請求範圍ニ明示スル所ナリ即本件特許ハ内空物内ノ空氣ノ膨脹力ニ依ラスシテ全ク之レト異ナル考案即「アンモニヤ」水若クハ其同效物ノ如キ熱ノ爲メニ容易ニ氣化シ且膨脹スヘキ性質ヲ有スル物質ヲ内空物内ニ收容スル考案ヲ以テ發明トナスモノニシテ其權利範圍モ亦此點ニ存ス故ニ被請求人ハ「セルロイド」製内空物ノ内部ニ熱ノ爲メニ膨脹スヘキ物質ヲ包含スルモノハ其内容物質ノ如何ニ拘ハラズ本件特許ノ權利範圍ニ屬スヘキモノナリト云フト雖トモ「セルロイド」製内空物ニ熱型ヲ利用シテ種々ノ形状ヲ附與スル方法ハ「セルロイド」製ノ球、同傘柄等ニ於テ從來普通ニ行ナル、所ニシテ此場合ニ於テ内空物内ニ存在セル空氣ノ膨脹スルハ當然ノ結果ニシテ斯ノ如キ從來公知ノ手段ヲ指シテ本件特許ノ權利範圍ナリト云フヲ得ス而シテ請求人カ實施セル甲第一號證「セルロイド」形附法ハ「セルロイド」ノ薄板ヲ以テ製シタル内空物ヲ熱セラレタル金屬製割型ニテ挾持シ該内空物内ニ於ケル空氣ノ膨

脹力ニ依リ種々ノ形ヲ内空物ニ附與スル方法即單ニ「セルロイド」内空物内ニ於ケル空氣ノ膨脹力ヲ利用スルモノニシテ前記普通公知ノ方法ニ外ナラス全然本件特許ノ要部タル「アンモニヤ」水若クハ其同效品ヲ利用スル考案ヲ缺如セルモノニシテ一モ本件特許ノ權利範圍ニ觸ル、所ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
同 一 川 一
特許局事務官 三浦 惠 一

第二千四百八號

北海道上川郡旭川町七條通六丁目右十號 請 求 人 黒田梅太郎
同 上川郡旭川町二條通四丁目左五號 被 請 求 人 赤坂利作
同 上川郡旭川町三條通八丁目右一號 同 速田仁市郎

右當事者間ノ第九五二〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人カ製造販賣スル甲第四號證ノ水田種蒔器ハ請求人ノ第九五二〇號特許水田種蒔器ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ被請求人カ製造販賣スル甲第四號證ノ水田種蒔器ハ請求人所有ノ第九

五二〇號特許ノ權利範圍ニ屬スト審決相成度其理由ハ被請求人カ實用新案登録出願中ニシテ目下製造販賣シツ、アル水田種蒔器ハ請求人所有ノ本件特許ノ權利範圍ニ屬スル長管(ハ)長管ヲ固定スル板(ト)、梓ツ及浮舟(リ)トニ於テ同一部分ヲ有シ明カニ請求人ノ本件特許ノ權利ト牴觸スト云フニ在リテ其實ヲ確カムル爲メニ甲第一號乃至甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人ハ本件審判請求書副本ノ送達ヲ受ケタルモ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由 請求人所有ノ本件第九五二〇號特許水田種蒔器ノ要部ハ箱(イ)ノ底部ニ粒種ヲ量ル圓形孔

(三)ト挿引板(ロ)ト均ラシ板(ホ)ト長管(ハ)ト浮舟(リ)ト板(ト)ト梓ツト固結板(ヘ)トノ結合ヨリ成ルモノナルコトハ其明細書中ノ特許請求範圍ニ徴シテ明白ニシテ請求人主張ノ長管(ハ)ト長管ヲ固定スル板(ト)ト梓ツト浮舟(リ)ハ單ニ其構成ノ一部ヲ爲スニ過キスシテ本件特許ノ要部ニアラス故ニ被請求人ノ製造販賣スル甲第四號證ノ水田種蒔器ニ於テ前記長管、板、梓及浮舟ト同一部分アルモ本件特許ノ要部ト撞着スルモノニアラス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月二十四日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 小野喜惣治
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千三百九十三號

北海道上川郡旭川町七條通六丁目右十號 請求人 黒田梅太郎
東京市神田區美土代町一丁目二十八番地特許辦理士 右代理人 中村秋三郎
北海道夕張郡角田村字杵臼番外地 被請求人 山本太三郎
東京市京橋區采女町二十七番地特許辦理士 右代理人 木戸 寛
同 市京橋區采女町二十七番地特許辦理士 同 市 川 寛

右當事者間ノ第九五二〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ販賣ニ係ル甲第一號證種蒔器ニ於ケル臺及ヒ圓錐筒ト稱スル管ハ特許第九五二〇號水田種蒔器ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ被請求人ノ所有ニ係ル登録實用新案第一六四三一號種蒔器トシテ販賣シツ、アル甲第一號證ノ如ク臺ヲ附シ且圓錐筒ト唱フル管ヲ長クシタルハ請求人所有ノ特許第九五二〇號水田種蒔器ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ總テ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件特許第九五二〇號水田種蒔器ハ八寸以上ノ距離ニ粒種ヲ播下スル爲ニ管ヲ長クシ其ノ先端ヲ一定距離ニ支持セシムル爲メニ梓ヲ設ケ其下部ニ二箇ノ浮舟ト稱スル臺ヲ取付ケテ以テ長管ノ先端ヲ埋設セサシメタル構造ナルコト其明細書ニ於テ明カナリ而シテ本件實用新案第一六四三一號種蒔器ハ其圖面及説明竝ニ特許局陳列所出陳ノ雛形ニ於テ明カナリ如ク圓錐筒ヲ種容器ノ下部ニ在ル定量孔及開閉栓ヨリ僅カニ出タセルモノナリ然ルニ被請求人ハ圓錐筒ナル管ヲ長クシ且臺ヲ用ヒテ實際ノ使用ニ適セ

現ニ被請求人等ノ販賣シツ、アルモノニ之ヲ有スルモノナキヲ以テ明カナリ及金屬線レト稱スル梓ヲ用キタル點ハ本件特許ノ要部ト同一目的ニ於テ同一若ハ均等ノ構造ニシテ此點ニ於テ實用新案種播器トシテ販賣シツ、アル甲第一號證ハ本件特許ノ權利範圍ニ屬スヘキモノナリト云フニ在リテ其實ヲ確カムル爲メニ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ申立ハ之ヲ棄却ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人所有ノ特許第九五二〇號水田籽種蒔器ノ說明竝ニ圖面ニ記載セラレタル管ハ從來此ノ如キ播種器及施肥料器其他之ニ類スル諸器具ニ於テ普通ニ見ル所ニシテ且臺ト稱スル浮舟ナルモノモ水田其他ノ水面ニ於テ取扱フ器具機械類ニ常ニ有スル所ナリ又梓ナルモノモ此ノ如キ脚ヲ數箇有スル器具機械ニ於テ常ニ有セシムルノ必要アリ從テ此等ノ全部ハ所謂公知公用ニ屬スルモノナリ然ルニ登錄實用新案第二一五四號種播器ニ於ケル把手及臺ハ其圖面ニ示ス如ク此等ノ兩者ヲ固着連結セシメ本器取扱上必要ナラシメタル特殊ノ構造ヲ有シ且寬ト稱スルモノモ其中間ニ溢滯シタル種ヲ浚ユル爲メニ溝ヲ有セシメタル特殊ノ構造ヨリ成ルモノニシテ此等ノ點ハ新規ノ考案トシテ該實用新案ノ請求範圍ヲ構成スルモノナリ從テ登錄實用新案第一九二二九號ヲ改良ヲ加ヘタル登錄實用新案第二一五四號ノ圖面竝ニ其說明ニ據レハ特許第九五二〇號ト撞着スルモノニアラスト云フニ在リ

審決ノ理由 請求人所有ノ本件特許第九五二〇號水田籽種蒔器ノ要部ハ箱^イノ底部ニ籽種ヲ量ル圓形孔^三ト挿引板^ロト均ラシ板^ホト長管^ハト浮舟^リト板^ト梓^ツト固結板^ヘトノ組合セヨリ成ルモノナルコトハ其明細書中ノ請求範圍ニ徴シテ明白ニシテ請求人主張ノ長管浮舟及梓ニ構成ノ一部ヲ爲スニ過キスシテ本件特許ノ要部ニアラス故ニ被請求人ノ販賣ニ係ル甲第一號證種蒔器ノ管、臺及梓カ本件特許ノ構成部分タル長管浮舟及梓ト同一ナルモ本件特許ノ要部ト撞着スルモノニアラス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月三十日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 小野 喜 惣 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千六百四號

| | | |
|-----------------------|---------|-----------|
| 大阪府西成郡豐崎町本庄九百六十四番地 | 請 求 人 | 北 井 菊 松 |
| 大阪市北區堂島濱通四丁目十六番地 | 同 | 信 木 富 造 |
| 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 | 右 代 理 人 | 淺 村 三 郎 |
| 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 | 同 | 平 岩 義 一 |
| 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 | 同 | 藤 江 政 太 郎 |
| 同 市北區富田町二十七番地 | 被 請 求 人 | 中 田 松 治 郎 |
| 同 市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士 | 右 代 理 人 | 廣 井 代 藏 |

右當事者間ノ第二〇二〇五號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ使用スル甲第一號證把手ハ被請求人ノ所有スル特許第二〇二〇五號中田式輕便把手ノ權利範圍ニ屬セス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

シ得ヘキモノニアラサルコトハ事理極メテ明白ナルノミナラス該圖面ニ示セル把手ハ挾縮版イノ下面ニ凸起セル柱ノ尖端ニ螺旋ヲ有スルニ依リテ見ルモ請求人ノ主張ハ不當ナルコト明ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件特許第二〇二〇五號中田式輕便把手ハ其明細書中發明ノ性質トシテ一組又ハ二組ノ把手ヲ装着スヘク爲シタル臺版ニ於テ杵杆ニ縱杆ヲ貫通シテ設ケ之ニ一箇又ハ二箇ノ挾縮版ヲ挿通セシメテ適宜ノ通路ヲ作ラシメ此處ヲ「メリヤス」地ノ通過スヘク爲シ且其通過ニ方リ締壓力ヲ平均ナラシムヘク杵杆ノ下邊ニ於テ把柄又ハ重錘ニ附スヘキ構造ヲ備ヘテ成ル把手ニ係リト記載シ又其特許請求範圍ニ於テ(一)上文所載ノ目的ニ於テ孔(ロ)ヲ作ラシメタル一箇又ハ二箇ノ挾縮版イニ縱杆ハ(ハ)ヲ挿通シ縱杆ハ(ハ)ノ先端ハ杵杆ノ上邊ヲ貫通セシメ杵杆ト挾縮版トノ間ニハ撥條(ホ)ヲ縱杆ニ嵌入シ又杵杆ニノ下邊ニハ固定シテ設ケタル把柄(ヘ)ヲ張杆トニ螺合スヘク設ケタル把手(二)上文所載ノ目的ニ於テ第一項ノ構造ヨリ撥條(ホ)ヲ削除シ直チニ杵杆(三)ノ上邊ヲ挾縮版ト接觸スヘク爲シ得ル把手(三)上文所載ノ目的ニ於テ第一項ノ構造ニ於テ張杆トヲ削除シ把柄(ヘ)ニ代フルニ螺旋又ハ拘杆等適宜ノ構造ヨリ成ルモノニ重量不同ノ重錘ヲ順次交換附設スヘク爲シタル把手(四)上文所載ノ目的ニ於テ第三項ノ構造ヨリ撥條(ホ)ヲ削除シ得ル把手(五)上文所載ノ目的ニ於テ一箇又ハ數箇ヲ設備スヘク爲シタル臺ヲ備フル前記第一、第二、第三、第四項ノ各構造ノ把手ト記載セリ故ニ本件特許ノ要點トスル所ハ杵杆ニヲ臺版ニ裝設シ又縱杆ハ(ハ)ヲシテ挾縮版ト杵杆トヲ貫通セシメ而シテ撥條(ホ)ヲ把柄(ヘ)及張杆トノ手段ニ依リテ挾縮版ヲ壓抑セシムルカ或ハ杵杆ニ重錘ヲ付シテ挾縮版ヲ壓抑セシムル構成ニ在ルモノト認メサル可カラス而シテ本件特許ニ於テハ杵杆(三)ヲ具有スルカ爲メニ前記ノ壓抑作用ヲ爲サシメ得ルモノニシテ發明施行上最モ重要ナル部分ナルコト明カナリ然ルニ甲第一號證把手ハ挾縮版イイニ縱杆ロ(ロ)ヲ貫通シ横杆ホト挾縮版イトノ中間ニ鋼鐵製平版ヲ彎曲セシメタル撥條ハヲ挿嵌シテ成ル構造ニシテ本件特

許ニ於テ最モ重要ナル部分ト爲ス所ノ杵杆ヲ有セサルヲ以テ挾縮版ノ壓抑作用ヲ異ニシ重錘ニ依リテ壓抑スルカ如キ便宜ヲ有セス即チ本件特許ノ要點ヲ缺如スルモノナリ而シテ「メリヤス」ヲ通スヘキ穴ヲ有スル挾縮版イイニ縱杆ロ(ロ)ヲ貫通シ撥條ニ依リテ挾縮版ヲ壓抑セシムル點ハ相類似スト雖モ此等ハ普通ノ構成ニ屬スル部分ニシテ其類似スルカ爲メニ甲第一號證把手カ本件特許ノ權利ニ屬スルノ理由アル可カラス故ニ請求人ノ使用スル甲第一號證把手ハ被請求人ノ所有スル特許第二〇二〇五號中田式輕便把手ニ於テ其要點トスル杵杆ヲ有セス從テ其壓抑作用ヲ異ニスルヲ以テ其權利範圍ニ屬スヘキモノニアラス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年五月三十一日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
 同 塚 本 信 治
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千六百五號

大阪市北區堂島濱通四丁目十六番地 請 求 人 信 木 富 造
 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右 代 理 人 淺 村 三 郎
 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平 岩 義 一
 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 藤 江 政 太 郎

大阪市北區富田町二十七番地
同 市東區瓦町一丁目五番地特許辦理士

被請求人 中田 松治 郎
右代理人 廣 井 代 藏

右當事者間ノ第一八〇三一號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ使用スル甲第一號證幅板ハ被請求人ノ所有スル特許第一八〇三一號第二中田式輕便幅板ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ使用セル甲第一號證幅板ハ被請求人ノ所有スル特許第一八〇三一號第二中田式輕便幅板ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ使用セル甲第一號證幅板ハ甲第一號證ノ一圖面及圖面ノ説明ニ示シタル如ク眞版イニ横杆(ロ)ヲ嵌着固定シ且眞版イノ一端ニハ梁木ハヲ固着ス添版ニハ「テンブル」軸トヲ挿入スヘキ穴ホヲ穿設シタルモノニシテ之ヲ眞版イノ兩面ニ緊着シ而シテ穴ホニ「テンブル」軸トヲ挿入セシメテ成ルモノニシテ「テンブル」軸トハ單ニ兩眞版イニ嵌着セラレタルノミニシテ自由ニ廻轉シ得ラレ兩眞版イノハ(ロ)及ハニ依リテ確實ニ形態ヲ保持セラルヘク爲シタル構造ナリ而シテ被請求人カ所有セル特許第一八〇三一號第二中田式輕便幅板ハ之ヲ甲第一號證幅板ノ構造ニ對比スルトキハ兩者ハ左ノ如キ大差アリ即チ(一)特許幅板ニ於テハ其幅ノ廣狹ヲ任意ニ定ムヘキ様梁木ニ數多ノ穴ホヲ穿チアリテ之ニ螺釘ヲ挿入シタルトキ其螺釘ヲ他ノ穴ホニ移スト同時ニ「テンブル」軸トヲ取換フレハ任意ニ幅板ノ幅ヲ廣狹ナラシムルコトヲ得ヘキ構造ナルニ反シ請求人ノ幅板ニ於テハ眞版イニ横杆(ロ)ヲ嵌着固着シ且眞版イノ上端ニハ梁木ハヲ固着セシメテ成ルモノナルカ故ニ幅板ノ幅ハ絶對ニ一定不動ニシテ之ヲ任意ニ廣狹ナラシムルコトヲ得サルヘキ様爲シタルノ差異アリ(二)特許幅板ニ於テハ故ラ

ニ外牆ハノ前方ヲ缺除シ「テンブル」イノ軸(ロ)ニ依リテ其ノ前端ヲ支ヘシメテ成ル構造ニシテ從來ノ幅板ニ對シテ外牆ノ前方ヲ缺除シタル點ニ於テ新規ナルモノナリ然ルニ請求人ノ幅板ハ眞版イノ一端ヲ特ニ缺除セスシテ之レ梁木ハヲ固着セシメテ構造シタル差異アリ(三)特許幅板ニ於ケル「テンブル」イノ軸(ロ)ハ「テンブル」ノ軸押ヘトニ依リテ取替ケタルモノナルカ故ニ幅板ノ幅ヲシテ廣狹ナラシムルニハ「テンブル」ノ軸(ロ)ヲ取換ヘ且「テンブル」ノ軸押ヘトヲモ移動セシメサル可カラサル構造ナルニ反シ請求人ノ幅板ニ於ケル「テンブル」(ハ)ハ只其軸トヲ穴ホ内ニ挿入セシメタルニ過キササルヲ以テ「テンブル」(ハ)ヲ移動セシムルニハ其軸トヲ他ノ穴ホ内ニ轉入セシムレハ足レリ且軸トヲ穴ホ内ニ轉入セシムルモ爲メニ幅板ノ幅ハ依然タルモノニシテ幅ノ廣カリ又ハ狹マルコトナキノ差異アリ故ニ兩者ハ其構造ヲ互ニ異ニセルモノナルコト明白ナリト云フニ在リ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ使用セル甲第一號證幅板ハ被請求人ノ特許第一八〇三一號第二中田式輕便幅板ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有スル本件特許ハ其明細書ニ記載セラルル如ク外牆ハヲ梁木ニ依リテ連結シ其上部ニ二箇ノ「テンブル」イノ軸(ロ)ヲ互ニ相反スル如ク軸押ヘトニ設ケタル境釘ヲ適宜ノ間ニ嵌入シテ成レルモノニシテ「テンブル」(ハ)外牆ハノ前端ヲ支フルト共ニ自由ニ廻轉シテ完全ニ莫大小ノ幅ヲ定メ且目立ヲ施スヘク爲シタルモノナリ然ルニ請求人ノ使用セル幅板ハ眞版イニ横杆(ロ)竝ニ梁木ハヲ固着シ且眞版イニハ添版ニニテ固着シ該添版ニハ「テンブル」(ハ)ノ軸トヲ挿入スヘキ孔ホヲ設ケテ成ルモノニシテ其構造聊カ前者ト相違セルカ如キモ彼ノ眞版イニ添版ニニテ固着シタルカ如キハ單ニ其構造ヲ複雑ナラシメタルニ止マリ之カ爲メニ特殊ノ效用及效果ヲ奏スルモノニ非ラサルヲ以テ如斯ハ畢竟前者ノ外牆ハト何等ノ擇フ所ナキナリ而シテ前者ハ梁木ニ依リテ外牆ハヲ支フルト共ニ「テンブル」軸(ロ)モ聊外牆ヲ支

フルノ效果アレトモ彼ノ「テンブル」軸「ハ」外牆「ハ」支フルヨリハ寧ロ莫大小ノ目立ヲ爲ス爲メニ「テンブル」イト共ニ自由ニ回轉スヘク境釘「チ」ヲ有スル軸押「ヘ」トニ依リテ任意ノ位置ニ取付クルモノニシテ後者ニ於テ「テンブル」軸「ト」ヲ孔「ホ」ニ挿入スルト雖モ兩者ハ其目的效用及效果ノ何レヨリ之ヲ見ルモ全然同一思考ニ出テタル類似ノ構造ナルコト明カナリ殊ニ請求人ハ前者ニ於テハ外牆「ハ」ヲ梁木「ニ」依リテ廣狹任意ナラシムレトモ後者ハ之ヲ有セスシテ幅板ノ幅ハ絶對不變ナリト云フモ如斯ハ單純ナル一部構造ノ省略ニ止マルモノナルヲ以テ此相違ハ本件特許權ハ何等ノ影響ヲ及ホスモノニ非ラサルナリ然リ而シテ請求人ハ特許幅板ニ於テハ故「ラ」ニ外牆「ハ」ノ前方ヲ缺除スレトモ第一號證幅板ニハ梁木「ハ」ヲ固着セルニ依リ兩者ハ構造上相違セルモノナリト云フモ彼ノ梁木ハ被請求人ニ於テ殊更ラ缺除スヘク爲シタルモノナルヲ以テ請求人カ該幅板ニ於テ事實上效果ノアラサル梁木「ハ」ヲ固着シタレハトテ爲メニ本件特許ノ權利外ナリト言フコト能ハサルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件特許第一八〇三一號第二中田式輕便幅板ハ其明細書中發明ノ性質トシテ幅板ノ前方ヲ缺除シ兩外牆ヲ支フルニ「テンブル」ノ軸ヲ以テセル構成ヨリ成ル幅板ニ係リト記載シ又其特許請求範圍ニ於テ前文記載ノ目的ヲ達スルカ爲メ本文ニ詳記シ且圖面ニ示ス如ク外牆「ハ」ヲ兩側ニ設ケ前方ヲ缺除シ「テンブル」イノ軸「ニ」依リテ前端ヲ支ヘタル構成ヨリ成ル第二中田式輕便幅板ト記載セリ由是觀之本件特許ノ權利ノ存在スル所ハ外牆「ハ」ヲ兩側ニ設ケ幅板ノ前方ヲ缺除シ「テンブル」イノ軸「ニ」依リテ前端ヲ支ヘタル構造ニ在ルハ明瞭ナリ而シテ甲第一號證幅板ハ其圖面ニ示スカ如ク眞版「イ」ニ横杆「ロ」ヲ嵌着固定シ且眞版「イ」ノ一端ニハ梁木「ハ」ヲ固着シ添版「ニ」ニハ「テンブル」軸「ト」ヲ挿入スヘキ穴「ホ」ヲ穿設シタルモノニシテ之ヲ眞版「イ」ノ兩面ニ緊着シ而シテ穴「ホ」ニ「テンブル」ヘ「ラ」挿入セシメ兩眞版「イ」ハ「ロ」及「ハ」ニ依リテ確實ニ形態ヲ保持セラルヘク爲シタル構造ヨリ成ルモノナリ即チ眞版「イ」添版

ニヨリ成ル兩外牆ヲ梁木「ハ」横杆「ロ」ニ依リテ強固ニ聯着シ而シテ其兩外牆ノ間ニ「テンブル」ヲ嵌着シタルモノニシテ本件特許ニ於テ要部トスル所ノ外牆「ハ」ヲ兩側ニ設ケ前方ヲ缺除シ「テンブル」イノ軸「ロ」ニ依リテ前端ヲ支ヘタル構造ヲ具有セサルモノナリ故ニ請求人ノ使用スル甲第一號證幅板ハ被請求人ノ所有スル特許第一八〇三一號第二中田式輕便幅板ニ於テ保護セラルル要部ノ構造ヲ具有セス從テ其特許權利範圍ニ屬スヘキモノニアラサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年六月三日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
同 塚 本 信 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千六百七號

大阪市西區西九條下ノ町百四十八番地 請 求 人 對 馬 卓
同 市西區松島町一丁目百四十番邸特許辦理士 右 代 理 人 丸 山 庸 二
同 市北區西野田龜甲南ノ町百二十四番地 被 請 求 人 山 崎 照 親
同 市西區松島町二丁目七番地 同 松 永 安 左 衛 門
同 市東區淡路町一丁目二十四番地特許辦理士 右 代 理 人 佐 々 木 高 吉
右當事者間ノ第二〇四三七號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ使用スル甲第二號證圖面及其說明書ニ示セル構造ノ團炭製造機ハ被請求人所有ノ特許第

二〇四三七號團炭製造機ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ使用スル甲第二號證圖面及其說明書ニ示セル構造ノ團炭製造

機ハ被請求人所有ノ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ權利ト撞着セサルモノトス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ特許第二〇四三七號團炭製造機ハ明治四十年四月九日出願シ同年七月三十一日特許サレタルモノニシテ其特許ノ要點トスル所ハ底型18カ筒型15ノ下ニ來リタルトキニ於テ粉炭ヲ筒型15内ニ填充シ壓杆座8ハ下降シ其套筒10ハ筒型15内ニ進入スルニ從ヒ粉炭ハ漸次壓縮サレ適度マテ壓縮サレタルトキ壓杆座8ハ下降スルモ套筒10ハ彈線9ヲ押し縮メ静止シ壓杆座8ノミ下降シ其下面ニ設ケタル壓穿杆12ハ孔11ヨリ出テ套筒10ニヨリ押壓サル所ノ團炭ニ穿孔シ以テ穿孔中其破碎スルヲ防キ而シテ底型18ハ移動シ壓縮サレタル彈線9ハ反撥シ筒型内ヨリ穿孔團炭ヲ押し抜クヘク爲シタル構造ニシテ壓穿杆12ヲ有スル壓杆座8ト彈線9ト套筒10ト筒型15ト底型18トニ依リ各部相須チ完全ナル穴拔團炭ヲ製造スルモノニシテ各部結合シタルモノ即チ附屬圖面第三圖全體ノモノニアリテ各部分ノ異リタル構造ノモノニ其權利ノ及フヘキモノニアラサルコト勿論ナリ而シテ請求人ノ使用スル甲第一號證ニ示ス團炭製造機ハ其主要部ハ甲第二號證圖面及其說明書ニ示ス如キ構造ニシテ本機ニ依リ穴拔團炭ヲ製造スルニハ先ツ穴5ニ粉炭ヲ填充シ主軸1ヲ廻轉スレハ軸1ヲ連動シ座6及板3ハ漸次下降シ廻轉盤4ノ穴4内ニ充タサレタル粉炭ヲ静止板2ノ穴2上ニ於テ押壓シツツ穿孔シ以テ穴拔團炭ト爲シ而シテ板ルハ篇心齒輪カノ廻轉ニ依リ早く上昇シ穿孔シタル團炭ヨリ穿孔杆3ヲ抜き全ク抜ケ離レタルトキ押壓板3ハ上昇シ同時ニ廻轉盤4ハ右轉シ次キノ運轉ニ

於テ前記ト同様ニ穴拔團炭ヲ製造シ同時ニ前回ニ製造サレタル製品ハ穴5内ヨリ押板板6ニ依リ押抜カレ全ク製造シ終ルモノトス之ヲ第二〇四三號特許ト比較スルニ只其作用ニ於テ兩者少シク類似スル所アル如シト雖モ其機構タルヤ全然相違シ何等本件特許ノ精神ヲ侵害スルコトナキ別箇ノ考案ナリ殊ニ甲第二號證ハ特許第一〇〇八四號ノ機構ニ多少改良ヲ加ヘ且或ル機構ヲ組合セテ成立シタルモノニシテ其考案タルヤ最モ普通ニ屬シ寧ロ穴拔團炭ヲ製造スルニハ當然爲スヘキ機構ナリト云フテ然ルヘキモノナリ仍テ甲第二號證ノ團炭製造機ハ本件特許ノ權利範圍ニ屬セサルモノナリト云フニ在リテ甲

第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ使用スル甲第一號證寫眞及甲第二號證圖面並說明書ノ團炭製造機ハ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ發明トスル所ハ團炭ヲ壓形スルト同時ニ其團炭ニ孔ヲ穿チ其孔ヲ穿ツモ團炭ノ壞損スルコトナカラシムル爲メニ壓穿杆ニ套筒ヲ嵌メ具ヘタルト筒型ト壓穿杆ノ挿入スル孔ヲ穿テル底型トヲ具ヘタル團炭製造機ナルハ發明ノ性質及目的ノ要領ノ項ニ記載スル所ニ依リテ明カナリ而シテ其團炭ニ孔ヲ穿ツモ之ヲ壞損スルコトナキハ筒型ニ團炭材料ヲ入レ之ヲ壓穿杆ニ嵌メアル套筒ニテ壓シ而シテ壓穿杆ヲ其中ニ挿入シテ孔ヲ穿チ其團炭ノ上端ヲ套筒ニテ壓ヘ支ヘツツアル間ニ壓穿杆ヲ團炭ヨリ抜き去ルニ依ルモノニシテ套筒ハ要スルニ始メ團炭材料ヲ壓スルト終リニ之カ上端ヲ支ユルトノ作用ヲ爲ス壓支型ニ外ナラサルナリ此壓支型カ團炭ヲ筒型ノ下方ニ押出スノ作用ヲ爲ササルモ可ナルコトハ其明細書ノ詳細ナル說明ノ項ノ終ニ於テ筒型ヲ廻轉盤式ニ爲シ孔カ順次ニ廻轉スヘク爲スコトヲ得ルノ說明アルニ依テモ明カナリ故ニ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ發明トスル所ハ底ニ孔ヲ穿テル底型ヲ有スル筒型ニ壓支型ヲ嵌メ具フル壓穿杆ヲ組合セタルモノニシテ其壓支型ヲ

シテ筒型中ニ在ル團炭材料ヲ壓サシメ而テ團炭中ニ挿入セル壓穿杆ヲ抜クニ際シ團炭ノ上面ヲ支ヘシメテ團炭ヲ壞損セス製造スルコトヲ得ルヲ主要點トスルコトハ其發明ノ性質及目的トシテ記載スル所ニ依リテ明カナリ仍テ其請求範圍ニ於テ記載スル所カ壓支型ノ前記ノ作用ヲ彈線ニテ爲サシムルモノト記載シアリトテ此請求範圍ノ記載スル所ノミヲ以テ發明トスル點ナリト爲スヘカラス而シテ請求人ノ使用スル甲第一號證寫眞及甲第二號證圖面竝説明書ニ示ス團炭製造機ニ在リテハ上下スル板即チ壓杆座ニ穿孔杆又即チ壓穿杆ヲ固着シ其壓穿杆ニ押壓板ヲ即チ壓支型ヲ嵌メ具ヘ之ニ依テ穴ヲ穿テル靜止版ツヲ底トスル回轉盤ノ孔ヲ即チ壓穿杆ノ挿入スル孔ヲ穿テル底型ヲ底トスル筒型ト中ニ在ル團炭材料ヲ壓シ而シテ穿孔杆又ニテ孔ヲ團炭ニ穿テ穿孔杆又ヲ團炭ヨリ抜クニ方リ團炭ノ上面ヲ押壓板即チ壓支型ニテ支ヘ以テ團炭ニ孔ヲ穿ツモ壞損スルコトナカラシムルモノニシテ壓穿杆ニ壓支型ヲ嵌メ具ヘタルト筒型ト壓穿杆ノ挿入スル孔ヲ有ス底型トノ組合セハ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ發明トスル點ト全ク同一ニシテ其目的トスル作用結果ヲ生スルコトモ同一ナリ而シテ壓支型ノ形状ヲ一ハ筒狀トシ他ハ平板トシ其壓支型ヲ作用セシムルニハ一ハ彈機ニテ押シ又ハ支ヘシメ他ハ「クラシク」ニテ押シ而シテ壓穿杆ヲ抜クトキ支ヘシムルモ發明トスル點ニ變更ヲ生セス單ニ發明ニ關セサル點ニ變更ニ過キス要スルニ請求人ノ使用スル團炭製造機ハ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ發明トスル點ニ撞着スルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由

本件特許第二〇四三七號團炭製造機ハ其明細書中發明ノ性質トシテ此發明ハ套筒ヲ被嵌セル壓穿杆ト筒型ト壓穿杆ノ挿入スル孔ヲ穿テアル底型トヲ具ヘテ成ル團炭製造機ニ係リト記載シ又圖面ノ略解中第三圖ハ其要部ノ立面圖ト記載シ又發明ノ詳細ナル説明中要部ノ説明ニ關シ滑「ブロック」ニハ壓杆座(8)ヲ固着シ之ニ彈線(9)ヲ捲付シ套筒(10)ヲ嵌メ其底面ニ穿テル孔(11)ニ壓杆座(8)ニ固着シ

アル壓穿杆(12)ヲ挿入シ壓穿杆(12)ノ下端ハ套筒(10)ノ底面ト同一面ニ至リタルトキハ套筒(10)ハ鏝(13)ニ螺釘(14)カ支ヘラレ最早脫出スル能ハサラシメ而シテ偏心版(5)ノ回轉ニ依リテ上記ノ套筒(10)ヲ嵌設セル壓穿杆(12)ハ降下シテ筒型(15)ノ中ニ在ル團炭材料ヲ套筒(10)ノ底面ニテ押壓シテ固メ既ニ所期ノ堅サニ至レハ彈線(9)カ縮ミ套筒(10)ノ底面ヨリ壓穿杆(12)カ露出降下シテ固マレル團炭ニ挿入サレ縦孔ヲ押穿ス但シ筒型(15)ノ底ニハ一側ニテ鉸着サレタル底型(18)カ接シアリテ此底型(18)ニハ壓穿杆(12)ニ一致スル所ニ孔(20)カ穿タレアリテ團炭ニ縦孔ヲ押シ抜クニ支障ナク既ニ縦孔ヲ團炭ニ押抜キタルトキハ此底型(18)ハ下方ニ向ケ開キ而シテ套筒(10)ハ彈線(9)ノ伸張力ニ依リテ壓穿杆(12)ニ沿フテ下リ團炭ヲ筒型(15)ヨリ押シ抜キテ下方ノ無端帶(31)ノ上ニ落シ順次送致スルモノトス云々筒型(15)ハ圖面ニハ版ニ筒狀ノモノヲ取付ケタルモノヲ示セトモ回轉版ニ孔ヲ穿テ直チニ此筒型ヲラシメ回轉版ヲ回ハシ筒型タル孔カ順次ニ廻ハリ致サルヘク爲スヲ得ルコト勿論底型(20)カ筒型(15)ノ下面ニ接シ或ハ外ツル、ノ機構ハ所要ニ應シ變更シ得ヘシ本機ハ上述スルカ如ク團炭ヲ壓シ固ムルヤ直チニ夫ニ孔ヲ穿テ次ニ套筒ノ降下ニテ團炭ヲ下方ニ抜キ出サシムルニ在リテ云々ト記載シ又特許請求範圍ニ於テ本文記載ノ目的ニ於テ壓杆座(8)ノ下端ニ壓穿杆(12)ヲ固着シテ具ヘ而シテ壓杆座(8)ニ彈線(9)ヲ捲付シ壓穿杆(12)ノ挿入サル、孔(11)ヲ底面ニ穿テ套筒(10)ヲ被ヒ彈線(9)ノ伸縮ニ依リテ押挿サルヘク爲シタルモノト筒型(15)ト孔(20)ヲ穿テタル底型(18)トヲ具フル團炭製造機ト記載セリ此等ノ記載ニ徴スルニ本件特許ニ於テ其發明ノ要點トスル所ハ套筒ヲ被嵌セル壓穿杆ト筒型ト壓穿杆ノ挿入セラル、孔ヲ穿テアル底型トヲ具ヘテ團炭ヲ壓シ固ムルヤ直チニ夫ニ孔ヲ穿テ次ニ套筒ノ降下ニ依リテ團炭ヲ下方ニ抜キ出サシムルノ作用ヲ爲サシムルモノニシテ其構造ハ附屬圖面第二圖ニ示ス如ク滑「ブロック」(3)ニ壓杆座(8)ヲ固着シ之ニ彈線(9)ヲ捲付シ套筒(10)ヲ嵌メ其底面ニ穿テル孔(11)ニ壓杆座(8)ニ固着シアル壓穿杆(12)ヲ挿入

セシメ鏝13及螺釘14ニ依リテ壓穿杆12ノ套筒10ヨリ脱出スルヲ防キタルノ構成ニシテ其作用ハ筒型15内或ハ回轉版ニ穿チタル孔内ニ容レタル團炭材料ヲ套筒ヲ被嵌シタル壓穿杆12ノ降下ニ依リテ先ツ套筒ノ底面ニテ押壓シテ固メ所期ノ固サニ至レハ彈線9カ縮ミ套筒10ノ底面ヨリ壓穿杆12カ露出降下シテ既ニ固マレル團炭ニ挿入サレ縦孔ヲ押穿セシメ既ニ縦孔ヲ團炭ニ押シ抜キタルトキハ孔20ヲ有スル底型18ハ下方ニ向キテ開キ而シテ套筒10ハ彈線9ノ伸張力ニ依リテ壓穿杆12ニ沿フテ下リ團炭ヲ筒型15或ハ回轉版ニ穿チタル孔ヨリ押シ抜キテ下方ニ落下セシムルモノナリ故ニ本件特許ニ於テハ此效用ヲ奏セシムルカ爲メニハ彈線9ニ依リテ常ニ下方ニ壓下セラル套筒10ハ最も重要ナル部分ナリ然ルニ請求人ノ使用スル甲第二號證圖面及其說明ニ示ス團炭製造機ハ主軸1ノ廻轉ニ依リ上下動ヲ爲ス摺動子2ノ下方ニ座ホヲ取付ケ座ホニハ押拔板11ヲ有スル杆12及押壓板13ヲ有スル杆14ヲ取付ケ而テ押壓板13ニハ穴ヲ穿チ之ニ穿孔杆15ヲ貫通セシメ又穿孔杆15板16ニ固植シ板16ハ偏心齒輪ニ依リテ主軸1ヨリ聯動セラル、軸1ノ廻轉ニ依リテ上下動ヲ爲サシムヘク構成シタルモノニシテ其團炭製造ノ作用ハ廻轉盤ノ穴17ニ粉炭ヲ填充シ主軸1ノ廻轉ニ依リテ座ホ及押壓板13ハ漸次下降シ穴17内ノ粉炭ヲ靜止板17ノ穴17上ニ於テ押壓シ穿孔杆15ノ下降ニ依リテ穿孔シ而シテ板16ハ偏心齒輪ノ聯動ニ依リ早く上昇シ穿孔シタル團炭ヨリ穿孔杆15ヲ抜キ全ク拔ケ離レタル時押壓板13ハ上昇シ同時ニ廻轉盤18ハ右轉シ次ノ運轉ニ於テ前記ト同様ニ團炭材料ヲ壓迫シ同時ニ前回ニ壓迫セラレタル團炭ヲ押拔板11ニ依リテ穴17内ヨリ押拔カシムルモノナリ依テ之ヲ本件特許團炭製造機ニ對比スルニ筒型或ハ廻轉盤ニ穿チタル孔内ニ團炭材料ヲ容レ之ヲ壓迫シ且有孔底型ニ對シテ穿孔杆ヲ壓入シテ穴拔團炭ヲ製スルコトハ相類似スルト雖モ此等ノ諸點ハ此種ノ機械ニ於テ既ニ普通ニ知ラレタル事項ニシテ其類似ノ爲メニ甲第二號證ニ示ス團炭製造機カ特許第二〇四三七號ノ權利範圍ニ屬スルノ理由アルヘカラ

ス又兩者ノ構造ヲ比較スルニ甲第二號證ニ示ス團炭製造機ハ本件特許ニ於テ其特徵アル作用ヲ呈セシムルニ重要ナル部分即チ彈線9ニ依リテ常ニ下方ニ壓下セラル、套筒10ヲ有セス且各部ノ機構ヲ異ニシ又穿孔杆ヲ抽出スルノ點ニ於テモ特許第二〇四三七號ニ於テハ彈線ニ依リテ壓下セラル、套筒ノ押壓ニ依ルニ反シ甲第二號證ニ示ス團炭製造機ニ於テハ團炭カ押壓板ニ依リテ壓抑セラル、間ニ穿孔杆ヲ上昇抽出セシムルモノニシテ各其作用ヲ異ニスルノミナラス其團炭製造上ノ働作ヲ異ニシ毫モ類似ノ點ナク兩者相互ニ獨立シタルモノナリ故ニ請求人ノ使用スル甲第二號證圖面及其說明書ニ示ス構造ノ團炭製造機ハ被請求人所有ノ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ權利範圍ニ屬セサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年六月十一日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
 同 塚本信治
 特許局事務官 奥山萬次郎

第二千六百三號

大阪府西成郡豐崎町本庄九百六十四番地 請求人 北井菊松
 同 府西成郡豐崎町北長柄四百三十四番地 同 細川福松
 大阪市北區堂島濱通四丁目十六番地 同 信木富造
 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 淺村三郎

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士

右代理人 平 岩 義 一

同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士

同 藤 江 政 太 郎

同 市北區富田町二十七番地

被 請 求 人 中 田 松 治 郎

同 市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士

右 代 理 人 廣 井 代 藏

右當事者間ノ第一六四三〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ甲第一號證把手ノ構造中下部ノ挾縮版イト上部ノ挾縮版イトノ挾持作用ハ特許第一六四三〇號ノ權利範圍ニ屬ス

三〇號ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ甲第一號證把手ハ被請求人ノ所有セル特許第一六四三〇號中

田式輕便把手ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ甲第

一號證把手ハ甲第一號證ノ一圖面ニ示シタル如ク從來ヨリ使用セラレタル挾縮版イイニ縱杆ロヲ貫

通シ挾縮版イイト横杆ホトノ中間ニ軸ハハヲ設ケ其軸ハハニ撥條ハハヲ挿嵌シ而シテ挾縮版イイニハ

莫大小ノ通スヘキ穴ニニヲ形成セシメテ成ル構造ナリ而シテ被請求人ノ所有セル特許第一六四三〇號

中田式輕便把手ハ之ヲ甲第一號證把手ニ對比スルトキハ左ノ如キ構造上ノ差異アリ(一)特許把手ニ於ケ

ル横杆イニハ其下部ニ莫大小ヲ通セシムヘキ穴ヲ穿設シアラス却テ横杆イノ下部ニハ横杆イヨリモ稍

凸出セシメアリ反之請求人ノ把手ニ於ケル挾縮版イノ下部ニハ莫大小ヲ通セシムヘキ穴ニヲ穿設シア

ルノ差異アリ(二)特許把手ニ於ケル撥條ハハニ設ケアルニ反シ請求人ノ把手ニ於ケル撥條ハハ軸

ハニ設ケアルノ差異アリ(三)特許把手ニ於ケル撥條ハハノ使用方ト請求人ノ把手ニ於ケル撥條ハハノ使用方

トハ相異レリ即チ前者ハ版トニ螺子ヲ有スル軸ヘヲ連接シアリテ其版トノ上下ニ依リテ撥條ハハノ彈力

ヲ適當ニ加減セシムヘク爲シアルニ反シ後者ハ斯カル版トヲ使用セス只軸ハハヲ上下スルコトニ由リ

テ撥條ハハノ彈力ヲ適當ニ加減セシムヘク爲シタルノ差異アリ故ニ請求人ノ把手ハ本件特許把手トハ

互ニ其構造ヲ異ニシ從テ請求人ノ把手ハ被請求人ノ本件特許權利ノ範圍外ニ立テルモノナリト云フニ

在リ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ甲第一號證把手ハ被請求人ノ特許第一六四三〇號ノ權利範圍ニ屬ス審

判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有セル本件特許權利ノ主體ハ其特許請求

範圍ニ記載セラレタル如ク「メリヤス」ノ通過スヘキ弧狀ノ削取部ホヲ有スル臺ニニ縱杆ロヲ樹テ該縱

杆ロニ横杆イ、撥條ハハ及螺軸ヘト連接セル版トヲ嵌合シ而シテ螺軸ヘハ縱杆ロニ螺着シタル粹杆ノ螺

孔ニ螺入シ把柄ヲノ回轉ニ依リテ横杆イヲ適宜ニ押壓スヘク爲シタルモノニシテ場合ニ依リテハ撥條

ハヲ除キ又ハ臺上ニ一箇若ハ數箇ノ把手ヲ裝置シ得ヘキ構造ニ在ルコト明カナリ然ルニ甲第一號證把

手ハ弧狀ノ削取部ニヲ有スル臺版イ上ニ縱杆ロヲ樹立シ之ニ臺版イト同様ノ削取部ニヲ有スル押壓

版イヲ該削取部ニヲ下方ト爲シテ臺版ノ削取部ニト互ニ仰合スヘク縱杆ロニ嵌合セシメ而シテ押壓

版ノ背部ヲ押壓スヘク撥條ハハヲ有スル螺軸ハハヲ縱杆ロノ上部ニ取付ケタル横杆ニ螺入シ該螺軸ハハノ

先端ニ把柄ヲ設ケ他端ヲ以テ押壓板ノ背部ヲ壓スヘク爲シタルモノニシテ該把柄ノ回轉ニ依リテ押壓

版イヲ適宜ニ押壓シテ挾縮スヘク爲シタルモノナリ是等兩者ハ何レモ弧狀ノ削取部ヲ有スル臺版ヲ設

ケ之ニ縱杆ヲ樹立シ該縱杆ニハ押壓版ヲ嵌メ込ミ加フルニ押壓版ヲ撥條ノ作用ニ依リ把柄ノ廻轉ニ從

ヒ適宜ニ押壓挾縮セシムヘク爲シタルモノナルカ故ニ其構造兩者殆ント均等ナルモノニシテ從テ甲第

一號證把手ハ明カナ本件特許ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト信ス然リ而シテ請求人ハ本件特許ト甲第

一號證トノ構造上ノ差異ニ付キ縷々説述スル所アルモ如斯ハ畢竟單純ナル設計上ノ變更ニ止マルモノ

ニシテ是等兩者ハ其目的其精神ノ何レヨリ見ルモ兩者別構造ナリト云フ能ハサルヲ以テ請求人ノ本主張ハ全然不當ナリ故ニ甲第一號證把手ハ本件特許ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件特許第一六四三〇號中田式輕便把手ハ其明細書ノ記載ニ徵スル横杆イ、縦杆ロ、撥條ハ、臺ニ、螺子ヲ有スル軸ヘ等ヨリ成リ臺ニハ「メリヤス」ヲ通過スヘキ部分ホヲ設ケ臺ニト横杆イトノ間ニ於テ「メリヤス」ヲ挾持セシムヘク爲シタルモノニシテ其特許請求範圍第一項ニ於テ臺自體モ横杆イト同效アル構造ノ中田式輕便把手ト記載シ臺自體ヲシテ横杆ト同シク挾持ノ作用ヲ爲サシメタルハ其特許ノ權利トシテ保護セラルル所ナリ然ルニ請求人ノ甲第一號證把手ハ「メリヤス」ヲ通過セシムヘキ穴ニヲ有スル下部ノ挾縮版イニ縦杆ロヲ樹立シ横杆ホ、軸ハ、撥條ハ等ニ依リ上部ノ挾縮版ヲ下部ノ挾縮版ニ對シテ壓抑セシムル構造ヨリ成ルモノニシテ此構造中下部ノ挾縮版ホハ特許第一六四三〇號ニ於ケル臺ニ均等ナル效用ヲ爲シ又上部ノ挾縮版イトノ挾持作用ハ特許第一六四三〇號ニ於ケル横杆イトト其效用ヲ同フスルモノナリ故ニ此點ニ於テ甲第一號證把手ハ特許第一六四三〇號ノ權利範圍ニ屬スルモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年六月二十八日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 三浦惠一
馬場 穎一

第二千六百六號

| | | |
|-----------------------|------|-------|
| 大阪市南區難波櫻川町一丁目千七十六番地 | 請求人 | 神田政吉 |
| 同 市北區堂島濱通四丁目十六番地 | 同 | 信木富造 |
| 大阪府西成郡豐崎町北長柄四百三十四番地 | 同 | 細川福松 |
| 同 府西成郡豐崎町本庄六百十九番地 | 同 | 北村宇平 |
| 同 府西成郡豐崎町大字南濱五十番地 | 同 | 中澤徳兵衛 |
| 同 府西成郡豐崎町本庄九百六十四番地 | 同 | 北井菊松 |
| 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士 | 右代理人 | 淺村三郎 |
| 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士 | 同 | 平岩義一 |
| 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士 | 同 | 藤江政太郎 |
| 同 市北區富田町二十七番地 | 被請求人 | 中田松治郎 |
| 同 市東區五町一丁目五番地特許辦理士 | 右代理人 | 廣井代藏 |

右當事者間ノ第二〇四九六號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ使用スル甲第一號證莫大小目立テ幅板ニ於テ二箇ノ板イヲ其間隔ヲ任意ニ調節シ得ヘク連結シ其内側面ニ輻軸ヲ設ケ且ツ輻軸ヲ任意ノ傾斜ニ定着セシムヘク裝設シタル構造ハ特許第二〇四九六號輕便目立テ幅板ノ權利範圍ニ屬ス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ使用セル甲第一號證莫大小目立テ幅板ハ被請求人ノ所有スル

特許第二〇四九六號輕便目立テ幅板ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ使用セル甲第一號證莫大小目立テ幅板ハ甲第一號證ノ一圖面及圖面ノ說明ニ示シタル如ク半圓周狀ノ剝缺^イヲ設ケタル版^イニ切缺^ハ及溝^ニヲ連ネテ設ケタル圓環^ロヲ挿嵌シ其圓環^ロノ内面ニハ突起^ホ、切缺^イ及押螺子^下ヲ設ケタル圓環狀ノ支環^チヲ挿入ス而シテ圓環狀ノ支環^チヲ設ケタル突起^ホハ溝^ニ中ニ嵌入セラレ溝^ニ依リ導カレテ支環^チヲ圓周的ニ摺廻スヘキ様爲シアルヲ以テ押螺子^下ヲ動カスコトニ依リテ圓環狀ノ支杆ハ圓環^ロノ内面ヲ廻轉セシムヘクシ切缺^ハト^ハトヲ齟齬セシメタルトキ輾軸^リノ兩端ヲ切缺^ハニテ軸承セシムヘク爲シタル構造ナリ而シテ被請求人カ所有セル特許第二〇四九六號輕便目立テ幅板ハ之ヲ甲第一號證莫大小目立テ幅板ノ構造ニ對比スルトキハ兩者ハ輾軸ヲ挿嵌スヘキ裝置ニ於テ次ノ如キ至大ノ差異アリ即チ(一)特許幅板ニ於ケル支杆^ハハ半環狀ノモノナルニ反シ請求人ノ幅板ニ於ケル支環^チハ圓環狀ノモノニシテ且圓環^ロノ内面ニ挿入シテ支環^チハ環^ロ内ニ於テ摺廻シ得ヘク爲シタルノ構造上ノ差異アリ(二)特許幅板ニ於テハ半環狀ノ支杆^ハノ兩端ヲ板^イニ取着ケタルニ反シ請求人ノ幅板ニ於テハ半圓周狀ノ剝缺^イヲ設ケタル版^イニ圓環^ロノ半圓周ヲ深ク挿嵌シテ取着ケタルノ差異アリ(三)請求人ノ幅板ニ於ケル圓環^ロハ切缺^ハ及溝^ニヲ連ネテ設ケ其内面ニ突起^ホ、切缺^ハ及押螺子^下ヲ設ケタル圓環狀ノ支環^チヲ挿入シテ成ルモノニシテ此支環^チニ輾軸^リノ兩端ヲ軸承セシメテ支環^チヲ環^ロ内ニテ摺廻スルコトニ依リテ刷子^又ノ軸全體ノ方向ヲ任意ニ變更シ得ヘク爲シタルヲ以テ莫大小編目ニ一致スル様適切ニ刷毛ヲ起立セシメ得ヘシ之ニ反シテ特許幅板ニ於テハ斯ル構造ヲ有セス唯タ半環狀ノ支杆^ハニ溝^ロヲ穿チタルニ過キササルモノニシテ輾軸^リハ其一端ヲ中心トシテ他端ヲ圓弧狀ニ變位セシムルノミナルヲ以テ其面ノ刷毛ヲシテ莫大小編目ニ一致セシメ得ス從テ

完全ノ目立ヲ爲シ得サルノ差異アリ(四)請求人ノ幅板ニ於ケル輾軸^リハ圓環^ロノ切缺^ハト支環^チノ切缺^ハト一致セシメタルトキ輾軸^リノ兩端ヲ其兩切缺ニ挿入シ及溝^ニニ掛カラシムヘクシ切缺^ハト^ハトヲ齟齬セシメタルトキ輾軸^リノ兩端ハ支環^チノ切缺^ハニテ軸承セシムヘク爲シタルニ反シ特許幅板ニ於ケル輾軸^リハ其一端ヲ板^イニ關着シ他端ヲ溝^ロニ嵌入セシメタルニ過キササルノ差異アリ故ニ兩者ハ其構造ヲ互ニ異ニセルモノナルコト明カナリト云フニ在リ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ使用スル甲第一號證莫大小目立テ幅板ハ特許第二〇四九六號輕便目立幅板ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ連帶負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ本件第二〇四九六號輕便目立幅板ノ權利ノ本件ハ其特許請求範圍ニ示ス如ク二箇ノ板^イ、半環狀ノ支杆^ハ、輾軸^リ、軸系、押螺子^上、支杆^下等ニ依リテ成ル伸縮回轉共ニ自在ナル莫大小目立幅板ニ存スルコト明カナリ而シテ被請求人ハ本件輕便目立幅板ニ對シ改良ヲ施シ乙第一號證ノ如キ追加特許第二三七八號第二輕便目立幅板ノ權利ヲ獲得セルモノニシテ本追加特許第二三七八號ノ權利ノ本件ハ二箇ノ板^イノ上部内側面ニ切割^ホ、溝^ロ、孔^ニ、押螺子^上ヲ有スル外環^ヘヲ定着シ之ニ孔^チ、切込^ト及輾軸^又ヲ有スル内環^リヲ嵌着スヘク構成シタル幅板ニ存スルコトハ其特許請求範圍ニ明記セララル所ナリ而シテ請求人ハ請求人ノ使用セル甲第一號證莫大小目立幅板ト被請求人ノ本件特許幅板ノ相違ニ付キ詳論スル所アレトモ是等兩者ハ左ノ如キ同一若ハ類似點ヲ有ス即チ(一)二箇ノ板ヲ使用セルコト(二)二箇ノ板ヲ二箇ノ支杆ニ依リテ連結セルコト(三)二箇ノ板ノ距離ヲ伸縮セシムル爲メニ二箇ノ支杆ニ螺旋ヲ設ケタルコト(四)輾軸ヲ有スルコト(五)輾軸ヲ軸ニ嵌合シ回轉スヘク爲シタルコト(六)押螺子ヲ有スルコト(七)輾軸ノ角度ヲ任意ニ變更スヘク爲シタルコト之ナリ依テ是等兩者ハ如上ノ同一若ハ類似點ヲ有スルモノナルカ故ニ請求人ノ幅板ハ被請求人ノ本件特許ノ權利範圍ニ屬スルモノタルヤ論ナシト云フニ在リ

審決ノ理由 本件特許第二〇四九六號輕便自立テ幅板ハ其發明ノ性質トシテ本發明ハ小針ヲ螺旋狀又ハ有溝狀ニ植エタル輾軸ヲ内側面ニ設ケ小輾軸ヲ板ノ兩面ニ於ケル孔内ニ設ケ且外側面ニ回轉自在ナル小車ヲ設ケ螺桿ニ依リテ幅ヲ廣狹自在ナラシムルコトヲ得ル自立テ幅板ニ係リト記載シ又發明ノ詳細ナル説明中本發明ノ構造ハ二箇ノ板^イヲ支杆^トニ連結シテ大體ノ形狀ヲ成シ板^イノ内側面上部ニハ溝^ロヲ穿テタル半環狀ノ支杆^ヘヲ定着シ螺旋狀又ハ有溝狀ニ小針ヲ植エタル輾軸^ニヲ嵌入シタル軸^ホノ一端ヲ板^イニ關着シ他端ヲ溝^ロニ嵌入セルモノヲ兩面ニ設ケ其輾軸^ニノ表面ハ幾分カ板面上ニ現出セシメ斯クテ押螺子^ヘヲ以テ任意ノ傾斜ニ定着スヘカラシム云々ト記載シ又特許請求範圍ニ於テ本文所載ノ目的ヲ達スル爲メ前文ニ詳記シ且ツ圖面ニ明示スル如ク二箇ノ板^イ、半環狀ノ支杆^ヘ、輾軸^ニ、軒^ホ、押螺子^ヘ、支杆^ト等ニヨリテ成ル伸縮自在回轉自由ナル輕便自立テ幅板ト記載セリ此等ノ記載ニ徴スルニ本件特許ノ要點トスル所ハ二箇ノ板^イヲ螺旋ヲ有スル支杆^トニ依リテ幅ヲ伸縮自在ナラシムヘク連結シ板^イノ内側面ニ螺旋狀又ハ有溝狀ニ小針ヲ植エタル輾軸^ニヲ任意ノ傾斜ニ定着シ得ヘク裝設シタルモノニシテ輾軸^ニヲ任意ノ傾斜ニ定着セシムル構造トシテ溝^ロヲ穿テタル半環狀ノ支杆^ヘヲ定着シ輾軸^ニノ軸^ホノ一端ヲ板^イニ關着シ他端ヲ溝^ロニ嵌入シ押螺子^ヘニテ軸^ホヲ固定セシムヘク構成セルモノナリ而シテ甲第一號證莫大小自立テ幅板ハ其圖面ニ示セル如ク二箇ノ板ヲ螺旋ヲ有スル支杆ト伸縮自在ナル支杆トニ依リテ板^イノ間隔ヲ廣狹自在ナルヘク連結シ板^イノ内方各側ニ螺旋狀ニ植毛シタル一箇ノ輾軸^リヲ任意ノ傾斜ニ定着シ得ヘク設ケタルモノニシテ其輾軸ヲ任意ノ傾斜ニ定着セシムル手段トシテ切缺^ハ、溝^ニヲ有スル圓環^ロノ内部ニ突起^ホ、切缺^ヘ及押螺子^トヲ有スル圓環狀ノ支環^チヲ設ケ其内部ニ輾軸^リヲ裝設シ押螺子^トヲ動カスコトニ依リテ圓環狀ノ支環^チヲ圓環^ロ内ニ廻轉シ得ヘク且押螺子^トニ依リテ其位置ヲ固定セシムヘク構成シタルモノナリ依テ此兩者ヲ比較スルニ

二箇ノ板^イヲ其間隔ヲ任意ニ調節シ得ヘク連結シ其内側面ニ輾軸ヲ設ケ且輾軸ヲ任意ノ傾斜ニ定着セシムヘク裝設シタル點ニ於テ相互ニ一致スルモノニシテ此點ニ於テ甲第一號證ノ莫大小自立テ幅板ハ特許第二〇四九六號輕便自立テ幅板ノ權利範圍ニ屬スルモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス
大正二年六月二十八日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
特許局事務官 三 浦 惠 一
同 馬 場 穎 一

第二千六百二十三號

橫濱市神奈川柳町千百八番地 請 求 人 露 木 重 三
東京市京橋區具足町三番地特許辨理士 右 代 理 人 佐 藤 義 高
同 市京橋區具足町三番地特許辨理士 同 品 川 英 一
同 市本所區石原町九十五番地 被 請 求 人 伊 藤 伊 三 郎

右當事者間ノ第二一九八〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 審判請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人ハ請求人ノ製作ニ係ル大和よし丸玩具甲第一號證ハ第二一九八〇號特許權利範圍ニ屬

セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ第二一九八〇號ノ特許權ノ範圍ハ其特許明細書中請求範圍ニ記載スルトコロナリ而シテ其請求範圍ハ二項ニ掲ケラル、モ第二項ハ請求人ノ製作販賣セントスル物品ト交渉スルモノニ非サルヲ以テ第一項所載ノ點ヲ觀ルニ主要ノ點ト認ムヘキモノニアリ一ハ上下ノ表紙ヲ開キ之ヲ適宜ノ角度ニ於テ支持セシムル爲メノ所謂「支柱ヲ具ヘ之ヲ上表紙ノ臺紙ノ外方ニ抽出シ之レヲ抱擁密接セシムヘク抱座金ヲ具ヘテ云々」ノ點ニシテ他ハ所謂「階段ヲ形成セシムヘク上表紙ト下表紙トニ互ラシメテ階段形ノ折疊シ得ヘキ紙片ヲ設ケタル」ノ點ナリ而シテ階段上ニ物像ヲ貼設シ上下表紙ヲ開キタル際其物像カ恰モ階段上ニ安置セラレアルカ如ク爲ス作用ハ明細書中發明ノ性質及目的ノ要領中ニ記載アルモ請求範圍中ニ記載セラレサルノミナラス此點ハ十餘年前ヨリ存スル玩具ニ於テ既ニ實施シ居リシモノナルヲ以テ公知公用ナリ次ニ第二一九八〇號特許ノ八重棗ニ於テハ上下ノ表紙ヲ開立支持セシムル裝置タル金屬彈撥支柱カ内部ヨリ上表紙ヲ貫通シテ外面ニ突出シ紙製階段ハ數枚ノ紙片ヲ漸次重復糊着シテ成リ其階段ノ構造ハ何等新規ノ點ナク且其階段ノ脚ハ同時ニ閉鎖ノ際階段ノ折り目ヲ整理スル作用ヲ爲スニ係ハラス甲第一號證ハ單ニ上下ノ表紙ノ内面ニ於テ且階段ノ内部ニ於テノミ作用シ紙製階段ハ單ニ一枚ノ紙片ヲ折疊シ其兩端ヲ上下ノ表紙ニ附着セシムルニ過キス然カモ階段ノ整理ハ階段ノ内面ヨリ表紙ノ内面ニ互リ貼附シタル簡單ナル小紙片ニ依リテ作用セラル、ノ差違アリ要スルニ右特許發明ト請求人ノ甲第一號證ハ本案特許範圍ニ屬セスト主張シ證據書類トシテ特許第二一九八〇號及實用新案登錄第二二〇〇五號第二二四六二號第二四七三二號第一八四三四號第二〇七二四號第二〇八二六號第二一四一〇號ニ關スル記載ヲ援用シ且甲第一號證ノ一、第二號證ノ一、第三號證ノ一ヲ提出シ甲第一號證ノ二、第二號證ノ二、第三號證ノ

三ノ檢證ヲ求ム

被請求人ハ請求人申立相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ請求人ノ製作擴布シタル玩具大和よしヲハ其目的トスル構造ノ歸着スル所ハ特許第二一九八〇號發明ニ於ケルモノト同シ即チ特許請求範圍ニ「其表紙ノ開立ヲ支持セシムル爲メ支柱ヲ具ヘ抱座金ヲ以テ上下ノ表紙ヲ直角形ニ開立停止シ得ヘク爲スト同時ニ階段ヲ形成シ折疊シ得ヘク」トアルニ因ルモ請求人ノ大和よし玩具ハ被請求人ノ模造ナルコトヲ知ルニ足ルト主張ス

審決ノ理由

第二一九八〇號特許請求範圍第一項ニ上表紙ト下表紙トヲ開閉シ得ヘク互ニ蝶着シ之レカ開立ヲ支持セシムヘク根部ヲ下表紙面ニ關着セル支柱ヲ具ヘ之レヲ上表紙ノ臺紙ノ外方ニ抽出シ之レヲ抱擁密接セシムヘク抱座金ヲ具ヘテ上表紙ヲ直角形ニ開立停止シ得ヘク爲スト同時ニ階段ヲ形成セシムヘク上表紙ト下表紙トニ互ラシメテ階段形ノ折疊シ得ヘキ紙片ヲ設ケタル教育玩具活畫八重棗トアリ仍テ本發明ト甲第一號證ノ一及二ノ示ス考案トヲ比較スルニ表紙ノ開立ヲ支持セシムル爲メ支柱ヲ具ヘ抱座金ヲ以テ上下ノ表紙ヲ直角形ニ開立停止シ得ヘク爲スト同時ニ階段ヲ形成シ且折疊シ得ヘク爲シタル點ニ於テ全ク同一ニシテ唯其支柱カ甲第一號證ノ一及二ニアリテハ表紙ノ内ニアルニ反シ本件特許發明ニ於テハ表紙ノ外ニ突出セルノ差違アルノミニ考案ノ要旨ニ於テ全ク同一ナリ故ニ開閉ノ際階段ノ脚カ階段整理ニ助力スルト一紙片カ同一ノ助力ヲ爲ストノ如キ甲第一號證ノ一及二ト本件特許發明ニ係ルモノトノ間ニ多少ノ差違無シトセサルモ既ニ前記ノ考案ノ要旨タルノ點ニ於テ二者同一ナル以上甲第一號證ノ一及二ニ示ス玩具大和よしヲハ考案ハ第二一九八〇號特許權ノ範圍ニ屬セスト謂フヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年七月九日於特許局

百四

| | | |
|-----|--------|-------|
| 審判長 | 特許局技師 | 小野喜惣治 |
| 同 | 特許局事務官 | 三浦惠一 |
| 同 | | 馬場穎一 |

第二千三百五十七號

東京市麻布區富士見町六番地

請求人 石渡幸之輔

同 市日本橋區本石町一丁目五番地特許辨理士

右代理人 清水連郎

同 市下谷區上野櫻木町三十九番地

被請求人 佐藤美代志

同 市日本橋區蠣殼町三丁目十二番地特許辨理士

右代理人 丸山名政

右當事者間ノ第二一三〇八號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ本件特許ノ成分タル諸物質カ電氣ニ對シテ絶縁ノ效アルコトハ帝國內ニ頒布セル内外國ニ於テ刊行セル理化學及電氣學書ニ記載セル事實ニシテ之等ノモノヲ混和セシメテ成ルモノカ亦タ電氣絶縁物タルコトハ當然ノ結果タルニ過キス從テ本件特許ノ成分ト同等又ハ類似ノ物質ヲ加熱混和壓搾シテ物品ヲ作ルコト之等ノ物質ヲ以テ電氣絶縁物ヲ製造スルコト及之等物質ヲ同様ナル方法ニヨリ成形シ電流ヲ絶縁シ水分ヲ滲透セス容易ニ破壊スルコトナカラシムルコトハ本件特

許出願前帝國內ニ頒布セル刊行物タル甲第二號證乃至甲第七號證ニ記載セララル、ノミナラス帝國內ニ於ケル諸電燈會社等ニ於テ明治四十四年十月三十一日前ニ使用スル處ノ電氣諸器具ニ於テ其實物ヲ見ルヲ以テ毫モ新規ナル發明ト云フヲ得ス以上論述スルカ如ク本件特許ハ其成分、製法、目的及ヒ效果ニ於テ悉ク發明トスルニ足ラサルノミナラス且ツ其出願前帝國內ニ頒布セル刊行物ニ記載セルモノアリ容易ニ應用シ得ヘキ程度ノモノナルカ故ニ特許法第四條ニヨリ新規ト稱スヘカラサルヲ以テ同法第一條ニ違反シ同法第四十九條ニヨリ無効タルヘキモノト審決セラレ度シト云フニアリテ甲第一號證乃至第七號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件特許第二一三〇八號ノ成分ハ其明細書ニ特記シアルカ如ク其主成分ニ於テ新規ニシテ其效果ニ於テモ内外國ノ製品ヨリモ優越ナルコトカ別紙試驗成績ニヨリテ明カナルニ拘ラヌ此新規ナル發明ニ對シ無効審判ヲ請求シタルハ甚タ不法ナリト云ハサルヲ得ス實ニ本件特許ノ主成分ハ本邦紀州産ノ「ツブテ」杉指ト石蠟ニシテ前者ハ他ノ溶解性成分ヨリモ粘着力ニ富ミ結合カ力強キカ故ニ他成分ト能ク固結シテ強靱性ヲ附與シ後者ハ能ク水分ヲ滲透ヲ防止シ彈水ヲ良好ナラシムルカ故ニ電氣絶縁物トシテ奏效極メテ偉大ナルニ反シ「コパール」護謨等ノミヨリナルモノハ雨露ニ晒シ寒氣ニ逢フトキハ龜裂ヲ生スル等ノ缺點ヲ有シ電氣絶縁物ニハ不適ナリ特許第一一二五號〔甲第二一號證〕ノ成分ハ甲第六號證及第七號證ニ記載シアルモノト殆ント類似シ居ルモ前記ノ如ク本件特許ノ成分及ヒ之等ヨリナル製品ハ帝國內ニ頒布セラレタル刊行物及書籍等ニ發見セサルノミナラス明治四十四年十月三十一日前帝國內ニ於ケル諸電燈會社等ニ於テモ公知公用ニ屬セサルヲ以テ本件特許ハ甲第二號證乃至甲第七號證トハ全然相異スルコト明カニシテ新規ナル發明ヲ構成シ特許法第一條ニ該當シ同法第四十九條ニヨリ無効ニ屬スヘキモノニアラスト云フニアリ

百五

審決ノ理由 本件特許第二一三〇八號ハ「コパール」護謄、「アスファルト」、硫黃、「セラック、ツブテ」杉脂、石蠟「或ハ」バラフオン「蠟」ニ熱ヲ加ヘテ熔解シ之ニ石綿、雲母、石膏ヲ混シ能ク練リ泥狀混合物トナシ壓搾シテナル電氣絶緣物ナルコトハ其明細書ニヨリテ明カナリ然ルニ請求人提出ノ甲第二號證乃至甲第七號證ニアリテハ本件特許ニ於ケル資料ト同一若クハ類似ノ物質ニ二三ヲ適宜各別ニ使用シ加熱、混和、壓搾、成形シテ破壊シ難キ防水性電氣絶緣物ヲ製スルモ之等公知品ニ於テハ該特許ノ如ク前記物料ヲ總合セサルノミナラス特效ヲ奏スヘキ「ツブテ」杉脂、石蠟ヲ缺如セルヲ以テ其製品ノ性能效果ニ於テモ勢ヒ本件特許トハ大ニ相異スルモノト云ハサルヲ得ス次ニ請求人ハ本件特許ノ成分ト同一又ハ類似ノ物質ヲ加熱、壓搾、成形シテ破壊シ難キ防水性電氣絶緣物等ヲ製スルコトハ明治四十四年十月三十一日以前帝國內ニ於ケル諸電燈會社又ハ諸電車會社等ニ於テ其電氣器具ニヨリテ既ニ公知ニ屬スルカ如ク論スルモ之ニ關シ何等ノ確證ナキヲ以テ其主張ハ取ルニ足ラサルモノトス要スルニ本件特許ト資料效果等ヲ同フセル電氣絶緣物ハ該特許出願前帝國內ニ於テ公知公用ニ屬セス又本件特許發明ハ前記公知ノ記事アリ容易ニ應用シ得ヘキモノニアラサルニヨリ新規ナル發明ヲ構成スルヲ以テ特許法第一條ニ依リ特許セラルヘキモノナリ從テ之ト原料、效果ヲ異ニセル別種ノモノヲ以テ本件特許ヲ無効トスヘキ理由ナシ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年七月十一日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
同 小野喜惣治
特許局事務官 馬場 穎一

第二千六百三十七號

靜岡縣庵原郡由比町入山一帯地 請求人 望月發太郎
東京市牛込區揚場町十五番地特許辨理士 右代理人 鈴江近太郎
靜岡縣駿東郡鷹根村鳥谷五十四番地 被請求人 鈴木金藏

右當事者間ノ第三六〇三號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ使用スルイ號説明書及圖面ニ示セル茶焙乾器ハ請求人ノ所有スル特許第三六〇三號ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ使用スルイ號説明書及圖面ニ示セル茶焙乾器ハ請求人ノ所有スル特許第三六〇三號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ所有スル特許第三六〇三號ハ金網ニテ成レル圓筒ヲ回轉シ得ヘク架シ其内部ニ羽根ヲ具フル腕木ヲ圓筒ト同軸ニ供ヘテ同方面ニ且ツ遲速ヲ異ニシテ回轉シ得ヘクナシ其外部ニ覆ヲナシ扇風機ニヨリ風ヲ吹込ムヘクナシ下部ニハ火爐ヲ出入スヘカラシメタルモノニシテ被請求人所有ノイ號説明書及圖面ニ示セル機械ニ於テハ圓筒ヲ金屬板トシ金網ニテ兩端ヲ張りタル等稍相違アルモ之唯設計上ノ小差異ニ過キスシテ羽根ト圓筒ト同一方向ニ遲速ヲ異ニシテ回轉シ其間筒内ノ空氣ニ流通ヲ行ハシムル點ニ於テ發明ノ精神同一ナリト云フニアリ
被請求人ハ之ニ對シテ答辯書ヲ提出セス
審決ノ理由 被請求人ノ使用スルイ號説明書及圖面ニ示セル茶焙乾器ハ側面ヲ金屬板兩端ヲ金網ニテ張

リタル圓筒Bト三翼ヲ有スル風車形ノ攪拌機Dトカ速度ヲ異ニシテ同一方向ニ回轉シ之ト同時ニ扇風機Cニヨリ圓筒内ノ空氣ヲ流通セシムルモノニシテ之ヲ請求人ノ所有スル特許第三六〇三號茶焙乾器ノ發明ト對比スルニ筒側ヲ金屬板トシ兩端ヲ金網トセル等設計上差異ナキニアラサレトモ共ニ圓筒ト攪拌機トカ同一方向ニ速度ヲ異ニシテ回轉シ其間筒内ノ空氣ヲ流通セシムルモノニシテ發明考案ノ要旨ニ於テ二者相類似ス爲メニ被請求人ノ使用スルイ號說明書及圖面ニ示セル茶焙乾器ハ請求人ノ所有スル特許第三六〇三號ノ權利範圍ニ屬ス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年七月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 村山小次郎
同 三浦惠一

第二千六百二十六號

靜岡縣庵原郡由比町入山一番地 請求人 望月發太郎
東京市牛込區揚場町十五番地特許辨理士 右代理人 鈴江近太郎
靜岡縣駿東郡鷹根村鳥谷二十二番地 被請求人 川口隆平

右當事者間ノ第二七七一號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ使用スルイ號說明書及圖面ニ示セル茶葉揉捻機ハ特許第二七七一號茶葉揉捻機ノ權利

範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ使用スルイ號說明書及圖面ニ示セル茶葉揉捻機ハ請求人ノ所用スル特許第二七七一號茶葉揉捻機ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其理由ハ請求人所有ノ特許第二七七一號茶葉揉捻機ハ茶葉ノ散亂ヲ防キ且周到ニ揉捻シツ、附着セル茶葉ヲ緘リ取ラシムル目的ニ於テ弧狀ニ凹ミ周圍ニ向テ數多ノ隆條ヲ刻シタル受盤及下方ニ向テ壓迫シツ、圓錐體ノ周面ヲ畫クヘキ様ニ回轉セシムルモノ自體ハ回轉スルコトナカラシメタル懸杆ト其懸杆ノ下端ニ取り付ケ内面ノ中心ヨリ周圍ニ向テ數多ノ凹條ヲ刻シタル碗狀ノ揉盤トノ組合ヨリ成ルモノニシテ被請求人ノ使用スルイ號說明書及圖面ニ示セル茶葉揉捻機モ其受盤ハ同一ノ目的ニヨリ弧狀ニ凹ミ周圍ニ向テ數多ノ隆條ヲ附シ揉盤ハ内面ニ凹條ヲ刻セス且稍淺ケレトモ略同形ニシテ且別ニ套筒ヲ設ケテ其深サヲ補足シ懸杆モ亦圓錐體周面ノ軌跡ヲ畫クヘク運動シ其運動ノ狀兩者全然同一ナルヲ以テ被請求人ノ使用スル茶葉揉捻機ニ於テハ受盤ヲモ同一方面ニ回動セシムルノ新設計ヲ加ヘ碗狀揉盤上ニ通氣スヘキ網ヲ設ケタリト雖モ受盤ヲ回動セシムルト否トハ受盤對揉盤ノ關係的運動ニ大差ナク通氣網ノ如キモ亦此事ニシテ實際通氣ヲ認ムル能ハス寧ろ揉盤ノ内面ニ摩擦ヲ多カラシムル點ニ於テ請求人ノ發明ニ於ケルカ如ク凹條ヲ附シタルモノニ近似シ其目的構造及作用ニ於テ兩者ハ全然同一ナルモノナリト云フニアリ

被請求人ハ之ニ對シ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由 被請求人ノ使用スルイ號說明書及圖面ニ示セル茶葉揉捻機ハ弧狀ニ凹ミ中心ヨリ周圍ニ向テ隆狀ヲ設ケタル受盤Dト下方ニ壓迫シツツ錐體側面狀ニ回轉スヘキ懸杆C及其下端中央ニ金網ヲ張

レ孔Eヲ設ケEノ上ニハ凸隆セル有孔覆板Fヲ附シタル梳狀ノ揉盤Iヲ設ケ之ニ套筒Jヲ緩ク嵌合シテ成リ套筒J及受盤Dハ同一方向ニ相互間夾角百八十度ヲ保チテ共ニ回動シ受盤ト揉盤トノ關係的摺動ニヨリ套筒J内ノ茶葉ヲ揉捻シ尙其間ニ茶葉ノ濕氣ヲ網Eヲ通シテ發散セシムヘクナシ揉盤Iハ套筒ノ回動ニ從ヒテ動キ懸杆Cハ圓錐體側面狀ノ軌跡ヲ取ルモノニシテ之ヲ請求人ノ所有スル特許第二七七一號茶葉揉捻機ト對比審案スルニ一ハ揉盤ノ内面ニ凹條ヲ刻シ他ハ揉盤上ニ通氣スヘキ孔ヲ設ケ且揉盤稍淺クシテ別ニ套筒ヲ嵌合セルコト及受盤ヲモ同一方向ニ回動セシムルト否トノ差違アレトモ右ハ兩發明ヲ區別スヘキ要點トナスニ足ラス被請求人ノ使用スルI號說明書及圖面ニ示セル茶葉揉捻機ハ其目的構造及作用ニ於テ請求人ノ所有スル特許第二七七一號茶葉揉捻機ト相類似シ其權利範圍ニ屬スルモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス
大正二年七月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 村山小次郎
同 三浦惠一

第二千六百二十八號

東京市深川區東扇橋町八十一番地 請求人 明石梅吉
同 東京橋區具足町三番地特許辦理士 右代理人 佐藤義高

同 東京橋區具足町三番地特許辦理士 同 被請求人 品川英一
同 市深川區扇橋町一丁目十一番地 同 三澤要次郎

右當事者間ノ第一七二〇二號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 審判請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ被請求人カ實施スル精麥方法ニシテ別紙I號說明書ニ示セル精麥方法ハ特許第一七二〇二號高砂麥製造方法ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ請求人カ所有スル特許第一七二〇二號發明ニ係ル高砂麥製造法ハ或ル除砂器ヲ用ヒ水選シテ其ヲ除キ之ヲ搗精シテ糠ヲ除去シ次ニ一旦乾燥シ再ヒ搗精シ後明礬ノ稀薄液ニ浸漬シ再ヒ稍之ヲ乾燥セシメテ之ヲ挽キ割り或ハ押潰シ更ニ之ヲ蒸氣ニテ充分ニ蒸熱シ然ル後之ヲ乾燥スルニアリ然ルニ被請求人カ實行シツ、アル製麥方法ハ或ル除砂器ヲ用ヒ水選シテ砂ヲ除キ之ヲ搗精シテ糠ヲ除去シ一旦乾燥シ再ヒ搗精シ之ヲ挽キ割り或ハ押潰シ更ニ之ヲ蒸氣ニテ充分ニ蒸熱シ然ル後之ヲ乾燥スルニアリ故ニ右兩方法ハ水選シテ砂ヲ除去スル爲メニ用フル除砂器ノ構造ヲ異ニスル點ト挽キ割り押潰ス前ニ明礬ノ稀薄液ニ浸ササルトノ二點ヲ異ニスルニ過キスシテ大體ニ於テ類似スルモノナリ然モ此差違アル點ト雖モ甲ノ除砂器ヲ用フルト乙ノ除砂器ヲ用フルトハ水選シテ砂ヲ除クト云フ方法ニ對シテ差違ナシ又麥ヲ挽キ割り押潰ス前ニ明礬ノ稀薄液ニ浸スコトハ麥特有ノ滋養成分ヲ完全ニ保持シ得ルニ過キス故ニ之ヲ明礬液ニ浸サ、ルモ必シモ麥ノ滋養部分カ保持セラレサルニ非ス故ニ被請求人ノ實行スル方法ハ請求人ノ特許方法ト均等ニシテ請求人特許ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト主張シ特許第一七二〇二號ノ記録ヲ援用セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ請求人カ高砂麥製造方法ト稱スル製麥方法ニ付特許權ヲ有スルコト及被請求人ノ實施スル製麥方法カ請求人主張ノ通りナルコトヲ認ム從テ請求人ノ特許高砂麥製造法ト被請求人ノ製造方法トカ相違スル點ハ水選シテ砂ヲ除去スル爲メニ用フル除砂器ノ構造ヲ異ニスルコト及挽キ割り押シ潰ス前ニ明礬ノ稀薄液ニ浸サ、ル點ニアルコトモ亦請求人主張ノ如シ然ルニ請求人カ甲ノ除砂器ヲ用フルモ乙ノ除砂器ヲ用フルモ水選シテ砂ヲ除クト云フ方法ニ對シテ相違スル點ナク又明礬ノ稀薄液ヲ使用スルコトモ特許第一七二〇二號發明ノ要部ニ非スト主張スレトモ特許第一七二〇二號ニ於テ使用スル除砂器ハ其特許明細書ニ記載セル特種ノ除砂器ニシテ之ヲ使用スルコトカ此特許ノ一部ヲ成シ又明礬ノ稀薄液ニ浸スコトモ亦特許ノ要部ナルコト明ナリ從テ明礬ノ稀薄液ニ浸サス且特許高砂麥製造法ノ明細書ニ記載セルモノト全然異ナル除砂器ヲ用ユル以上ハ假令其他ノ幾多ノ點カ全然一致スルモ之ヲ以テ特許高砂麥製造法ノ範圍ニ屬スルモノト云フヘカラスト主張シ特許第一七二〇二號ノ記録ヲ書證トシテ援用セリ

審決ノ理由 請求人所有ノ特許第一七二〇二號高砂麥製造法ハ底面ニ數段ノ棧ヲ具フル流樋ノ上端ニ漏斗及水管ヲ裝設シテ成ル除砂器ヲ用ヒ水選シテ砂ヲ除キ且之ヲ搗精シテ糠ヲ除去シ次ニ一旦乾カシ再ヒ搗精シ明礬ノ稀薄液ニ浸漬シ蒸氣ニテ十分ニ蒸熱シ之ヲ乾燥シテ挽キ割り或ハ押シ潰シテ高砂麥ヲ製造スルノ方法ナリ而シテ被請求人ノ實施スル製麥方法ハ永田式連續洗米機ト稱スル器械即チ請求人特許方法ニ用フル除砂機ト異ナル洗米機ヲ使用シ大麥又ハ裸麥ヲ水選シ其砂ヲ除キ之ヲ臼ニ入レテ搗精シ流篩ニテ糠ヲ除去シ次ニ日光又ハ乾燥器ニテ乾燥シ其充分乾燥シタルモノヲ冷却セシメタル後再ヒ之ヲ臼ニ入レテ搗精シ「ロール」ニ掛ケテ之ヲ挽キ割り或ハ押潰シ次ニ之ヲ蒸器ニ收容シ蒸氣ヲ以テ充分ニ蒸熱セシメ然ル後之ヲ乾燥スル方法ナリ故ニ特許第一七二〇二號ノ製麥方法ハ特種ノ除砂器ヲ使用スルコト及麥ヲ明礬稀薄液ニ浸漬シ明礬固有ノ收斂作用ト麥ノ膠糠質類ヲ不溶性ニ變化セシムル化學作用ヲ利用シ麥ニ於ケル可溶性成分ノ流出ヲ防キ以テ麥特有ノ滋養成分ノ脫去ヲ防止スルヲ以テ發明ノ重要ナルモノトナセルコトハ右特許明細書中ニ明記セルトコロニシテ特許請求範圍ニ於テモ亦之ヲ特記セルヲ以テ明ナリ然ルニ被請求人ノ製麥方法ハ此ノ如キ方法ヲ使用スルコト無シ又特許第一七二〇二號發明ノ全體ト被請求人ノ實施スル「イ號」製麥方法ト比較スルニ其方法ニ於テ全ク相違ス故ニ被請求人ノ實施スル「イ號」製麥方法ハ特許第一七二〇二號高砂麥製造法ノ權利範圍ニ屬セス從テ主文ノ如ク審決ス

大正二年七月二十五日於特許局

審判長 梅野兵太郎
 特許局技師 三浦惠一
 特許局事務官 馬場穎一
 同

第二千六百三十二號

山口縣佐波郡右田村第六百七十三番屋敷 請求人 水野進平
 同 縣佐波郡防府町大字宮市第四百四十四 被請求人 吉井忠五郎
 東京市麴町區土手三番町三十二番地特許辨理士 右代理人 伊東榮

右當事者間ノ第一七九三六號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ被請求人ノ所有スル別紙(イ)號圖面及説明書ニ記載スル卷絲繩製造機械ハ特許第一

七九三六號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ特許第一
七九三六號卷絲繩製造機械ハ原棒ニ縱絲ヲ貯ヘ之ヲ引キ出シ心軸ト軸管トノ間ニテ橫絲棒ヲ廻旋セシメテ
絲ヲ卷キ附ケ繩トナシ巴車ニ卷キ送ラレ卷取棒ニ卷キ取ル構造ニシテ卷取棒ハ側面ノ滑車ヲ調帶ニテ
廻旋セシメ巴車ヨリ送ル繩ヲ遲速ナク卷取ル裝置ナリ然ルニ被請求人ノ所有スル卷絲繩製造機械ハ原棒
ニ縱絲ヲ貯ヘ之ヲ引キ出シ軸管ノ間ニテ橫絲棒ヲ廻旋セシメ絲ヲ卷キ付ケ繩トナシ棒車ニ卷キ送ラレ
テ卷取棒ニ卷キ取ル構造ニシテ棒車ハ繩ノ迂ラサル様接觸部面ヲ多カラシメ各車ヲ隔離シテ配列シ卷
取棒ハ側面ノ滑車、溝車ニ調帶ヲ傳ヘテ廻旋セシメ棒車ヨリ卷送ル繩ヲ遲速ナク卷キ取ル裝置ナリ從
テ被請求人ノ卷絲繩製造機械ニ於ケル卷取棒側面ノ滑車、溝車ニ調帶ヲ傳ヘテ卷取棒ヲ廻旋セシメ配列
シタル棒車ヨリ卷キ送ル繩ヲ卷取棒ニ遲速ナク卷キ取ル裝置ハ特許第一七九三六號ノ特許請求範圍第
二項ニ撞着スルモノナリト云フニ在リ

被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ被請求
人ノ所有スル卷絲繩製造機械ハ心絲ノ周圍ニ橫絲ヲ蛇腹ニ卷付ケタル綱二條ヲ同時ニ製造スル如クシ其
二條ノ綱ヲ同時ニ緊張シ完全ニ仕上ケンカ爲メ經ヲ異ニスル三本ノ轉子ニ掛ケタル後成品絲卷ニ卷取
ル如クシ而モ轉子ハ順次ニ其經ヲ大ニスルカ故ニ綱ニ及ホス張力ヲ順次ニ幾分大ナラシメ之ヲ完全ニ
緊張シ得ヘクナシ且成品絲卷ノ經ハ之ヲ一層大トナシ普通ニ必要ナル程度ノ長サノ綱ヲ卷キ取ルト雖
モ綱ヲ卷キ寄セタルカ爲メ其繰出速度ニ影響セサル如クシタルノミナラス其繰出シハ主トシテ第一轉

子軸端ニ固定シタル滑車ト主軸端ニ固定シタル滑車トニ調帶ヲ掛ケ第一轉子ヲ回轉シテ行フモノニシ
テ特許第一七九三六號ノ請求範圍第一項ニ記載スル如キ内部ノ孔ヲ屈折セシメ縱絲ノ捻止ヲ爲シ尖ヲ
圓錐形ニ造リ橫絲ヲ迂リ卷ク様ナシ橫絲棒ノ軸ニ兼用シタル心軸ヲ具有セス而シテ同請求範圍第二項
記載ノ構造ハ技術上公知ニ屬スル滑車及卷取棒ノ作用ニ組合スルニ巴形ニ配置シタル巴車ヲ以テシタ
ルニ過キス第一項記載ノ構成ト離シテ特許ヲ構成スヘキ發明ヲ爲スモノニアラス從テ被請求人ノ有ス
ル卷絲繩製造機械ハ特許第一七九三六號ノ權利ト撞着スルモノニアラスト云フニアリ

審決ノ理由

特許第一七九三六號卷絲繩製造機械ハ(一)内部ノ孔ヲ屈折セシメ縱絲ノ捻止ヲ爲シ尖ヲ圓
錐形ニ造リ橫絲ヲ迂リ卷ク様ナシ橫絲棒ノ軸ニ兼用シタル心軸ヲ具ヘ(二)巴形ニ配置シタル巴車ト働キ
ヲ開始セシメタル滑車及卷取棒ノ組合トヲ結合シテ成ルモノニシテ其一方ヲ離レテ權利ノ存在スルモ
ノニ非ス換言スレハ本機ハ内部ヲ屈折セシメ縱絲ノ捻止ヲナシ尖端ヲ圓錐形ニ造リ橫絲ヲ迂リ卷ク様
ナシ橫絲棒ノ軸ニ兼用シタル心軸竝ニ巴形ニ配置シタル巴車ト働キヲ關聯セシメタル滑車及卷取棒ヲ
組合セテ成ルモノナリ然ルニ被請求人ノ所有スル(イ)號圖面及説明書ニ記載スル卷絲繩製造機械ニ於テハ
内部ノ孔ヲ屈折セシメ尖端ヲ圓錐形ニ造リ橫絲棒ノ軸ニ兼用シタル心軸及巴形ニ配置シタル巴車ヲ具
有セサルヲ以テ被請求人ノ所有スル卷絲繩製造機械ハ特許第一七九三六號卷絲繩製造機械ト其主要部分ニ
於テ構造ヲ異ニシ其權利ト撞着スルモノニアラス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年八月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜惣治

特許局事務官 三 浦 惠 一

第二千六百十二號

| | | |
|-----------------------|------|--------|
| 大阪市北區上福島北二丁目九十四番地 | 請求人 | 松原 幸二 |
| 同 市北區上福島北二丁目九十四番地 | 同 | 松原 裕 |
| 同 市東區道修町五丁目一番地特許辦理士 | 右代理人 | 近藤 貞三 |
| 同 市北區西野田龜甲南ノ町二十四番地 | 被請求人 | 山崎 照親 |
| 同 市西區松島町二丁目七番地 | 同 | 松永安左衛門 |
| 同 市南區順慶町四丁目七十三番地特許辦理士 | 右代理人 | 山内 香 |

右當事者間ノ第二〇四三七號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人ノ製造販賣スル甲第一號證松原式輕便足踏製炭機ハ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ請求人ノ製造販賣スル甲第一號證松原式輕便足踏製炭機ハ特許第二〇四三七號ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ甲第一號證松原式輕便足踏製炭機ハ壓縮筒ホノ内面ニ密接シ彈機リノ伸張ニ依リ又踏板ルノ壓下ニ依リ昇降スル穿孔杆トヲ植立セル唧子ヘヲ設ケ彈機ハ唧子杆ヲノ周圍ニ捲纏シ唧子ト橫棧又トノ間ニ嵌挿シ絶ヘス唧子ヲ扛上セシメントスル裝置ナリ然ルニ本件特許ハ壓杆座ニ彈線ヲ捲付シ壓穿杆ニ挿入サル、孔ニ

底面ニ穿チタル套筒¹⁰ヲ被ヒ彈線ノ伸縮ニ依リ押挿サルヘクシタルモノト筒型¹⁵及孔²⁰ヲ穿チタル底型¹⁸ヲ組合ハシタル團炭製造機ニシテ其筒型及底型ハ斯種製炭機ニ於テ公知公用ノ裝置ナリ而シテ本件特許ノ要部ト見ラルヘキ偏心版⁵、連杆⁷、壓穿杆¹²ヲ有スル壓杆座⁸、彈機⁹等ハ甲第一號證ノ一ニ於ケル踏板ル、唧子杆ヲ、唧子⁶、彈機リ等ニ相類似スルモノ之レ所謂形態ノ似寄リタルノミニシテ機械的ノ構造ハ全然別途ニ屬シ本件特許ニ於テハ套筒ヲ壓杆座ノ外部ニ被セ該座ノ鋸板ト該筒トノ間ニ彈機ヲ裝入シ全ク甲第一號證ノ一トハ異レル動作目的ヲ遂ケシムル構造ナリ要之甲第一號證ノ團炭製造機ニ於テハ特許第二〇四三七號ノ要部ヲ成ス機構ト均等又ハ類似ナル機構ヲ有セス從テ其權利範圍ニ屬セスト云フニアリ

被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ被請求人ノ特許第二〇四三七號團炭製造機ト請求人ノ製造ニ係ル甲第一號證ノ製炭機トヲ對比檢覈シ甲第一號證製炭機ノ機構ヲ明瞭ナラシメタル乙第一號證ニ依リ之ヲ説明スレハ同證ノ符號¹ハ本件特許ノ壓杆座⁸ニ符號¹⁰ハ同壓穿杆¹²ニ符號¹¹ハ同彈線⁸ニ符號¹³ハ同孔¹¹ヲ穿テタル套筒¹⁰ニ符號¹⁴ハ同筒型¹⁵ニ符號¹⁶ハ同孔¹¹ヲ穿テタル底型¹⁸ニ夫々機構上相一致シ且其作用目的モ亦均等ニシテ其間強テ差異ヲ覓ムレハ同一考案ヲ實施スル設計ノ差異アルノミ大體ノ構造ニ於テ兩者均等ナルヲ免レス從テ請求人ノ製造スル甲第一號證ノ製炭機ハ特許第二〇四三七號ノ權利範圍侵犯スルモノナリト云フニアリ

審決ノ理由 被請求人ノ有スル特許第二〇四三七號團炭製造機ハ壓杆座ノ下端ニ壓穿杆ヲ固着シテ具ヘ壓杆座ニ彈線ヲ捲付ケ壓穿杆ノ挿入サル、孔ヲ底面ニ穿チタル套筒ヲ被ヒ彈線ノ伸縮ニ依リ押挿サルヘクナシタルモノト筒型及孔ヲ穿チタル底型トヲ具ヘテ成ルモノナリ而シテ請求人ノ製造販賣スル甲第一號證ニ示セル製造機ニ於ケル踏板、唧子杆、彈機等ノ裝置ハ其形狀ニ於テ前記本件特許ノ裝置ニ類

似スルカ如キモ特許第二〇四三七號ニ於テハ套筒ヲ壓杆座ノ外部ニ被セ該座ノ鏝板ト套筒トノ間ニ彈機ヲ裝入シ先ツ套筒ノ底ヲ以テ團炭ヲ壓シ次テ穿孔スル構造ナルヲ以テ甲第一號證ノ如ク團炭ヲ壓搾スルト同時ニ穿孔スルモノトハ全ク異レル動作目的ヲ遂ケシムル構造ナリ依テ甲第一號證ノ製炭機ハ特許第二〇四三七號團炭製造機ノ權利範圍ニ撞着スルモノニアラス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年八月十八日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 三浦惠一
同 馬場穎一

第二千五百七十號

大阪市南區北霞町九百六十番地 請求人 井上彌七
同 市西區江戶堀北通三丁目三十八、三十九番地 被請求人 河野豐次郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士 右代理人 淺村三郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士 同 平岩義一

右當事者間ノ第二二三九六號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 審判請求人ノ申立相立タス
審判費用ハ審判請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第二二三九六號特許ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト

審決相成度其理由ハ本件特許安定珓瑯鍋ハ其出願前ニ於テ登錄セラレタル登錄第一七二二號實用新案ト同一ナルノミナラス鍋釜ノ底面ノ滑走ヲ防ク爲メニ特更ニ底面ヲ擔負ニナシ能ク滑走顛覆ヲ防止セントスル考案ハ古クヨリ一般ニ公用セラレタルモノナルカ故ニ新規ナル發明ニアラスト云フニ在リ被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件特許ハ請求人ノ主張スル如ク登錄第一七二二號ノ實用新案ト全然同一考案ニシテ然カモ其構造ヲ同フスルモノナリ然レトモ本件特許ハ登錄第一七二二號實用新案權ノ存續中ニ於テ出願シタルモノナルカ故ニ特許法第五條ニヨリテ新規ト看做サル、モノニシテ無効タルヘキモノニ非スト云フニアリ

審決ノ理由 請求人主張ノ第一點ハ本件特許安定珓瑯鍋ハ其ノ出願前ニ於テ被請求人ノ爲メニ登錄セラレタル登錄第一七二二號實用新案ト同一ナリ從テ該登錄實用新案ノ實施ニ依リ公知公用ノモノナルカ故ニ特許法第四條ニ依リ新規ナルモノニアラサルヲ以テ特許法第一條ニ違反ス從テ本件特許ハ同法第四十九條ニ依リ無効トスヘキモノナリト云フニ在リ然レトモ特許法第五條第二號ニ依リ同一ノ發明ニ關スル實用新案權ノ存續中其發明力第四條各號ノ一ニ該當スルニ至ルモ尙新規ナルモノト看做スヘキモノナルカ故ニ被請求人所有ノ前記特許カ其出願前ニ得タル實用新案權ニ依リ公知公用トナルト雖モ尙新規ナルモノト看做サル、カ故ニ何等同法第一條ニ違反セス請求人ハ更ニ此點ニ關シ前記實用新案カ明治二十九年ニ登錄セラレタル事實ヲ以テスルモ當時本件特許ト内容ヲ同フスル考案ハ單ニ實用ナル新規ノ工業的考案即チ實用新案トシテ當局ニ認メラレタルニ過キス然ルニ工業上ノ進歩ニ隔世ノ觀アル五六年ノ經過後ニ至リ發明トシテ之ヲ遇シ特許ヲ與ヘタルハ誠ニ失當ニシテ特許又ハ實用新案ノ存續期間ニ一定年限ヲ定メタル法ノ趣旨ニ反スト主張スト雖モ特許權ノ目的タル發明ト實用新案權ノ

目的タル考案トハ全然別箇ノ觀念ニ基クモノナリ從テ同一物ニ對シ一方ノ見地ヨリ發明タル點ニ於テ特許權ノ目的タリ得ルト同時ニ他ノ見地ヨリシテ考案タル點ニ於テ實用新案權ノ目的タリ得ルナリ〔特許法第二十八條第四項、實用新案法第八條第二項〕從テ明治三十九年ニ於テ被請求人ノ權利被承繼人ノ爲メニ與ヘタル第一七二號實用新案權ハ只其實用新案ノ目的タル考案タリ得ルヤ否ヤノ認定ノ下ニノミ與ヘラレタルモノニシテ更ニ此レカ他ノ見地ニ於テ特許權ノ目的タル發明ヲ構成スルヤ否ヤニ付テハ何等認定ヲ下スノ要ナカリシナリ即チ其發明タルヤ否ヤニ就テハ未定ノ問題タリシナリ從テ明治四十四年ニ至リ更ニ請求人カ特許トシテ出願セル場合ニ於テ特許法第五條第二項ヲ顧慮シツ、特許權ノ目的タル發明ヲ構成セリトノ認定ノ下ニ特許ヲ與ヘタルハ何等失當ニアラス蓋シテ特許法第五條第二項ハ實ニ發明者ヲ保護センカ爲メニ設ケタル規定ニシテ發明者ノ精神の生産物カ特許發明タル價值アルモノナルト同時ニ實用新案ノ目的タル考案タリ得ル場合ニ於テ單ニ實用新案トシテ登録セラルルニ止ルトキハ實用新案權ハ特許權ヨリ權利ノ内容薄弱ニシテ其存續期間短期ナルヲ以テ發明者保護ニ於テ缺クル所アリ從テ實用新案ノ出願中又ハ實用新案權ノ存續中ハ假令公用トナルト雖其目的物カ同時ニ發明タル價值アルモノナルトキハ更ニ特許權ヲ附與セムカ爲メニ設ケタルモノナリ人ヲ異ニセル場合ニ於テモ亦同一ナリ蓋シテ特許法ハ先發明者主義ヲ採リ實用新案法ハ先願主義ヲ採レハナリ

請求人ハ更ニ若シ斯ノ如ク解釋スルトキハ特許權及實用新案權ノ存續期間ヲ定メタル趣旨ニ反スト主張スレトモ特許權ハ存續期間十五年ニシテ實用新案權ノ存續期間ハ三年ナリ何レモ或特殊ノ條件ノ下ニ更ニ一定年間ノ延長ヲ許サル、モノニシテ此等期間ノ點ニ關シ何等ノ影響ヲ與フルモノニアラス只實用新案權ノ存續中當該實用新案權者又ハ他人カ當該實用新案權ノ目的タル考案ト同一外觀ヲ有スル

精神的産物ニ對シ特許ヲ出願セル場合ニ於テ適法ノモノトシテ特許セラレタリト假定スレハ同一人ノ場合ニ於テハ既ニ經過セル實用新案權ノ年限ト更ニ得ル特許權ノ十五年ノ年限トヲ通算スレハ十七箇年何箇月トナル場合アルヘシ然レトモ之ハ權利ノ目的ヲ異ニスル以上且權利自體ニ於テ別種ノモノナル以上何等不當ニアラサルナリ若シ夫レ同一人ノ場合ニ於テハ前後通算シテ十五箇年ト爲スヘキモノナリト言フカ如キニ至リテハ立法論ニシテ現行特許法理ニアラサルナリ又斯クスルトキハ人ヲ異ニスル場合ニ於テ如何ニ處置スヘキカノ問題ヲ生スヘシ要スルニ現行特許法カ實用新案權及特許權ノ並立主義ヲ採リ實用新案權成立後ニ於テ更ニ特許權ノ成立ヲ認メ其期間ニ付テハ各權利ノ期間ニ放任セラルハ又止ムヲ得サルニ出タルモノト謂フヘシ

更ニ請求人ハ特許法第五條第二號ニ於テ同一發明ノ特許權存續中其發明カ第四條各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキト雖モ尙新規ナルモノト看做サル、ヲ以テ若シ前述ノ如キ解釋ヲ採レハ一發明ニ對スル特許權存續中ハ當該特許權者又ハ他人カ更ニ同一發明ニ付キ出願ヲ爲シタル場合ニ更ニ之ニ對シ新規ナルモノト看做シ特許ヲ與ヘサルヘカラス從テ一發明ニ對スル特許權ハ永久繼續スルカ故ニ遂ニ特許年限ノ十五箇年ノ規定ヲ無意義ニ終ラシムルヲ以テ前述ノ如ク解釋スルハ不當ナリト主張スルモノノ如シト雖モ當ラサルナリ何トナレハ一特許權存續中特許權者以外ノ者同一發明ニ對シ出願ヲ爲シタル場合ニハ特許法第九條第一項ニ依リ最先ニ發明ヲ爲シタルモノニ對シテノミ特許ヲ附與セラル、モノナルコト及同第九條第二項、同第四十八條及同第六十四條ヲ見ハ自ラ其然ラサルコト明ナリ又同一人ノ場合ニ於テハ當該特許權存續中更ニ其同一發明ニ對シ特許ヲ與ヘラル、ハアリ得サルナリ何トナレハ同一人ニ對シ同一物ヲ目的トスル同種ノ二箇以上ノ權利ノ並立ヲ認ムルハ法理上許サ、ル所ナレハナリ

又更ニ請求人主張ノ趣旨ヲシテ『當該特許權者カ特許權存續中同一發明ニ對シ出願ヲ爲シタルトキハ其權利ノ存續中ハ第五條第二項ニ依リ新規ノモノト認メラル、ヲ以テ當該特許權ノ期間滿了後ニ於テ更ニ之ニ對シテ特許ヲ附與セラルヘカラサルノ結果トナル何トナレハ特許出願ニ對シ公知公用其他特許附與ニ對スル故障ノ有無ハ出願當時ニ於テ決セラル、モノニシテ出願後ニ於テ生シタル故障ニ依リテ左右セラル、モノニアラサレハナリ從テ特許年限ノ十五年ハ無意義トナル』トノ意ナランニハ之レ正ニ因果ヲ顛倒シタル議論ナリ何トナレハ特許法第三十條ニ示スカ如ク一發明ニ對スル特許權存續期間ハ十五箇年ニシテ之カ延長ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル從テ同法第五條第二項中ノ特許權存續中云々ノ規定ハ同一人ノ同一發明ニ對スル場合ニハ適用ナキモノニシテ只人ヲ異ニシタル場合ニ後發明者カ特許權ヲ得タル後ニ先發明者カ特許出願ヲ爲シタル場合ニ於テ同法第四條ニ依リ特許拒絕ノ結果ヲ免レシメンカ爲メニ設ケタル規定ナリ〔第九條第二項及第四十八條參照〕要スルニ特許法第三十條ノ規定アルカ爲メニ第五條第二項ノ特許權存續中云々ノ規定ハ同一人ノ同一發明ニ對シテハ適用ナキモノナリ

請求人主張ノ第二點ハ發明ノ内容ニ立入り古來ヨリ土鍋又ハ土釜〔今戶燒ノ類〕ノ底面ヲ特更釉藥ヲ施サス素燒ノ儘トシ之カ滑走ヲ防キタルモノナルヲ以テ右考案ノ起因ハ公知公用ナルヲ以テ發明ヲ構成セスト雖モ發明若ハ考案ノ起因ト發明又ハ考案ソノモノトハ別物ナルノミナラス煮炊具ノ外面ニ不燃性ノ細粒ヲ珫瑯燒ニテ附着セシメ又ハ珫瑯自身ヲ凹凸ナラシメ載架ノ際之カ滑動ヲ防クハ在來ノ底部素燒ノ土釜ト異ルノミナラス又之ヨリ容易ニ應用シ得ヘキモノニアラサルナリ從テ明ニ發明ヲ構成スルモノナルヲ以テ在來ノ底部素燒ノ土釜ヲ以テ公知公用ヲ主張スルヲ得ス以上ノ理由ニ依リ主文ノ如ク審決ス

大正二年八月二十日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 三浦惠一
馬場穎一

第二千六百八十六號

名古屋市東區京町十五番戶 請求人 山田鐵治郎
同 市西區長島町三丁目百十五番戶特許辨理士 右代理人 織田了
神戸市小野柄通五丁目一番地ノ六 被請求人 大友豊太郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 淺村三郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平岩義一

右當事者間ノ第一八〇七〇號特許權範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ製作販賣スルイ號圖面及説明書ニ示セル精米機ハ請求人所有ノ特許第一八〇七〇號精米機ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人ハ被請求人ノ製作販賣スルイ號圖面及説明書ニ示セル精米機ハ請求人所有ノ特許第一八〇七〇號精米機ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ特許第一八〇七〇號精米機トイ號圖面及説明書ニ示セル精米機トハ外觀的構成異ナレリト雖モ臺ノ中

央ニ搖動杆ヲ架シ其上部ハ連杆ヲ以テ原動力ニ依リ廻轉スヘク「クランク」軸ニ連結シ該搖動杆ノ下部ヨリ彈性杆ヲ出シテ其先端ニ杆ヲ關着シ又臺ノ上部ニ槓杆ヲ突出セシメ其先端ヲ杆ノ上端ニ關着シ該槓杆ト下方ノ彈性杆トハ常ニ相併行シテ俯仰セシムヘクナシタル主要ノ構成全ク同一ナルノミナラス其目的及作用ニ於テモ同一ナルヲ以テ請求人一定ノ申立通り審決アリタシト云フニ在リ

被請求人ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ特許第一八〇七〇號ノ特許權ハ其特許請求範圍記載ノ構造ノ組合全體ニ在ルヲ以テ其構造中ノ一部ヲ除外シテ構成セラレタル精米機ハ第一八〇七〇號特許權ノ範圍ニ屬セス而シテ被請求人ノ精米機ハ(イ)號圖面及說明書ニ示シタル如ク特許第一八〇七〇號ニ比シ(一)搖動杆ヲ設ケサルコト(二)環狀彈器ヲ設ケタルコト(三)其他彈性杆ノ相違等構造上ノ差違ヲ有ス然ルニ請求人ハ兩者ヲ比シ臺ノ中央ニ搖動杆ヲ架シ其上部ハ連杆ヲ以テ原動力ニ依リ廻轉スヘク「クランク」軸ニ連結シ該搖動杆ノ下部ヨリ彈性杆ヲ出シテ其先端ニ杆ヲ關着シ又臺ノ上部ニ槓杆ヲ突出セシメ其先端ヲ杆ノ上端ニ關着シ該槓杆ト下方ノ彈性杆トハ常ニ相併行シテ俯仰セシムヘク爲シタル主要ノ構成ハ全ク同一ナリト主張スレトモ如上構成ニ於テ兩者ハ決シテ同一ニ非ラス且精米機ニ於テハ如上請求人ノ主張スル構成中槓杆ヲ除キタル爾餘ノ構造ハ普通ニシテ新規ニアラスト云フニ在リ

審決ノ理由

特許第一八〇七〇號精米機ハ「クランク」軸及連杆ニ依リ臺ノ中央ニ架シタル搖動杆ヲ俯仰セシムヘク爲シ該搖動杆ノ下端ヲ函狀ト爲シ之レニ一端ヲ杆ニ關着セル彈性杆ト其上下ニ先端ヲ連續セル撥條數枚ヲ重ネ且ツ「ボルト」ヲ以テ締付ケタルヲ嵌着シテ側方ニ突出セシメ且臺ノ上部ニ支點ヲ以テ垂吊セル搖動板ヨリモ側方ニ槓杆ヲ突出セシメ其先端ハ杆ノ上端ニ關着シ該槓杆ト下方ノ彈性杆トハ常ニ相併行シテ俯仰セシムヘクシ又臺ノ頂面ヨリ下方ニ捻子ヲ出シ搖動板俯仰ノ度ヲ制限スヘク

爲セル構造ニ成レリ而シテ(イ)號圖面及說明書ニ示ス精米機ハ臺ノ上部ヲ橢圓形ト爲シ其内ニ支點ヲ以テ搖動板ヲ吊リ該搖動板ノ下端ヨリ彈性杆ヲ有スル槓杆ヲ前方ニ出シ其先端ヲ杆ノ上端ニ關着シ臺ノ中央及ヒ連杆ノ上部杆ノ中央ニ何レモ支點ニヨリ連續セル圓管ニ彈性杆ヲ嵌入シ何レモ槓杆ニ並行シテ裝置シ槓杆ノ末端ト杆ノ中央ニ止金ヲ以テ彈機ヲ裝置シ杆ノ上部ハ鑄鐵製空洞ト爲シ之ニ木杆ヲ挿嵌シ該木杆ノ下端ニハ陶製空洞ノ杆先ヲ嵌メ杆ノ中心ニ「ボルト」ヲ貫通シ「ナット」ヲ以テ連結セリ而シテ原動力ニ依リ「クランク」軸ヲ廻轉スルトキハ彈性桿ハ俯仰スヘシ即チ連杆ニヨリ其上端ヲ突上クルヲ以テ下端ハ左進仰向シ之ニ嵌ラル、彈性杆ハ其勢ニ依リテ上方ニ屈撓シ其上端ニ關着セル杆ヲ上昇スヘク之ト同時ニ上部ノ槓杆モ其先端上昇シ爲メニ搖動板ハ支點ヲ中心トシテ上方ニ仰向スルモ橢圓形末端ニ衝突スルニ及ヒテ靜止ス之ニ反シ彈性杆ヲ上端下降スルトキハ前ト同理ニ依リ彈性杆ハ其彈力ト杆ノ重量トニ依リ先端ヲ下方ニ屈撓シ杆ヲシテ白内ニ突進セシムル構造ニ成レリ故ニ二者何レモ臺ノ中央ニ搖動杆ヲ架シ其ノ上部ハ連杆ヲ以テ原動力ニ依リ廻轉スヘク「クランク」軸ニ連結シ該搖動杆ノ下部ヨリ彈性杆ヲ出シテ其先端ニ杆ヲ關着シ又臺ノ上部ニ槓杆ヲ突出セシメ其先端ヲ杆ノ上端ニ關着シ該槓杆ト下方ノ彈性杆トハ常ニ併行シテ俯仰セシムヘク爲シタル構造ヲ有シ且之ヲ以テ何レモ精米機構造ノ要部ト爲セルモノナリ(イ)號圖面及說明書ニ示ス精米機ニ於テハ彈性杆ヲ臺ノ中央及連杆ノ上部杆ノ中央ニ何レモ支點ニ依リ連續セル圓管ニ嵌入シタル部分ニ於テ本件特許精米機ト異ナレル點無シトセサルモ二者既ニ構造上ノ要部ニ於テ一致シ爲メニ(イ)號圖面及說明書ニ示ス精米機ハ第一八〇七〇號特許權ノ範圍ニ屬スルモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年九月三十日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜惣治
 特許局事務官 三浦 惠一
 同 馬場 穎一

第二千四百九十九號

大阪市西區立賣堀北通四丁目五番地

請求人 大阪金網合名會社

右代表者

同 市東區淡路町五丁目十四番地特許辨理士 右代理人 江田 邦太
 同 市西區阿波座二番町一番地 被請求人 堀越 幸
 東京市麴町區下二番町三十六番地特許辨理士 右代理人 竹内 賀久治

右當事者間ノ第一二二八八號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 第一二二八八號特許ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ第一二二八八號捨金網製造機械ノ特許ハ之レヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負

擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ特許第一二二八八號發明ノ要旨ハ半形齒輪カ上下相對シテ一組ト爲シ廻轉シ次ニ別箇ニ移動シテ隣接ノ半形齒輪ト一組ヲ爲ス點ニ在リ然ルニ半形齒輪ヲ二箇組合セテ廻轉セシメ次テ相隣レル半形齒輪ト交互ニ組合セ廻轉スル裝置ハ普通ニ知ラル、總テノ金網製造機

ニ共通ノ機構ニシテ普通ノ金網製造機ニ於テ缺クヘカラサル普通ノ裝置ナリ故ニ特許第一二二八八號ハ普通ニ知ラレタル普通ノ裝置ヲ以テ其ノ發明ノ要部ト爲セルモノニシテ此ノ如キハ既ニ本件特許出願前公知公用ニ屬スルノミナラス同出願前帝國内ニ領布セラレタル公刊物即チ英獨兩國ノ特許明細書ニ記載セラル、處ナルヲ以テ新規ニ非ス從テ本件特許ハ特許法第一條ノ規定ニ違反シ同法第四十九條ニ依リ之レヲ無効トスヘキモノナリト云フニ在リ

被請求人ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其ノ理由ハ(一)本件特許發明ハ帝國内ニ於テ未タ公知公用ノモノニ非ス(二)請求人ハ英獨特許明細書ヲ援用シテ本件特許發明ノ公知公用トナレル事ヲ主張スレトモ本件請求ノ原因ハ本件特許發明カ其ノ特許出願前公知公用ナリト云フニ在ルヲ以テ此ノ如キ主張ハ本件請求ノ原因ニ符合セス(三)請求人ノ援用セル書證タル英獨特許明細書ハ譯文ノミニシテ其ノ原文ヲ示ササルヲ以テ其ノ譯文ノ正當ナルヤ否ヤヲモ知ルヲ得サルノミナラス譯文ノミヲ以テ書證ト爲スハ特許法施行細則ニ違反スト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人カ審判請求書ニ於テ本件特許發明ハ其ノ特許出願前公知公用ナルカ故ニ無効タルヘキモノナリト主張シ英獨特許明細書ヲ援用シテ之レヲ證セントスルハ審判請求ノ原因ニ符合セスト主張スレトモ請求人ハ審判請求書ニ於テ本件特許發明カ其ノ特許出願前公知公用タリシコトヲ主張スルノミナラス大正二年十月二日附提出ノ辯駁書ニ於テ本件特許カ特許法第四條第二號ニ該當ストノ理由ヲ追加セルヲ以テ此點ニ關スル被請求人ノ主張ハ當ラス又被請求人ハ請求人ノ援用セル書證ハ譯文ノミナリト主張スレトモ其譯文ニ對スル原文ハ大正二年十月二日附ヲ以テ請求人之レヲ提出シ同月九日被請求人ニ對シ其ノ副本ヲ送達セルヲ以テ此點ニ關スル被請求人ノ主張ハ亦當ラス而シテ本件特許ハ明治三十九年十一月十八日ノ出願ニ係リ其ノ特許請求範圍ハ左右ニ移動スヘキ溝枠ニ齒棒

ヲ設ケ其ノ齒輪ヲ啗合スヘク二段ニ架設シ齒輪ノ中間ニハ之レニ啗合フヘク半形齒輪ヲ二段ニ設ケ半形齒輪ニハ孔ヲ穿チテ成ル構造ノ捻金網製造機械ニ在リ然ルニ獨逸國ニ於テ西曆千八百八十年一月十一日特許セラレタル第一五四六二號發明明細書ハ明治十九年六月二日又同國ニ於テ西曆千八百九十年三月三十日特許セラレタル第五三八六七號發明明細書ハ明治二十四年三月三十一日特許局圖書館ニ到着シ本件特許出願前公ニセラル、處ニシテ此獨逸ノ二特許發明ハ龜甲形金網編織機械ノ一部ヲ爲セル半圓形杆ノ中心ニ線金ヲ貫通スヘキ孔ヲ穿チ中央背ニハ並列縱溝ヲ設ケテ成ル絲道及ヒ之レト同形ノ絲道二箇ヲ以テ一組ト爲スヘク又之レヲ合スレハ恰モ一箇ノ齒輪ヲ形成セラルヘク且絲道ハ左右運動板ト絲道廻轉板トニ依リテ左右若クハ廻轉運動ヲ爲シ以テ捻金網ヲ編織スル機構及其ノ裝置ヲ以テ成レリ故ニ此獨逸ノ二特許ト本件特許トハ共ニ半形齒輪カ上下相對シテ一組ヲ爲シ廻轉シ次ニ別箇ニ移動シテ隣接ノ半形齒輪ト一組ヲ爲ス點ヲ以テ發明ノ要部ト爲セリ故ニ本件特許發明ハ其ノ特許出願前我帝國内ニ頒布セラレタル獨逸特許明細書ニ示ス同國特許第一五四六二號及第五三八六七號ノ發明ヨリ容易ニ應用シ得ヘキ程度ノモノナリト認ム從テ本件特許ハ特許法第四條第二號ニ該當シ同法第一條ニ違反シ同法第四十九條第一項第一號ニ該當シ之レヲ無効トスヘキモノトス以上述フル處ノ外當事者双方ニ於テ主張スル處アルモ本件ノ審決ヲ爲スニ必要無キヲ以テ説明セス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
 特許局事務官 三浦惠一
 同 馬場顯一

第二千五百二十五號

名古屋市中區古渡町六丁目十六番地 請求人 高木綱次郎
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 淺村三郎
 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平岩義一
 大阪府西成郡中津町下三番九十五番地 被請求人 古賀耕之
 大阪市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許辨理士 右代理人 小池宗三郎

右當事者間ノ第一九四〇五號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人所有ノ登録實用新案第二二五二三號萬年金網ハ請求人ノ所有ノ特許第一九四〇五號元祿金網ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ登録實用新案第二二五二三號萬年金網ハ請求人ノ所有ニ係ル特許第一九四〇五號元祿金網ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有スル登録實用新案第二二五二三號萬年金網ノ要部タル線金(一)ニ一定ノ間隔ヲ置キ屈曲部(二)ヲ設ケ經緯相對シテ該屈曲部ヲ抱合セシメタル構造換言スレハ一定ノ間隔ニ屈曲部ヲ設ケタル線金ノ相隣レル二線ノ屈曲部ヲシテ互ニ相對スヘク配列シ且之ヲ縱横格子形ニ組立テ、成ル構造ハ請求人ノ所有ニ係ル本件特許第一九四〇五號元祿金網ノ特許請求範圍ニ記載セラレタル波動狀金屬線ノ相隣レル二線ノ起伏ヲシテ互ニ相對スヘク配列シ且之ヲ縱横格子形ニ組立テ、成ル餅燒用元祿金網ノ構造ト全ク相類似シ且双方共其構造上ヨリ生スル結果トシテハ各金屬線ヲ特ニ結束又ハ緊張

セストモ前後左右ニ移動スルコトナク金網ヲシテ極メテ堅牢タラシムルニ在リテ毫モ異ル所ナシ唯一
方ハ線金工ニ一定ノ間隔ヲ置キテ屈曲部ニ設ケタルト他ハ金屬線ヲ波動狀ト爲シタルトノ間ニ屈曲
ノ形狀ニ緩急長短ノ無用ノ變造ニ過キササル小差異アリト雖モ相隣レル二線ノ起伏ヲシテ互ニ相對セ
シメテ縱橫格子狀ニ組立テ、特殊ノ效果アラシメタル點ニ至リテハ何等ノ差異ナシ從テ登錄實用新案
第二二五二三號ハ特許第一九四〇五號ノ權利ニ撞着スト云フニ在リテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出
セリ

被請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第二二五二三號萬年金網ハ請求人ノ所有ニ係ル特
許第一九四〇五號元祿金網ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ特
許第一九四〇五號ノ構造ハ波動狀ノ金屬線ノ相隣レル二線ノ起伏ヲシテ互ニ相對スヘク配列シ之ヲ
縱橫格子形ニ編成シタル構造ニシテ波動狀ノ金屬線ハ其本能ニ於テ起伏ヲ反對ニ配列セハ兩者ハ互ニ
嵌合スヘク出來居ルモノナリ然ルニ登錄實用新案第二二五二三號ノ物品ハ眞直ナル線金ノ縱橫ニ交叉
スル部分ヲ相抱合シテ互ニ離脱セサル様特ニ壓搾機ヲ以テ之ニ加工シタルモノナレハ前者ノ如ク材料
其モノ、本能カ起伏ヲ反對ニ置クニ依リテ自然ニ嵌合スヘキモノト其趣ヲ異ニセリ又前者ハ相齧合ス
ル二箇ノ齒輪ノ間ニ金屬線ヲ狭入シ操出シテ得ルモノニシテ任意ノ長サノモノニ製シタルヲ截斷シテ
自由ニ使用スル便アルモ後者ニ在リテハ特ニ加工スヘキモノナルヲ以テ最初ヨリ一條宛適當ノ長サニ
截斷シタルモノニ屈曲部ヲ作り説明書ノ如ク之ヲ組合セテ成ルモノナリ故ニ前者ハ縱橫ニ交叉スル場
合ハ悉ク互ニ嵌合スルモ後者ノ抱合部ハ全部一ツ置キト爲シタルカ如キ構造ノ變更アリト謂フヘシ請
求人ハ目的及效果カ同一ナリト云フモ特許第一九四〇五號ノ目的中焙燒スヘキ餅ヲシテ金網線面ニ粘
着スルコトナカラシム云々ト記載シアリテ登錄實用新案第二二五二三號ノ金網カ全面扁滑ニシテ起伏

ナキモノトハ反對ノ結果ヲ生ス尙ホ登錄實用新案第二二五二三號ハ金網材料タルヘキ線金ニ一定ノ間
隔ヲ置キテ屈曲部ヲ作りタルモノニシテ之ヲ波動狀ナリト云フ請求人ノ主張ハ不當ナリ以上ノ如ク特
許第一九四〇五號元祿金網ト登錄實用新案第二二五二三號萬年金網トハ互ニ撞着セスト云フニ在リテ
乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 請求人ハ本件登錄實用新案第二二五二三號金網ト特許第一九四〇五號金網トハ各金屬線ヲ
特ニ結束又ハ緊張セサルモ前後左右ニ移動セルコトナク極メテ堅牢タラシムル爲ニ經緯相對シテ屈曲
部ヲ抱合セシメタルモノニシテ唯前者ハ線金ニ一定ノ間隔ヲ置キテ屈曲部ヲ設ケ後者ハ線金ヲ波動狀
ニ屈曲シタルヲ以テ屈曲ノ形狀ニ僅カニ緩急長短ノ小差異アルニ過キス而シテ其結果ニ於テハ何等ノ
差異ヲ認メスト云フト雖モ特許第一九四〇五號ハ單ニ經緯ノ線金ヲ移動セシメサル點ヨリモ主トシテ
金網ノ面上ニ起伏ヲ生セシメ被焙燒物ヲシテ金網面ニ粘着セシメサル目的ヲ有スルカ故ニ線金ノ屈
曲ハ勢ヒ波動狀ナルヲ要シ經緯ノ交叉ニヨリテ生スル區劃ノ四隅ハ悉ク屈曲部ノ抱合ヨリ網ノ面ハ起
伏ヲ以テ滿サル、モ登錄實用新案第二二五二三號ハ一定ノ間隔ヲ置キ線金ノ互ニ抱合フニ足ルヘキ小
屈曲ヲ設ケテ經緯ヲ組織スルカ故ニ屈曲部ノ抱合ハ間歇的ニシテ其製品ハ前者ニ反シ殆ント平坦ニ過
シ之レ兩者ノ目的ヲ異ニセル自然ノ結果ニシテ其屈曲方ハ相類似スルモノト云フヲ得ス從テ其構造亦
類似セス
仍テ正文ノ如ク審決ス

大正二年十月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
特許局事務官 三 浦 惠 一

特許局事務官 馬場 穎一

第二千五百九十二號

| | | |
|---------------------|---------|-------------|
| 東京市赤坂區青山町六丁目百四十七番地 | 請 求 人 | 常 見 盛 二 |
| 同 東京橋區采女町二十一番地特許辨理士 | 右 代 理 人 | 飯 田 治 彦 |
| 同 東京橋區山城町十四番地特許辨理士 | 同 | 太 田 資 時 |
| 同 市本郷區湯島天神下同朋町一番地 | 被 請 求 人 | 清 水 藤 右 衛 門 |
| 同 市神田區五軒町五番地特許辨理士 | 右 代 理 人 | 日 山 豐 次 郎 |

右當事者間ノ第一四三三號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 特許第一四三三號清水式無砂精米兼糶摺機ハ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ特許第一四三三號清水式無砂精米兼糶摺機ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件特許第一四三三號ハ明治四十一年五月十四日出願シ同年六月一日特許セラレタルモノニシテ其權利ハ請求範圍ニ記載セラレタル構造ニ局限セラルヘキモノト信シタルニ抗告審判第三〇〇號ヲ以テ本件特許ノ權利ハ摩擦筒ヲ前面ヨリ自在ニ抽挿スヘクシ且ツ其抽挿ヲ加減スヘク短圓筒ヲ設ケ摩擦筒ノ先端内面ヲ壘扇狀ニ狹搾シ中心ニ排出口ヲ具備セル構造ニ存スルモノト審決セラレ其權利範圍擴大セラレタリ然ル上ハ下記事實ニ依リ本件特許ハ出願前公知公用ニ屬ス(一)本件特許ト同一ナル精米機ハ明治四十一年三月ヨリ當時東京市下谷區東黒門町二十三番

地所在清水式精米機合資會社工場ニ於テ製作シ之ヲ運轉シテ公然顧客ノ觀覽ニ供シタル事實アリ(二)本件特許ト同一ナル精米機ハ明治四十一年三月ヨリ其當時東京市神田區田代町八番地所在清水式精米機合資會社店前ニ陳列シ公衆ノ觀覽ニ委シタル事實アリ(三)本件特許ト同一ナル精米機ハ要部ヲ明解シ得ヘキ圖面ヲ附シテ其特許出願前新聞、雜誌等ニ廣告シ公然社會ニ發表セリ(四)以上記載セル事實ニ徴スレハ本件ハ出願前公知公用ニ屬スルモノニシテ特許法第四條ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ同法第四十九條ニ依リ當然無効タルヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號乃至第二號證ヲ提出シ且證人ノ訊問ヲ申請セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件特許ト同一ナル精米機ヲ明治四十一年三月ヨリ東京市下谷區東黒門町二十三番地清水式精米機合資會社工場ニ於テ製作シ之ヲ運轉シテ公然顧客ノ觀覽ニ供シタルトノ事實及同年同月ヨリ東京市神田區田代町八番地清水式精米機合資會社ノ店前ニ陳列シ公衆ノ觀覽ニ委シタルトノ事實ハ絶對ニ認メ難ク又甲第一號證乃至第二號證ノ新聞廣告ハ本件特許ト構造ヲ異ニスル請求人所有特許第一一六五三號精米機ノ横置式及縦置式ヲ示シタルモノナレハ毫モ證據ノ價值ナシト云フニアリ

審決ノ理由 本件特許權ハ精米機ニ於テ摩擦筒ヲ前面ヨリ自在ニ抽挿スヘクシ且ツ其抽挿ヲ加減スヘク短圓筒ヲ設ケ摩擦筒ノ先端内面ヲ壘扇狀ニ狹搾シ中心ニ排出口ヲ具備セル構造ヲ以テ其要部トナスモノト認ム然ルニ前記ノ構造ヲ有スル精米機ハ本件特許ノ出願日明治四十一年五月一日ヨリ以前明治四十一年三月ノ頃既ニ東京市神田區田代町八番地清水式精米機合資會社ノ店頭ニ陳列シテ公衆ノ觀覽ニ供シ又東京市下谷區東黒門町二十三番地所在同社工場ニ於テ製作シ且ツ公然運轉シテ顧客ニ觀覽セシメ毫モ秘密ノ情態ヲ存セサリシ事實ハ證人吉田運次郎ノ證言ニ依リ之ヲ認ムルコトヲ得ヘク又本件特

許出願前時事新報及東京朝日新聞〔甲第一號乃至第二號證〕ノ廣告欄ニ圖示シタル橫置式精米機即チ漏斗ノ直下ニ短圓筒ヲ横タヘ之ニ摩擦筒ヲ挿入シ螺釘ヲ以テ之ヲ定駐シ摩擦筒ノ先端ニ排出口ヲ具備シタルモノハ特許第一一六五三號精米ノ應用ニ係ル橫置式ニアラスシテ明カニ本件特許精米機ヲ模寫シタルモノト認ム故ニ本件特許ハ其出願前公知公用ニ屬シタルモノニシテ特許法第四條第一號及第二號ニ該當シ同法第一條ニ規定セル新規ノ發明ニアラサルヲ以テ其登錄ハ同法第四十九條ニ依リ無効トナスヘキモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十月十八日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 村山小次郎
同 三浦惠一

第二千五百九號

大阪府泉南郡新達村大字市場七番地 請求人 赤井市太郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 淺村三郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平岩義一
奈良縣北葛城郡高田町大字三倉堂七十一番屋敷 被請求人 櫻根逸郎
大阪市東區淡路町一丁目二十四番地特許辨理士 右代理人 佐々木高吉

右當事者間ノ第一六七〇六號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ製作販賣セル甲第一號證麥摺器ノ柄裝置ハ被請求人所有特許第一六七〇六號ノ特許權ニ撞着ス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製作販賣セル甲第一號證麥摺器ハ被請求人所有特許第一六七〇六號鐵版式麥摺器ノ特許範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ甲第一號證麥摺器ハ摺動框□ノ前後左右兩外側ニ上向折釘ニト下向折釘ハトヲ並植シテ之ニ切缺ヘキヲ上下兩側面ニ穿テル把柄ヲ掛ケテ成ル柄取着裝置ヲ請求人所有登錄實用新案第一九四八一號亦井式麥摺器ニ取着ケタルモノナリ而シテ被請求人所有特許第一六七〇六號鐵版式麥摺機ハ甲第二號證ニ示ス如キ構造ニシテ其特許請求範圍ハ第一、第二、第三項ニ分載セラレアルモ第一項及第三項ハ本件所爭ニ關係ナキヲ以テ之ヲ除外シ左ニ第二項ニ就キ撞着セサル理由ヲ述ヘンニ該第二項ニハ「本文記載ノ目的ニ於テ第一項記載ノ摺具ノ側板ニ上向ト下向トニ曲ケタル釘ヲ具ヘト面ト下面トニ切缺ヲ設ケタル轆ヲ其釘ニ掛クヘクナシタル摺具ヘ」ト記載シアリテ特許請求範圍第一項ニ示ス特種ノ構造ニ係ル摺具ト上向ト下向トノ釘ヲ具ヘ上下兩面ニ切缺ヲ設ケタル轆ヲ其釘ニ掛クヘクナシタル柄取着裝置トノ結合ニアルコト一點ノ疑ナキヲ以テ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證麥摺器ノ柄取着裝置カ前記柄取着裝置ト全然同一ナルモ決シテ本件特許權利ニ撞着スルモノニアラス何トナレハ請求人カ甲第一號證ニ使用スル摺具ハ本件特許請求範圍第一項及第二項ニ記載セラレタル摺具ト構造ヲ異ニスル登錄實用新案第一九四八一號ノ摺動框ナレハナリ故ニ甲第一號證ノ柄取着裝置ハ毫モ本件特許權利範圍ニ屬セサルモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製作販賣セル甲第一號證麥摺器ノ柄裝置ハ被請求人ノ特許第一六七〇六號鐵版式麥摺機ニ於ケル柄裝置ト同一ニシテ其特許權ノ一部ニ撞着ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人カ實用新案第一九四八一號ヲ以テ登録ヲ得タル赤井式麥摺器ハ乙第一號證ノ立證スル如ク摺動框(ハ)ニ杆ヲ二ツニ曲ケタル握杆ルヲ取着ケ之ヲ把柄トナシタルモノニシテ其登録請求範圍ニハ(圖面ニ示セル總テノ構造ヲ有スル麥摺器)ト記載シアルカ故ニ實用新案ノ標記ヲ附シテ販賣スルモノハ其把柄ナラサルヘカラサル筋合ナリ然ルニ請求人ハ乙第二號證ノ如ク轆ヲ被請求人ノ特許第一六七〇六號ニ於ケルト同一ニシ被請求人ノ廣告(乙第二號證)ニ於ケルト差異ナカラシメ之ヲ各地ニ散布シ多數ノ製作販賣ヲナシツ、アルハ被請求人ノ深ク迷惑ニ感スルトコロナリ元來被請求人ノ有スル特許第一六七〇六號鐵版式麥摺機ニアリテ其柄ノ取着裝置カ發明ノ一要素タルコトハ甲第二號證ノ明細書本文中ニ『摺具(ハ)カ往復スル間ニ於テ前後ノ轆(ヨ)ハ摺具ノ端ヲ下方ノ摺面ニ向ケ壓シ附ケツ、押シ引キスルヲ以テ摺具カ跳ネ上リテ摺擦ノ效ヲ缺ク如キ患ナシ』又轆(ヨ)ハ之ヲ簡易ニ取外ツシ不用ノ際藏收スルニ便ナルノミナラス他ニ輸送スルニ際シテ荷造リヲナスニ便ナリトス』ト記載シアルニ依ルモ明カニシテ此柄ノ裝置ハ摺具ノ構造如何ニ關セス所期ノ效ヲ奏スルモノナリ而シテ發明ノ要部ハ單ニ請求範圍ノミニ依リ決スヘキモノニアラスシテ明細書ノ各部ヲ通シテ考查シ之ヲ決定スヘキモノナルハ幾多ノ審決例ニ示サル、トコロナリ請求人ハ甲第一號證ノ柄裝置カ被請求人ノ特許ニ於ケル柄裝置ト一點ノ差異ナキヲ認メナカラ特許請求範圍ニ對スル解釋ノ稍變遷シ來リタルヲ僥倖トシ敢テ本件ヲ提起シタルハ不當ナリト云フニアリテ乙第一號證乃至乙第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件特許第一六七〇六號鐵版式麥摺機ハ特許第一二八四一號鐵版式麥摺機ノ追加特許ニシテ其追加ニ係ル部分ハ麥摺ヲ行フ間ニ於テ麥穗カ摺面ノ端ヨリ落ツルヲ防カンカ爲ニ摺具ノ兩端ニ齒

狀ノ搔片ヲ設ケタル點ト摺具ヲ常ニ摺面ニ接シテ往復セシメ摺擦ノ效ヲ完全ニシ併セテ藏收運搬ニ便ナラシムル爲摺具ノ側板ニ上下異方向ニ曲ケタル掛釘ヲ具ヘ之ニ轆ノ上下面ニアル切缺ヲ掛クヘクナシタル柄裝置トニアルハ本件特許明細書ニ徵シテ明白ナリ而シテ此二點ハ各箇ニ自己ノ目的ヲ達スルモノニシテ二者相須チテ其作用效果ヲ呈スル如キ何等結合的關係ナキ構成ナルヲ以テ本件特許發明ハ原特許發明ノ外二箇ノ要素ヲ含有スルモノト認ム從テ請求人カ本件特許ニ於ケル柄裝置カ特殊ノ齒ヲ有スル摺具(ハ)ト結合シタルモノ、ミニ限リ特許權利ヲ有スルモノナリト主張ハ失當ナリ蓋シ特許權利ノ範圍ハ單ニ請求範圍トシテ記載セラレタル字句ニ拘泥スヘキニアラス明細書及圖面ノ全體ニ依リ判斷スヘキモノナリ故ニ本件特許請求範圍第二項ニ於テ柄裝置ヲ第一項ノ摺具ト結合シタルモノ、如ク記載シアルモノト解セラル、虞アルモ前記ノ如ク摺具(ハ)ノ如キ或種ノ齒ヲ有スルモノト結合スルニ非サレハ其目的ヲ達セサル理由ナク甲第一號證ノ如キ摺具即チ摺動框ニ取着クルモ尙ホ摺具ヲ摺盤面ニ壓シ附ケテ往復シ併セテ藏收運搬ニ便ナル點ハ毫モ異ナルコトナシ而シテ甲第一號證麥摺器ニ於ケル柄裝置ハ本件特許鐵版式麥摺機ニ於ケル要部ノ一ナル柄裝置ト全然同一ナルヲ以テ甲第一號證麥摺器ニ於ケル柄裝置ハ本件特許第一六七〇六號特許請求範圍第二項ノ權利範圍ニ撞着スルモノト認ム

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月七日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
 特許局事務官 三 浦 惠 一
 同 山 岡 國 利

東京府北豊島郡日暮里村字金杉千四百二十番地 請求人 豊田 太平
 東京市小石川區氷川町七十二番地 被請求人 須藤 由次郎
 同 東京橋區銀座一丁目十七番地 同 廣崎 榮太郎
 同 東京橋區加賀町十三番地特許整理士 右代理人 牧野 充安

右當事者間ノ第一六二〇〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人ノ實施スルイ號說明書ニ示セル金松相生縮ノ製造法ハ被請求人ノ特許第一六二〇〇號織物製造法ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ實施セルイ號金松相生縮ノ製造法ハ被請求人ノ所有スル特許第一六二〇〇號織物製造法ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ實施セルイ號金松相生縮ノ製造法ハ在來ノ木綿縮織物〔經ニ八十番ノ綿絲ヲ整經シ之ニ四十番ノ片絲ト三十番乃至三十二番ノ綿絲ヲ強度ニ加撚シタル縮絲トヲ交織シタルモノ〕ヲ普通ノ皺出シ工程ヲ施シ尙ホ強度ノ苛性曹達液中ニ處理シ大ニ收縮セシメタルモノニシテ即チ撚ノ反戻ニ依リ縮ヲ生セシメタル上ニ更ニ藥品ヲ以テ縮マセタル縮織物ナリ而シテ被請求人ノ所有スル特許第一六二〇〇號織物製造法ハ強度ニ再撚加工ヲ施シタル綿絲即チ普通ノ縮絲ト其然ラサルモノヲ以テ任意適當ニ組織シ皺出シ工程ヲ行ハスシテ其綿布ヲ適度ノ強アルカリ液ニ處理シテ收縮セシメ稀硫酸ニテ洗滌シ更ニ水洗スル等ノ工程ヲ經テ之ニ整理糊ヲ施シテ後チ或度マテ伸張シ全然縮ノ性狀ヲ失ハシメタルモノニシテ外觀上恰モ「セル」地又ハ「モスリン」或ハ上布ニ酷似スル織物トアリ故ニ請求人ノ織物ハ縮ノ性狀ヲ發揚シタル織物ヲ造リ被請求人ノ織物ハ全然縮ノ性狀ヲ失ハシメタルモノヲ造ルモノニシテ各其目的ヲ異ニスルナリ然ルニ其工程中縮織物ヲ「ピースマーセライズ」スル方法ニ於テ兩者相類似スレトモ元來此「ピースマーセライズ」法ハ在來普通ノ工程ニシテ被請求人カ特許第一六二〇〇號特許ヲ受ケタル主要ナル點ニアラスシテ強度ノ撚絲ヲ經或ハ緯ニ交織シタル織物ヲ皺出シ工程ヲ施サス濃厚ナリ「アルカリ」液ニテ處理シ縮マセタルモノニ整理糊ヲ附與シテ乾燥シ其乾燥スル少シク前ノ度合ニ於テ最強ク丈幅ヲ伸長シ或ハ摩擦ヲ反覆シ豫メ縮ノ性狀ヲ失ハシメ尙ホ充分乾燥シタルモノヲ「ローラ」ニ通過スルカ又ハ加熱ヲ行ヒテ全然縮ノ性狀ヲ失ハシメタル織物ヲ製造スル方法カ特許保護ヲ得タルモノニシテ全然兩者相違セルモノナリト云フニアリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ實施セルイ號金松相生縮ト稱スル織物製造法ハ被請求人ノ有スル特許第一六二〇〇號織物製造法ノ權利範圍ニ屬ストノ審決相成度其理由ハ(一)請求人ハ特許第一六二〇〇號織物製造法ニ所謂「任意適當ニ組織シタル綿布」ナル點ヲ無視シテ故ラニ本特許權利範圍ヲ脱セントスルモノナリ然レトモ既ニ綿布ノ組織カ任意ナル以上ハ其粗密ニヨリ異ナレル「味」ヲ生スルハ當然ナリ(二)請求人ハ被請求人ノ製造法ニ「縮織ノ性狀ヲ失ハシメテ成ル」トアル文詞ニ拘泥シテ云爲スレトモ本來「再撚加工ヲ施シテ強度ノ撚ヲ與ヘタル縮緯」ヲ織込ム以上ハ縮織ノ本質ヲ没却シ得ヘキニアラス是レ物理學上爭フヘカラサル所トス(三)請求人ノ製造法ハ「皺出シ工程」ヲ行ヒ特ニ縮ヲ生セシムル旨ヲ主張スレトモ斯カル無益徒勞ノ工程ヲ以テ被請求人ノ製造法ト異レリト云フヲ得スト云フニアリ

審決ノ理由 被請求人ノ所有スル特許第一六二〇〇號織物製造法ハ双撚綿絲及單絲ヲ經一本竝ニ整理スルカ又ハ其一方ノミヲ以テ整理シ之ニ再撚加工シテ強度ノ撚ヲ與ヘタル右撚左撚二種ノ綿絲ヲ一撚違

又ハ二杼違ニ或ハ其一方ノミヲ織リ込ミ又ハ平絲ハ交互ニ織リ込ミ任意ニ組織シタル綿布ヲ皺出シ工程ヲ行ハスシテ適度ノ苛性曹達ノ冷溶液ニテ處理シ一旦收縮シタルモノヲ更ニ或ル度マテ延長シ然ル後ニ適當ノ整理法ニ依リ全然縮織ノ性狀ヲ失ハシメテ成ル織物製造法ニシテ特殊ノ所謂「味」ヲ有セシメタルモノナリ然ルニ請求人ノ實施セル金松相生縮ト稱スル織物製造法ハ普通縮織物ニ皺出シ工程ヲ施シ更ニ強度ノ苛性曹液ニテ處理シ織物ニ光澤ヲ附スルト共ニ苛性曹達ノ綿織維ヲ收縮スル性質ヲ利用シ縮ヲ固定セシムルモノニシテ被請求人ノ所有スル特許第一六二〇〇號織物製造法トハ全ク區別スヘキモノナリ加之綿織物ヲ苛性曹達ニテ處理スル方法ハ一般ニ行ハル、モノニシテ單ニ縮織組織ヲ有スル綿織物ヲ苛性曹達ニテ處理シタリトテ被請求人所有ノ特許第一六二〇〇號織物製造法ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト云フヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
 同 野間譽雄
 特許局事務官 馬場穎一

第二千七百十六號

東京市本所區若宮町百七十七番地
 同 市本所區向島中ノ郷町七十番地

請求人 原田森太郎
 同 酒井捨松

| | | |
|-------------------------|------|-------|
| 同 市本所區向島中ノ郷町七十番地 | 同 | 酒井七郎 |
| 同 市小石川區原町十三番地 | 同 | 荒田直吉 |
| 同 市下谷區龍泉寺町百七十二番地 | 同 | 大野金吾 |
| 同 市淺草區山谷町七十五番地 | 同 | 奧家兵藏 |
| 同 市本所區表町三十九番地 | 同 | 阿部彦十郎 |
| 同 埼玉縣北足立郡戸田村大字新曾四千七百三番地 | 同 | 飯塚竹三郎 |
| 同 縣北足立郡芝村大字芝二千七百七十九番地 | 同 | 澤田貞祐 |
| 同 縣北足立郡土合村大字道場四十五番地 | 同 | 吉岡源之丞 |
| 同 縣北足立郡蕨町百六十三番地 | 同 | 石村周助 |
| 同 東京市小石川區氷川下町七十二番地 | 被請求人 | 須藤由次郎 |
| 同 市京橋區銀座一丁目十七番地 | 同 | 廣崎榮太郎 |
| 同 市京橋區加賀町十三番地特許辨理士 | 右代理人 | 牧野充安 |

右當事者間ノ第一六二〇〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ實施スル(イ)號説明書ニ示セル方法ニヨリ製造セラレタル甲第一號證ノ縮織物ハ特許第一六二〇〇號ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人等申立ノ要旨ハ請求人ノ實施セル(イ)號説明書ニ示セル方法ニヨリ製造サレタル甲第一號證織物ハ第一六二〇〇號特許權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理

由ハ被請求人ノ製造ニ係ル特許第一六二〇〇號ハ本特許ノ明文ノ如ク經緯任意ニ組織セル縮織物ヲ普通ノ皺出シ工程ヲ行ハスシテ適度ノ苛性曹達ノ冷溶液ニ處理シ一旦收縮シタルモノヲ更ニ或ル度マテ伸長シ然ル後ニ適當ノ整理法ニヨリ全然縮織物ノ性狀ヲ失ハシメテ成ル織物製造方法ニシテ請求人等カ製造スル縮織物ハ甲第一號證ノ如ク經緯任意ノ縮織ニ對シ普通ノ如ク冷水又ハ温湯ニ浸シテ後皺出シノ工程ヲ施シ普通ノ整理法ヲ以テ幅出シヲ行ヒタル普通ノ縮織物ノ性狀ニシテ決シテ苛性曹達ノ溶液ニ浸潤シ縮織物ノ性狀ヲ失却セシメタルモノニ非サルヲ以テ特許第一六二〇〇號ノ權利範圍ニ屬セサルモノナリト云フニアリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人等ノ實施スルト稱スル本件イ號說明書ニ示セル織物製造法ハ被請求人ノ有スル特許第一六二〇〇號ノ權利範圍ニ屬セサルコト明白ニシテ必要ナキ審判請求ナルヲ以テ本件審判ニ關スル費用ハ請求人ノ負擔タルヘキ旨審決相成度ト云フニアリ

審決ノ理由 請求人ノ製造スル縮織物ハ被請求人ノ所有ニ係ル特許第一六二〇〇號ノ綿織物製造ニ於ケル如ク苛性曹達ヲ使用スルコトナク且縮織物ノ性狀ヲ失ハシメタルモノニアラスシテ全ク其製造法ヲ異ニスルモノナリ從テ請求人ノ實施セルイ號說明書ニ示セル方法ニヨリテ製造セラレタル甲第一號證ノ縮織物ハ特許第一六二〇〇號ノ權利範圍ニ屬セサルモノトス又審判費用ノ負擔ニ付テハ被請求人ハ直ニ請求人ノ主張ヲ認メテ爭ハサルノミナラス其作爲ニ依リ審判ヲ提起スルニ至ラシメタルニアラサルカ故ニ明治四十二年勅令第三百一號第一條ニ依リ準用シタル民事訴訟法第七十四條ニ依リ審判費用ハ請求人ニ於テ負擔スヘキモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
同 野間譽雄
特許局事務官 馬場穎一

第二千六百三十一號

静岡市追手町百三十七番地

請求人

静岡安倍材木商同業組合

右代表者

見城定五郎

東京市京橋區桶町二十六番地特許辦理士

右代理人

宇田正穂

静岡縣安倍郡安東村大字大岩八十七番地

被請求人

竹林喜作

右當事者間ノ第二三〇〇一號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第二三〇〇一號輕便鐵索輸送裝置ノ特許ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有第二三〇〇一號輕便鐵索輸送裝置ノ特許ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ甲第一號證ニ示ス裝置ニ付大正元年八月二十二日特許ヲ出願シ同年十一月十二日特許ヲ受ケタリ然ルニ本件特許ト同一目的ヲ以テ同一考按ニ成レル鐵索輸送裝置ナルモノハ本件特許出願前即明治三十年頃ヨリ静岡縣下ニ於テ木材搬出用トシテ使用セラレタルモノニシテ請求人組合ニ於テモ明治三十八年二月二十八日組合設立後更ニ多少

ノ改良ヲ加ヘ甲第二號證圖面ニ示ス如キ輕便鐵索輸送器ヲ作リテ今日ニ及ヘリ而シテ甲第一號及甲第二號證ヲ對比スルニ其要部全ク同一ニシテ唯輸送車(A)ノ複式ナルト否ト其他多少ノ設計ニ差異アルニ過キス從テ本件特許ハ特許法第四條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ同法第四十九條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至第三號證ヲ提出シ證人訊問及臨檢ノ申請ヲナセリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有特許第二三〇一一號ノ發明ノ要旨ハ輸送車ノ構造ニ重ヲ措クニアラスシテ從來嘗テ使用セラレタルコトナキ數條ノ鐵線ヲ架設シテ之ニ應用セラル、複式輸送裝置ニ在リ又牽引車ニ帆ヲ使用スルコトハ被請求人ノ發明ニシテ從來見聞シタルコトナシト云フニアリ

審決ノ理由 本件特許第二三〇一一號輕便鐵索裝置ハ大正元年八月二十二日ニ出願シ同年十一月十二日特許ヲ得タルモノニシテ其發明ノ要部ハ簡便ナル構造ト危險ノ憂ナク自動的ニ往復セシムル裝置トヲ得ンカ爲帶鐵ヲ屈曲シテ簡易ニ桿(H)ヲ構成シ該桿ニ溝車脫出止、網持等ヲ裝置セル複式輸送車(A)ト之ト同一構造ニシテ空氣抵抗綿布(B)ヲ有スル牽引車(B)トノ共同動作ニ依リ輸送ヲ營ム輸送裝置ニアルコトハ發明明細書及特許請求範圍ニ徴シテ明カナリ然ルニ帶鐵ヲ屈曲シテ上部ノ内部ニ溝車ヲ架シ下部ヲ鈎トナシタル桿「本件特許ニ於ケル桿(H)ニ相當ス」ヲ四隅ニ取着ケテ成ル方形ノ輸送器二箇ヲ山嶺ヨリ谷底ニ向ツテ緊張セル四條ノ鐵索ノ各其二線ニ吊架セシメ山上ニアル滑車ヲ匝レル曳綱ニテ各輸送器ヲ連結シ山上ニアル輸送器ニ木材ヲ懸垂シテ降下セシムルトキハ谷底ニアル他ノ輸送器ハ山上ニ引上ケラルヘクナシ且輸送器ニハ空氣抵抗用ノ帆布ヲ設ケテ交互ニ木材ヲ輸送スル木材搬出用鐵索輸送裝置カ本件特許出願前即チ明治二十九年頃ヨリ已ニ静岡縣下ニ於テ公然行ハレタル事實ハ臨檢調査

及證人齋藤太郎ノ證言ニ據リ之ヲ認ムルコトヲ得而シテ前記公用ニ屬スル輸送裝置ニ於ケル輸送器ハ同一構造ニナルモノニ簡ヲ使用シ敢テ輸送車ノ牽引車等ノ區別ヲ有セサルモ本件特許ニ於テハ輸送車(A)ハ複線又ハ單線ニ架シ專ラ木材ヲ輸送スルニ供セラレ牽引車(B)ハ輸送車ト同一構造ナルモ特ニ空氣抵抗綿布(B)ヲ有シ且單線ニ架シ木材ヲ輸送セサルノ差ナキニアラスト雖公用ニ係ル輸送裝置ノ輸送器中木材ヲ荷ハサルモノハ常ニ本件特許ニ於ケル牽引車ト同一ノ作用ヲ呈スルコトハ明白ナルヲ以テ數條ノ鐵索ニ吊架スル輸送器ニ木材ヲ懸吊シテ降下運動ヲ起サシメ同時ニ加速度ヲ調節スル帆ヲ有スル吊架物ヲ上昇セシムル自動往復裝置ヲ得ントスル主要ナル考按ハ兩者同一ナリトス從テ本件特許第二三〇一一號輕便鐵索輸送裝置ハ出願前公用ニ係ル鐵索輸送裝置ニ類似シ新規ナル發明ト認ムヘキ點ナキカ故ニ特許法第四條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ特許法第四十九條ニ依リ其特許ハ之ヲ無効トナスヘキモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 村山小次郎
同 馬場 穎一

第二千五百八十九號

東京市本所區北二葉町四十九番地

請求人 八角 高治

東京市神田區壺所町三番地特許辨理士 右代理人 井本常作
同 市小石川區久堅町四十五番地 被請求人 堀榮吉

右當事者間ノ第一八一〇六號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第一八一〇六號特許ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ第一八一〇六號特許ハ之レヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成
度ト申立テ其ノ理由ハ被請求人ハ特許局ニ對シ明治四十二年三月二日「テーエンドワイ」莫大小縫綴
「ミシン」ノ發明者トシテ特許ヲ出願ヲ爲シ第一八一〇六號ノ特許ヲ得タリ然レトモ右ノ「ミシン」ハ請
求人ノ發明ニ係ルモノニシテ被請求人ハ其事實ヲ知リナカラ自己ノ發明ナリト之レヲ冒認シ特許權ヲ
得タルモノナレハナリト云フニ在リ

被請求人ハ請求人ノ請求ハ之レヲ棄却ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其ノ理由
ハ本件特許ニ係ル「ミシン」ハ被請求人カ請求人ニ其ノ考案ヲ依囑シ請求人ノ發明ニ係ルモノナリ然レ
トモ被請求人ハ豫メ請求人ニ對シ右ノ發明ヲ爲シタル上ハ其ノ特許權ノ自己ニ屬スヘキコトヲ合意シ
置キタリ從テ其ノ發明ニ要スル費用一切ヲ支辨シ明治四十三年三月二日ニ於テ特許ノ出願ヲ爲シタル
モノニシテ他人ノ發明ヲ冒認シテ特許ヲ得タルモノニ非スト云フニ在リ

審決ノ理由 本件特許發明カ請求人ノ發明ニ係ルコトハ當事者間爭無キトコロナリ而シテ被請求人ハ本
件特許發明ノ發明前豫メ請求人トノ間ニ本件特許ニ係ル發明ヲ自己ニ屬セシムル合意アリタリト主張
スレトモ乙第一號證ハ之レヲ證スルニ足ラサルノミナラス被請求人ノ主張中之レヲ確ムルニ足ルモノ
ナシ其ノ他本件特許發明ニ就キ特許ヲ受クルノ權利カ被請求人ニ歸屬スヘキ理由ノ認ムヘキモノナキ

ニ拘ラス本件特許出願々書中ニ被請求人カ發明者及出願人ナリトシテ其氏名ヲ記セルコト及證人坂井
郡一郎ノ證言ニ依リ之レヲ見ルトキハ請求人ノ發明ニ係ル「テーエンドワイ」縫綴「ミシン」ノ發明ヲ被
請求人カ冒認シテ本件特許ヲ得タルノ事實ハ之ヲ認ムルコトヲ得仍テ本件特許ハ特許法第四十九條第
一項第二號ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノトス
大正二年十一月十七日於特許局

審判長 特許局事務官 村山小次郎
同 三浦惠一
同 中松眞卿

第二千六百八十五號

大阪市西區江戶堀北通一丁目二十一番地 請求人 木屋政次郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 淺村三郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平岩義一
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 藤江政太郎
名古屋市東區百人町八十三番地 被請求人 佐合民治
同 市中區南伊勢町二丁目十四番地特許辨理士 右代理人 宮村隆治

右當事者間ノ第一三二四一號改訂特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人所有ノ第一三二四一號特許ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人ハ被請求人所有ノ第一三一四一號特許ハ之レヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ本件特許ノ製綿機ト全然同一構造ヨリ成ルモノハ本件特許出願前即チ明治三十一年四月中名古屋市北禰宜町鈴木辰次郎カ越中國富山市辰巳町武田寅男ヨリ之レヲ買入レ爾來引續キ現今ニ至ル迄該製綿機ヲ使用シツ、アルノミナラス名古屋市東區新出來町甲第三百五十七番戶船橋春吉カ右鈴木辰次郎方ニ至リ鈴木辰次郎ノ越中國富山市武田寅男ヨリ買入レ使用シ居タル製綿機ヲ視察シ他人ノ依頼ニ依リ製造販賣セル事實アリ故ニ本件特許ハ特許法第四條ニ該當シ同法第一條ニ違反シ同法第四十九條ニ依リ之レヲ無効トスヘキモノナリ加之本件特許製綿機ハ前記武田寅男ノ發明セルモノナルニ係ハラヌ被請求人ノ前主國枝寅太郎カ自己ノ發明ノ如ク裝ヒ特許ヲ出願シ特許ヲ受ケタルモノニシテ特許法第一條ニ違反シ同法第四十九條第一項第二號ニ依リ之レヲ無効トスヘキモノナリト謂フニ在リ

被請求人ハ請求人申立相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其ノ理由ハ本件特許ニ係ル發明ハ被請求人ノ前主國枝寅太郎ノ發明ニ係リ且決シテ請求人主張ノ如ク公知公用ノモノニ非ス又武田寅男若ハ鈴木辰次郎使用ノ製綿機ハ本件特許ニ係ル製綿機トハ其構造ヲ異ニスト謂フニ在リ

審決ノ理由

被請求人ノ所有ニ係ル第一三一四一號特許ハ明治四十年三月二十八日出願同年十月二十六日特許セラレ其後特許明細書ノ改訂ヲ爲セルモノナリ而シテ明治四十三年五月三十日登錄ニ係ル改訂明細書ニ依リ本件特許請求範圍ヲ閱スルニ機構上ニ廻轉スル「シヤフト」(B)ニ針布(ハ)ヲ貼レル鼓輪(ニ)ヲ固定シ齒輪聯動ホ(ヘ)下チ及又(ル)竝ニ錘紐聯動(レ)ムニ依リ其ノ後方ニハ給送轉子(リ)ヲ及ヒ循環給送簧牀

(ヲ)竝ニ鼓輪(ニ)下部ヨリ前方ニ裝スル循環簧牀(ヲ)廻轉シ且鼓輪(ニ)直下ニハ上下自在ナル去塵板(ヲ)並テ備ヘテ成ル製綿機トアリ然ルニ本件特許出願前即明治三十一年中富山縣上新川郡堀川村字大泉武田寅男ナル者カ製作販賣シタル製綿機ノ構造ニ於テハ一枚ヲ横ニ一枚ヲ縱ニ固着シタル所謂去塵板ニ相當スル遮板ヲ前後ニ移動シ得ヘカラシメタルト聯動裝置ハ概ネ調索ヲ使用シタルニ對シ本件特許ニ係ル製綿機構造中ノ去塵板ハ二枚ノ板ヲ上下自在ナラシメ又聯動裝置ニ齒輪ヲ使用シタルトノ差アルノミナルコトハ證人武田寅男ノ證言ニ徴シ之ヲ認ムルコトヲ得然ルニ聯動裝置ニ於テ調索ニ代フルニ齒輪ヲ以テシ又遮板ヲ前後ニ移動スル代リニ上下ニ移動セシムルモ作用效果ニ於テ大差ナキヲ以テ全體トシテ二者全然同一ノ構造ヲ有スルモノト認ム而シテ武田寅男ノ證言中同人ハ鈴木辰次郎ニ販賣シタルモノト同一構造ニ係ル製綿機ヲ明治三十一年頃ニ於テ東京ノ金谷寅次郎大阪ノ萩野ヘモ販賣シタルト謂フニ徴シテ本件特許發明ニ係ル製綿機ハ其特許出願前帝國内ニ公ニ知ラレ公ニ用ヒラレタルモノニシテ特許法第四條第一號ニ該當シ第一條ニ該當セス從テ第四十九條第一號ニ依リ其特許ヲ無効トスヘキモノトス猶請求人ハ本件特許發明ハ被請求人ノ前主國枝寅太郎カ自己ノ發明ニ非サルモノヲ自己ノ發明ノ如ク裝ヒ特許出願ヲ爲シ特許セラレタルモノナルヲ以テ本件特許ハ特許法第四十九條第二號ニ依リ無効タルヘキモノナリト主張スレトモ此ノ如キ證據ノ認ムヘキモノ無キヲ以テ此點ニ關スル請求人ノ主張ハ採用スルヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月二十一日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
特許局事務官 三 浦 惠 一

第二千七百號

| | | |
|---------------------|------|--------|
| 東京市下谷區金杉上町八十九番地 | 請求人 | 殿岡 小三郎 |
| 同 市京橋區西紺屋町三番地特許辨理士 | 右代理人 | 岡崎 正也 |
| 同 市京橋區木挽町一丁目十一番地 | 被請求人 | 須藤 由次郎 |
| 東京府豊多摩郡澁谷町下澁谷百三十六番地 | 同 | 廣崎 榮太郎 |
| 東京市京橋區加賀町十三番地特許辨理士 | 右代理人 | 牧野 充安 |

右當事者間ノ第一六二〇〇號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ被請求人所有ノ特許第一六二〇〇號織物製造法ハ之レヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決相成度其理由ハ請求人ハ本件被請求人ノ特許出願前ヨリ木綿縮ヲ本件特許ノ如ク苛性曹達ノ冷溶液ニテ處理スルノ方法ヲ行使シ來リタルモノナリ又本件特許ニ於ケル双撚綿絲及單絲ヲ經一本置ニ整理スルカ又ハ其一方ノミヲ以テ整理シ之ニ再撚加工シテ強度ノ撚ヲ與ヘタル右撚左撚二種ノ綿絲ヲ一杼違又ハ二杼違ヒニ或ハ其一方ノミヲ織込ミ又ハ平絲ト交互ニ織込ミ任意ニ綿布ヲ組織スルコトハ我邦ニ從來行ハレ居ル普通ノ木綿縮製造方法ニシテ何等新規ノ方法ニ非ス前記ノ方法ニテ織出シタル木綿縮ヲ適度ノ苛性曹達ノ冷溶液ニテ處理シ一旦收縮シタルモノヲ更ニ

或ル度迄伸張シ適當ノ整理法ニヨリ全然縮織ノ性狀ヲ失ハシメ特殊ノ趣味ヲ有セシムルノ方法ハ本件特許出願當時既ニ公知ニ屬シ新規ノ發明ニ非ス即チ甲第一號證ノ西曆千九百三年英國倫敦市「ヘーウード」會社發行「マーセリゼーション」ト題スル書物甲第二號證ノ明治二十八年中大日本織物協會ノ出版ニ係ル農商務省技師山岡次郎著染物集實及甲第三號證明治二十年東京市書肆十一堂發行初學染色法等ノ書物ニ綿布ヲ苛性曹達液ニテ處理スル時ハ一種ノ性狀ヲ有セシメ得ヘキコトヲ記載セリ又明治三十七年頃ヨリ年々我邦ニ輸入セラレアル綿「ポプリン」ハ本件特許ノ方法ト等シク經絲ニ木綿絲ヲ用ヒ緯絲ニ木綿絲ヲ加撚シタル綿絲ヲ織込ミ皺出工程ヲ施サスシテ苛性曹達液ニ處理シテ收縮セシメタル後中擴ケ工程ヲ經又「ロール」等ニテ壓搾シ仕上タルモノニシテ絹經毛緯交織布「ポプリン」ノ模擬品トシテ一種ノ性狀ヲ有セシメタルモノナリ本件特許ニ於ケル苛性曹達ニテ處理スル方法ハ甲第一號證乃至甲第三號證ノ記載又ハ甲第四號證ノ處理方法ト同一ニシテ新規ノ發明ニ非ス假リニ全然同一ナル方法ニ非ストスルモ甲第一號證乃至甲第四號證ノ方法ヨリ容易ニ類推應用シ得ヘキモノタリト云フニアリ被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ申立相立スト審決相成度其理由ハ單ニ苛性曹達液ノ處理ナルコトカ本件特許前ニ公知ナリシコトヲ理由トシテ本件特許ヲモ公知ナリト論斷スルモノニシテ發明ノ點ヲ無視スルモノナリ甲第一號「マーセリゼーション」ト題スル書物第八十頁ノ記載ハ普通ノ「シルケット」ノ方法ヲ叙述シタルニ過キス甲第二號證及甲第三號證ノ記載モ亦普通苛性處理ヲ言ヘルノミ甲第四號證ノ綿「ポプリン」モ亦本件特許ト異ナルコト瞭カナリ要スルニ甲第一號證乃至甲第四號證ト本件特許トハ其目的ヲ異ニシテテ方法ヲ異ニシ材料ヲ異ニセリ其相違セルコトハ製造セラレタル織物ニ依リ一見明瞭ナリ蓋歐米ニ於ケル綿布ノ製造ハ必ス純粹ノ平織ニシテ縮織ナルモノナシ本件發明ハ平織ノ如クシタル縮織ナレハ其組織ノ異ナルヤ勿論ナリ又請求人ハ假ニ同一方法ニアラストスルモ甲第一

號證乃至甲第四號證ニ依リテ容易ニ類推應用シ得ヘキモノナレハ本件特許ハ新規ノ發明ニ非スト附論
スレトモ本件特許ハ新ナル目的ノ爲ニ格段ナル材料ニ適當ナル方法ヲ以テ特種ノモノヲ製造スルニア
レハ單ニ綿絲ニ對スル苛性處理ナル普通のノ事項ヲ以テ發明ノ價值ヲ沒却セントスルハ發明ヲ獎勵ス
ル所以ニアラス苛性處理ヲ應用シタル特許ハ多々アルヘシ若シ請求人ノ論鋒ヲ以テセハ此等ノ特許ハ
總テ無効タルヘシ然カモ發明ノ新規タルヲ害セサルヘキナリ蓋シ苛性酸類ノ反應作用ハ一般ノ原理ニ
シテ此原理ノ應用トシテ更ニ各般ノ新規ナル發明ヲ成スヘキハ當然ナリト云フニアリ

審決ノ理由 特許第一六二〇〇號織物製造法ニ於ケル双撚綿絲及單絲ヲ經一本置ニ整理スルカ又ハ其一
方ノミヲ以テ整理シ之ニ再撚加工シテ強度ノ撚ヲ與ヘタル右撚左撚二種ノ綿絲ヲ一杼違又ハ二杼違ニ
一セリゼーションナル方法カ本件特許出願前即チ明治四十二年一月十一日以前ニ於テ公然使用セラレ
タルコトハ請求人ノ主張スル所ノ如シ然レトモ本件特許ハ縮織物ヲ適度ノ苛性曹達ノ冷溶液ニテ處理
シ一旦收縮シタルモノヲ更ニ或ル度迄伸長シ適當ノ整理法ニヨリ全然縮織ノ性狀ヲ失ハシメ特殊ノ趣
味ヲ有セシムル方法ニシテ苛性曹達ノ處理ニ依リ綿織物ニ光澤ヲ附スルト同時ニ縮織ノ性狀ヲ失ヒタ
ル特種ノ味ヲ有スル織物ヲ得ルニアリ故ニ甲第一號證乃至甲第三號證ノ織物製造法トハ異ナルモノナ
リ又請求人ハ本件特許カ假リニ甲第一號證乃至甲第三號證ト同一方法ニ非ストスルモ此等ニヨリ容易
ニ類推應用シ得ヘシト云フト雖モ甲第一號證乃至甲第三號證ハ單ニ苛性曹達ヲ以テ綿布ヲ處理スルコ
トヲ説明シタルモノニシテ之レカ爲ニ縮ノ性狀ヲ失ハシメ特種ノ味ヲ有セシムルコトマテ類推應用シ
得ヘシト云フヲ得ス又請求人ハ甲第四號證ノ綿「ボブリン」ナル綿織物カ明治三十七年頃ヨリ我邦ニ輸
入セラレ居リ本織物ハ本件特許ノ方法ト等シク製織整理セラレタルモノナリ假リニ同一方法ニ非スト

スルモ之ニヨリ本件特許ハ容易ニ類推應用シ得ヘシト云フト雖モ甲第四號證ノ綿「ボブリン」ナル織物
ハ太絲及細絲ヲ經緯トシテ製織シ幅ノ方ニ畝ノ如ク其組織ヲ表シタルモノニシテ本件特許ノ如ク縮織
物ノ縮ノ性狀ヲ失ハシメ特種ノ味ヲ有セシメタルモノニアラサルナリ唯甲第四號證織物ハ苛性曹達ニ
テ處理シタルモノナリト雖之レカ爲ニ本件特許カ綿「ボブリン」製造法ト同一方法ナリト云フヲ得ス又
之レニ依リ本件特許カ容易ニ類推應用シ得ヘシト認ムル能ハス從テ請求人申立ノ如ク被請求人所有ノ
特許第一六二〇〇號織物製造法ハ無効トスヘキモノニアラス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十二月五日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
同 野 間 譽 雄
特許局事務官 馬 場 穎 一

第二千七百三號

大阪市北區富田町二十七番地 請 求 人 中 田 松 治 郎
同 市東區瓦町一丁目五番地特許辦理士 右 代 理 人 廣 井 代 藏
同 市北區堂島濱通四丁目十六番地 被 請 求 人 信 木 富 藏
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士 右 代 理 人 淺 村 三 郎
右當事者間ノ第一六四三〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ使用セル(イ)號圖面及説明書ニ示セル「メリヤス」用把子ハ請求人ノ特許第一六四三〇號
中田式輕便把子ノ權利範圍ニ屬ス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ使用セル(イ)號圖面及説明書記載ノ「メリヤス」用把子ハ請求
人ノ有スル特許第一六四三〇號中田式輕便把子ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審
決相成度其理由ハ(イ)號圖面及説明書ニ記載セル「メリヤス」用把子ト本件特許第一六四三〇號輕便把子
トヲ比較スルニ前者ノ下部挾縮版(イ)ハ後者ノ臺(ニ)ト均等ナル效用ヲナシ又前者ノ上部挾縮版(イ)ハ後者
ノ橫杆ト其效用ヲ同フシ且右上部挾縮版(イ)橫杆(イ)ハ何レモ撥條ヲ作用セシメテ彈壓力ヲ具有セシメ
タルモノニシテ假令各部ノ構造形狀ニ多少ノ差アリトスルモ大體ノ構造作用ヲ同フスルカ故ニ互ニ撞
着ヲ免レスト謂フニアリ

被請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ使用セル(イ)號圖面及説明書記載ノ「メリヤス」用把子ハ請求人ノ有ス
ル特許第一六四三〇號中田式輕便把子ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度
其理由ハ從來特許又ハ實用新案トシテ登録セラレタル「メリヤス」仕上用把子ハ十種ノ多數ニ及ヒ各別
箇ニ構造上ノ差異ニ對シ特許又ハ實用新案ノ登録ヲ受ケタルモノナルコト及現存セル無數ノ無權利ナ
ル「メリヤス」用把子ノ存在スルコト等ヲ總括的ニ達觀セハ獨リ本件特許第一六四三〇號ノミカ請求人
ノ主張スル如キ廣義ノ權利範圍ヲ有スル理由ナキハ明白ナリ今假リニ百歩ヲ讓リテ廣義ニ解スルトシ
テモ尙「螺子ヲ有スル軸杆(ヘ)ヲ具ヘ之レカ捻回ニヨリテ板ト上下セシメ彈條ヲ經テ橫杆(イ)ニ加フヘ
キ壓力ヲ調節セシムル構造」ト「兩脚ヲ有スル臺(ニ)ニ凹陥ヲ設ケタル構造」トハ本件特許發明ノ重要
ナル部分ニシテ其權利モ亦此點ニアルモノト認メサルヲ得ス然ルニ被請求人ノ使用セル把子ハ前記ノ

二點ヲ有セサルカ故ニ毫モ該權利ヲ使用セサルモノナリト云フニアリ

審決ノ理由 本件特許第一六四三〇號中田式輕便把子ハ請求人ノ有スル特許第一三七四〇號中田撥條式
把子ノ追加發明ニシテ其要部ハ橫杆及縱杆ヨリ成ル把子ヲ一箇若クハ數箇ヲ臺上ニ取付ケ得ヘキ構造
ニアリ而シテ其目的トスルトコロハ原特許ト用途ヲ同フシ原特許ノ複雜ヲ避ケ專ラ簡易ヲ主トセルニ
拘ラス其效果ヲ等シカラシムルニアルヲ以テ下部ノ挾縮版トシテハ臺之ニ任シ縱杆ニ沿フテ上下スル
上部挾縮版ヲ有スル把子ヲ臺上ニ附設シテ成ル把子ハ本件特許權利範圍ニ屬スルコトハ明白ナリ今被
請求人ノ使用セル(イ)號圖面及説明書ニ記載セル把子ヲ檢スルニ臺上ニ固定セラルヘキ下部挾縮版(イ)ニ
縱杆(ロ)ヲ樹テ之ニ沿フテ上下スル上部挾縮版(イ)ヲ具エ平板ヲ彎曲セル撥條(ハ)ヲ經テ橫杆(ホ)ト「ナッ
ツ」トニ依リ挾縮版(イ)ノ挾壓力ヲ加減セシムル構造ヨリ成レリ然ルニ本件特許ニ於ケル螺杆(ヘ)ニ依
リ上下スル橫杆(ト)ハ後者ニ於ケル「ナツ」ニ依リ上下スル橫杆(ホ)ニ相當シ前者ニ於ケル彈機(ハ)ハ後者
ニ於ケル撥條(ハ)ニ相當シ又後者ニ於テハ特ニ下部挾縮版ヲ設ケアルノ差ナキニアラスト雖トモ而カモ
該版ハ臺ニ固定セシムルモノナルカ故ニ臺ト一體ヲナシ臺自體カ挾縮版ノ用ヲ達スルモノト毫モ異ナ
ルトコロナシ從テ同一ノ目的ヲ達スル爲ニ下部挾縮版ヲ兼ヌヘキ臺上ニ縱杆ヲ樹テ之レニ上部挾縮版
ヲ挿入シテ「メリヤス」ヲ挾縮セシムル點ニ於テ二者相一致シ互ニ撞着スルモノト認ム而シテ以上ノ點
ハ本件特許ノ要點ナルコト前述ノ如クナルヲ以テ被請求人ノ有スル(イ)號圖面及説明書記載ノ「メリヤ
ス」用把子ハ本件第一六四三〇號特許ノ權利範圍ニ屬スルモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十二月十三日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治

特許局事務官 馬場 顯一
同 山岡 國利

第二千六百九十六號

東京市神田區表神保町一番地 請求人 植木 雄飛
同 市日本橋區本銀町四丁目十七番地 被請求人 水野 龜松
同 市京橋區蠟燭町三丁目十一番地特許辨理士 右代理人 三上 七十郎

右當事者間ノ第七八九〇號特許權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ登録第一五九八〇號實用新案ノ壘栓ノ構造ハ第七八九〇號特許權ノ範圍ニ屬スト
審決相成度ト申立テ其理由ハ特許第七八九〇號ノ壘栓ト登録第一五九八〇號實用新案ノ壘栓トハ其構
造ヲ等シクスルモノナリ而シテ右實用新案ノ登録出願ハ右特許ノ出願ヨリ後ナリト謂フニ在リ
被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其ノ理
由ハ登録第一五九八〇號實用新案ノ壘栓ニ於ケル筈脚即チ彈側部ホハ乙第一號證ト又其ノ矮短ナル圓
筈内ニ彈塞子即チ彈塞板ヘヲ附スル點ハ乙第三號及第四號證ト孰レモ同一又ハ均等ノ構造ニシテ此等
乙號各證ハ共ニ本件特許出願前ヨリ已ニ帝國內ニ於テ公知公用ニ屬スルカ故ニ此等ノ點ハ本件特許
ノ權利範圍ニ屬セス故ニ本件特許第七八九〇號ハ右ノ諸點ヲ除キタル部分ニ對シテ附與セラレタルモ

ノニシテ壘栓ノ上端ナル凸縁ト下端ヲ下方ヘ彎曲セル脚及内部ヘ彎曲シ更ニ其ノ先端ヲ外方ヘ彎曲セ
ル脚ノ結合ノ點ニアリトス從テ本件特許ト登録第一五九八〇號實用新案トハ各別ノ考案ニシテ登録第
一五九八〇號實用新案ハ本件特許權ノ範圍ニ屬セスト謂フニ在リ

審決ノ理由

第七八九〇號特許ノ壘栓ハ圓筈狀ノ上部ニ凸縁リト下部ニ内方ヘ彎曲セル脚ト内方ヘ彎
曲シ其ノ先端トノ外方ニ屈曲セル脚ヲ具ヘ被筈イノ内部上端ニ嵌入スヘキ彈性ノ塞子ヘヲ組合セテ
成レリ而シテ登録第一五九八〇號實用新案ノ壘栓ハ圓筈狀ノ上部部ヲ有シ彈塞板ヘノ墜落ヲ止ムヘキ
側面上腹部ノ周圍ヲ覆輪的ニ搾リテ内方ニ突縁狀ヲ形成セシメタル輪狀ノ凹陷部ヲ作り凹陷部ノ一
側ニ定着セル指掛ヲ附シ突縁ヲ具フル壘口ニ彈嵌セシムヘキ彈側部ヲ形成セシメタル斷條部ニヲ具
ヘテ成レルモノナリ仍テ審按スルニ前者即チ本件特許壘栓ハ下部内方ニ彎曲セル一箇若クハ二箇以上
ノ脚ヲ先ツ環縁ヲ有スル壘ノ口ニ咬マセ「此時壘栓ノ上面ト壘口トハ少クトモ或ル角度ヲ有ス」置キ更
ニ其レ等ノ脚ニ相對セル部分ヲ下方ニ押スコトニ依リ壘栓ヲ壘口ニ密着セシメ壘口ヲ閉ツルコトヲ得
ヘキ種類ノ壘栓ナリ之レニ反シ後者即チ登録第一五九八〇號實用新案ノ壘栓ヲ壘口ノ上ニ適當
ニ當テ置キ上方ヨリ垂直線的ニ下方ニ壓スルコトニ依リ一時ニ壘口ヲ閉ツルコトヲ得ル壘栓ノ種類ニ
屬シ二者全ク壘栓ノ種類ヲ異ニス請求人ハ本件特許ノ壘栓ノ脚ハ二箇以上ト爲スコトヲ得ルコト等ヲ
論スレトモ既ニ前述ノ如ク壘栓ノ種類ヲ異ニシ且二者構造モ亦類似スルモノト認ムルヲ得ス以上ノ外
當事者間論争スル處アルモ本件審決ニ必要無キヲ以テ論セス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十二月十二日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜惣治

特許局事務官 三浦 惠一
馬場 穎一

第二千七百十三號

| | | |
|-------------------------|-------|---------|
| 東京市日本橋區横山町二丁目三番地 | 請 求 人 | 佐藤 伊右衛門 |
| 同 市神田區橋本町三丁目三番地 | 同 | 鈴木 定吉 |
| 同 市日本橋區村松町十三番地特許辦理士 | 右代理人 | 馬場 定四郎 |
| 同 市日本橋區村松町十三番地特許辦理士 | 同 | 堀内 健治 |
| 同 市芝區三田一丁目三十三番地ノ三號 | 被請求人 | 小島 録助 |
| 同 市神田區美土代町一丁目二十三番地特許辦理士 | 右代理人 | 清水 有國 |

右當事者間ノ第一六八五六號特許無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ被請求人ノ有スル第一六八五六號特許ヲ無効トシ審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
トノ審決アリタシト申立テ其ノ理由ノ要領ハ本件特許ノ要點トスル所ハ其ノ明細書ニ示スカ如ク長方形ノ臺版(イ)ニ左右ニ摺動シ得ヘキ覆版(ハ)ヲ表裏ニ緩着シ進退版(ハ)ノ下方ヨリ紐帶ヲ貫通シテ相牽引スルトキハ紐帶ハ進退版(ハ)ノ孔端ニ掛リテ之ヲ推動シ同時ニ挾縮版(ロ)ハ摺動シテ挾

縮孔(ヘ)ヲ閉鎖スルコトニ依リテ自働的ニ紐帶ヲ緊定スルニ在リ然ルニ請求人提出ニ係ル甲第一號證所
掲ノ尾錠ヲ觀ルニ其(イ)ハ前示臺版(イ)ニ相當シ然モ本尾錠カ孔無シニ紐帶(ロ)ヲ緊定シ得ル點ヨリ推セハ
其緊定ハ(イ)以外ノ他ノ平版物質ニ依リ摺動作用ニ因ルモノト認ムヘキコト疑ナシ隨テ甲第一號證所掲
ノ尾錠モ特許第一六八五六號ト同一ニ其自働緊定ノ尾錠タル事實ヲ認知シ得ルモノトス何トナレハ凡
ソ尾錠カ緊定作用ヲ爲サンニハ必ス臺版(イ)外ニ挾縮版(ロ)又ハ之ニ代フルニ短杆ヲ要スルハ公知ノ事實
ナリ而シテ短杆ヲ用フル尾錠ニ在リテハ必ス紐帶ニ之ヲ貫入スヘキ小孔ヲ穿ツヲ一般トシ此ノ如キ構
造ニ在リテハ自働的ニ緊定スルコト能ハス之レ從來一般ニ慣用スル尾錠ニ屬ス然ルニ挾縮版(ロ)〔即チ
平版〕ヲ臺版(イ)ニ裝置スル尾錠ニ在リテハ更ニ臺版(イ)下ニ覆版ヲ附シテ此覆版ノ摺動スルト同時ニ挾
縮版(ロ)ヲ臺版(イ)ノ一片ニ緊着密接セシムルヲ必要トス唯タ臺版(イ)ニ覆版ヲ附スルノ方法ニ於テ差異ア
ルニ過キス此ノ如キ構造ニ在リテハ挾縮版(ロ)及覆版ノ摺動作用ニ依リテ紐帶ヲ自働的ニ緊定シ得ヘシ
而シテ甲第一號證所掲ノ尾錠ハ紐帶ニ小孔ヲ穿タスシテ之ヲ緊定シ得ルヲ以テ右尾錠カ自働緊定ノ構
造ヲ有スルコト疑ナシ之レ本件特許ト其自働緊定ノ點ニ於テ同一ナリトスル所以ナリ假リニ甲第一號
證所掲ノ尾錠カ本件特許ノ如ク挾縮版(ロ)及進退版(ハ)ヲ具備セルヤ否ヤ不明確ナリトスルモ其紐帶(ロ)ニ
小孔ヲ穿タスシテ之ヲ緊定シアルコトニ徴スレハ自働緊定ノ作用ヲ有スル尾錠ナルコト明ナリ仍テ甲
第一號證ハ其所掲ノ尾錠カ本件特許ト類似タルノ事實ヲ明確ニスルモノナリ而シテ甲第一號證ハ西曆
千八百九十五年英吉利國ニ於テ出版サレタル「ゼ、アイロン、モンガー」ナル冊子殊ニ其二十三頁及二百
九十九頁所載ニシテ本件特許出願前既ニ我帝國内ニ於テ頒布セラレタルモノナリ果シテ然ラハ本件特
許ノ發明ハ其出願前ニ於テ公知公用ニ屬シ且容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ帝國内ニ頒布セ
ラレタル刊行物ニ記載セラレタルモノナルヲ以テ特許法第一條ノ要件ヲ缺ケルモノニシテ其特許ハ之

ヲ無効トスヘキモノナリト謂フニ在リ而シテ甲第一號證〔原本及謄本〕ヲ提出シタリ
被請求人ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決アリタシト申立テ其理由ノ要領
ハ本件特許ノ發明ハ特許法第一條ノ要件ヲ具備セルモノナリ請求人提出ノ甲第一號證カ我帝國内ニ頒
布セラレタル刊行物ナリトハ認め難シ假リニ請求人主張ノ通り帝國内ニ頒布セラレタルモノトスルモ
該證ハ「ローラー、スケート」ノ見本ヲ表示セル記録ニ過キスシテ其尾錠カ如何ナル構造ノモノナリヤ
ヲ知ルコト能ハサルヲ以テ本件特許ノ發明カ構造ノ上ニ於テ之ニ類似スルモノナリヤ否ヤヲ知ルニ由
ナク結局該證ハ請求人ノ主張ヲ立證スルニ足ラサルモノナリト謂フニ在リ

審決ノ理由 本件特許ノ發明ハ其明細書及圖面ニ示スカ如ク三箇ノ方形版ヲ以テ構成スル尾錠ニ關スル
モノニシテ中央ノ稍長方形ナル臺版(イ)ノ首部ニ挾締孔(ハ)中部ニ往復孔(ホ)、尾部ニ紐環孔(下)及紐留孔
(リ)ノ各横孔ヲ貫穿シ上下ノ覆版即チ上面ノ挾締版(ロ)下面ノ進退版(ハ)トハ臺版(イ)ヲ緩挾シテ往復孔(ホ)
内ヲ左右ニ摺動シ得ヘキ摺導版(ニ)定着シ共ニ摺動シ得ヘクナサレタルモノニシテ以テ紐帶ヲ自動的
ニ緊定シ得ヘキ構造ヨリ成ルモノナリ今請求人提出ノ甲第一號證所掲ノ尾錠ヲ見ルニ紐帶カ尾錠ノ兩
孔ヲ通過シテ自動的ニ緊定セラレ居ルモノタルコトヲ知リ得ルノ外其構造カ果シテ本件特許ノ發明ト
同一ナリヤ否ヤヲ確ムルニ足ラサルヲ以テ甲第一號證ハ假令其我帝國内ニ頒布セラレタル時期カ本件
特許ノ出願前ナリトスルモ本件ノ發明カ新規ナラサリシ事實ヲ立證スルニ足ラサルモノトス
仍テ正文ノ如ク審決ス

大正二年十二月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 馬場 穎一

同 山岡 國利

特許審決錄 終

實用新案審決錄

實用新案審決錄目次

| 審決要旨 | 審判番號 | 件名 | 當事者 | 審決年月日 | 頁數 |
|------|--------|---|-----------------------------------|-------|-----|
| | 第二四四九號 | 第一一二四三號 實用新案(縮織)登錄無效事件 | (請)山本國藏 (被)杉山榮吉 外十一名 | 二、一、三 | *一頁 |
| | 第二五三一號 | 第六五二五號 登錄實用新案(モスリ ン御召)權利確認事 件 | (請)木村とみ (被)河瀬林兵衛 | 二、一、三 | *三 |
| | 第二四六五號 | 第一八三三號 實用新案(犁)登錄無效 事件 | (請)山本乙吉 (被)松重大次郎 外一名 外三名 | 二、一、五 | *五 |
| | 第二四一五號 | 第一〇八六一號 實用新案(字畫模寫盤) 登錄無效事件 | (請)宮澤治助 (被)岡本保太郎 外二名 | 二、二、三 | *七 |
| | 第二四九〇號 | 第二四九四號 實用新案(紹織)登錄無 效事件 (大正二年十二月九日抗告 審決參照) | (請)岡本多七 (被)岡部幸吉 | 二、二、四 | *一〇 |
| | 第二四二八號 | 第二〇二一六號 實用新案(空中飛鳥)登 錄無效事件 | (請)長倉博一 (被)樋口泰次郎 外一名 | 二、二、四 | *二 |

*一

審決要旨

審判番號

件名

當事者

審決年月日

頁數

第三二八七號
一實用新案法第五條ハ其
法文ノ示スル如ク同一又
ハ類似ナル實用新案ノ
出願ニシテ規定シタルモ
出願ノ場合ニ於テ新案ノ出
願ノ場合ニ於テ規定シタル
願ノ場合ニ於テ規定シタル
シタル場合ニ於テ規定シタル

第二五二六號

第一九二〇三號
登錄實用新案(百足折簇)權利確認事件

(請) 山本 大榮
(被) 鈴木 榮

二、二五
*一五頁

第二五四三號

第一二一五〇號
登錄實用新案(鼻緒)權利確認事件

(請) 田中 清吉
(被) 柏野 久吉

二、三三
*一六頁

第二五四八號

第二三五二九號
登錄實用新案(渡邊式「ダブルホヤ」)權利確認事件

(請) 今村 義壽
(被) 渡邊 幸太郎

二、三八
*一八頁

第二五一一號

第二三五六七號
實用新案(洋燈笠)登錄無效事件

(請) 森田 新太郎
(被) 淺野 熊次郎

二、三四
*二二頁

第二二八七號

第一四九二號
實用新案(洋傘骨端止)登錄無效事件

(請) 津和 儀平
(被) 佐川 芳之助

二、三一
*二四頁

第二五五〇號

第一六七二五號
實用新案(織物)登錄無效事件

(請) 田中 富吉
(被) 山本卯之次郎

二、三一
*二五頁

第二五三七號

第一一二一九號
登錄實用新案(永世式無雙「メタル」)權利確認事件

(請) 眞木 末吉
(被) 永世 勝治

二、三一
*三〇頁

第二五六六號

第二〇四六八號
登錄實用新案(車軸)權利確認事件

(請) 増田 榮造
(被) 關原 利兵衛

二、三一
*三五頁

第二三九〇號

第七二六三號
登錄實用新案(豆粕粉碎器)權利確認事件

(請) 大橋 綱次郎
(被) 石原平左衛門

二、三七
*三八頁

第二五四五號

第一九六五五號
登錄實用新案(羽織紐)權利確認事件

(請) 橋詰 章三
(被) 大槻 末吉

二、三四
*四二頁

第二五二二號

第三七五三號
實用新案(襟止)登錄無效事件

(請) 伊藤 万吉
(被) 落合 兵之助

二、三四
*四五頁

第二五一〇號

第二一七三三號
實用新案(島式改良壘苞)登錄無效事件

(請) 壽谷 清吉
(被) 島 圓次郎

二、三四
*四七頁

第二四七八號

第二一七三三號
登錄實用新案(島式改良壘苞)權利確認事件

(請) 島 圓次郎
(被) 壽谷 清吉

二、三三
*五〇頁

第二五〇〇號

第二四九八〇號
實用新案(錢入)登錄無效事件

(請) 藤森 源之助
(被) 丸井 宇三郎

二、三七
*五三頁

*三二

*二一

審決要旨

審判番號

件名

當事者

審決年月日

頁數

第二四七七號

第一七三八五號
實用新案(釣瓶)登録無効事件

(請)安井萬治郎
(被)石川市藏

二、三、九

*五五

第二五五一號

第二三三三六號
實用新案(立浪縫)登録無効事件
(大正二年八月八日抗告審決参照)

(請)シンガメ、ソノイ、ムバニー
(被)吉田彌之助

二、三、六

*五七

第二五二〇號

第二四九三六號
登録實用新案(足踏織機綜統裝置)權利確認事件
(抗告審判請求)

(請)森田高治
(被)津田駒次郎
外二名

二、三、六

*五九

第二五七七號

第二〇九五七號
實用新案(釣漁燈)登録無効事件

(請)堀尾スマ
(被)本田正治

二、三、七

*六四

第二五九一號

第二五八二六號
實用新案(織物)登録無効事件

(請)煤垣多七
(被)岡部幸吉

二、四、二

*六七

第二四〇四號

第二一六八〇號
實用新案(友禪小供「マント」)登録無効事件

(請)塚本喜八郎
(被)伊藤清次郎

二、四、八

*七〇

第二五六三號

第一六〇五九號
登録實用新案(蠟燭製造用二枚合真鍮「バイ」)權利確認事件

(請)生島サト
(被)萬代龜藏
外一名

二、四、八

*七三

第二五六四號

第一六〇五九號
登録實用新案(蠟燭製造用二枚合真鍮「バイ」)權利確認事件

(請)合資會社日本蠟燭製造所
(被)萬代龜藏

二、四、八

*七六

第二五八八號

第二六一四三號
實用新案(傘袋)登録無効事件

(請)小關與三郎
(被)養樂

二、四、四

*八〇

第二三三三號

第一〇一三三三號
實用新案(莫大小編成裝置機)登録無効事件

(請)東野貫三郎
(被)傍島伍作
外十一名

二、四、五

*八二

第二四三七號

第二一六八〇號
登録實用新案(友禪小供「マント」)權利確認事件

(請)伊東清次郎
(被)塚本喜八郎

二、四、五

*八七

第二五三三號

第二三八四四號
登録實用新案(箸袋)權利確認事件

(請)藤原村一
(被)田政吉
外一名

二、四、二

*九〇

第二三七五號

第二三〇三八號
實用新案(大橋式煮乾魚製造用釜)登録無効事件

(請)東田市兵衛
(被)大橋友藏

二、四、三〇

*九一

第二四六四號

第一四四一九號
實用新案(犁床)登録無効事件

(請)山本乙吉
(被)牧本市太郎

二、四、三〇

*九五

第二五五六號

第一〇八九二號
實用新案(液用柄付量器)登録無効事件
(抗告審判請求)

(請)防長度量衡株式會社
(被)廣島度量衡器株式會社

二、五、五

*九七

第二六六二號
 一凡證據方法トシテ使
 用セラル、書面ニシテ
 其趣旨ニ依リ證據ニ供
 シ得ヘキ證書ナルニ於
 テハ其證書ノ作成者カ
 當該審判事件ニ付證據
 方法トナスノ意思ヲ以
 テスルノ必要ナク又何
 人ノ申請ニヨリ之ヲ作
 セシタルヤ明ナルヲ要
 ス

| 審決要旨 | 審判番號 | 件名 | 當事者 | 審決年月日 | 頁數 |
|---|--------|------------------------------|-----------------|-------|----|
| 第九三八四號 實用新案(三宅式養蠶用箱)登錄無效事件 | 第二六六二號 | 藤目嘉七郎 岡本七郎 外二名 | 二、七、二六 *九頁 | | |
| 第二四四九五號 實用新案(洋傘及杖ノ握柄)登錄無效事件 (大正二年十二月二十七日) (抗告審決參照) | 第二五四一號 | 行松勝次郎 寺島半藏 | 二、七、一九 *一〇三 | | |
| 第二四四九五號 登錄實用新案(洋傘及杖ノ握柄)權利確認事件 (大正二年十二月二十七日) (抗告審決參照) | 第二五四一號 | 行松勝次郎 寺島半藏 | 二、七、一九 *一〇五 | | |
| 第二三三〇八號 實用新案(裝飾用指輪箱)登錄無效事件 (大正二年十二月四日抗告) (審決參照) | 第二五九三號 | 溝口萬吉 野尻雄三 | 二、七、二九 *一〇七 | | |
| 第二〇一四五號 登錄實用新案(經濟練炭)權利確認事件 (大正二年十一月二十九日) (抗告審決參照) | 第二六〇九號 | 服部萬吉 山崎照親 外一名 | 二、七、二一 *一一〇 | | |
| 第六七九二號 登錄實用新案(敷島表)權利確認事件 | 第二三一七號 | 榮島德次 東レザ1株式會社 | 二、八、九 *一二三 | | |
| 第五〇三二號 實用新案(滿谷式履物表)登錄無效事件 | 第二四五八號 | 大石儀作 外二十七名 米田熊吉 外一名 | 二、八、九 *一二五 | | |
| 第三三八三九號 登錄實用新案(鐘馗表)權利確認事件 | 第二三三二號 | 那須彌三郎 東レザ1株式會社 | 二、八、一五 *一二九 | | |
| 第二四〇九九號 登錄實用新案(玩具)權利確認事件 | 第二六八七號 | 玉田茂三郎 蒲田榮吉 | 二、一〇、一三 *一二五 | | |
| 第二五二三號 實用新案(萬年金網)登錄無效事件 (抗告審判請求) | 第二五二一號 | 高木綱次郎 古賀耕之 | 二、一〇、一五 *一二七 | | |
| 第二〇九二五號 登錄實用新案(管捲機用快轉裝置)權利確認事件 | 第二三九一號 | 野村久助 新實廣吉 | 二、一〇、二一 *一二〇 | | |
| 第二六六一九號 登錄實用新案(車轂保全器)權利確認事件 | 第二六九〇號 | 山口勝太郎 米澤正治 | 二、一〇、二五 *一二三 | | |
| 第一一六五號 實用新案(改良葉切器械)登錄無效事件 | 第二六八〇號 | 永田又平 村上數一 | 二、二、一八 *一三四 | | |

*六

| 審決要旨 | 審判番號 | 件名 | 當事者 | 審決年月日 | 頁數 |
|---|--------|------------------------------|-----------------|-------|----|
| 第九三八四號 實用新案(三宅式養蠶用箱)登錄無效事件 | 第二六六二號 | 藤目嘉七郎 岡本七郎 外二名 | 二、七、二六 *九頁 | | |
| 第二四四九五號 實用新案(洋傘及杖ノ握柄)登錄無效事件 (大正二年十二月二十七日) (抗告審決參照) | 第二五四一號 | 行松勝次郎 寺島半藏 | 二、七、一九 *一〇三 | | |
| 第二四四九五號 登錄實用新案(洋傘及杖ノ握柄)權利確認事件 (大正二年十二月二十七日) (抗告審決參照) | 第二五四一號 | 行松勝次郎 寺島半藏 | 二、七、一九 *一〇五 | | |
| 第二三三〇八號 實用新案(裝飾用指輪箱)登錄無效事件 (大正二年十二月四日抗告) (審決參照) | 第二五九三號 | 溝口萬吉 野尻雄三 | 二、七、二九 *一〇七 | | |
| 第二〇一四五號 登錄實用新案(經濟練炭)權利確認事件 (大正二年十一月二十九日) (抗告審決參照) | 第二六〇九號 | 服部萬吉 山崎照親 外一名 | 二、七、二一 *一一〇 | | |
| 第六七九二號 登錄實用新案(敷島表)權利確認事件 | 第二三一七號 | 榮島德次 東レザ1株式會社 | 二、八、九 *一二三 | | |
| 第五〇三二號 實用新案(滿谷式履物表)登錄無效事件 | 第二四五八號 | 大石儀作 外二十七名 米田熊吉 外一名 | 二、八、九 *一二五 | | |
| 第三三八三九號 登錄實用新案(鐘馗表)權利確認事件 | 第二三三二號 | 那須彌三郎 東レザ1株式會社 | 二、八、一五 *一二九 | | |
| 第二四〇九九號 登錄實用新案(玩具)權利確認事件 | 第二六八七號 | 玉田茂三郎 蒲田榮吉 | 二、一〇、一三 *一二五 | | |
| 第二五二三號 實用新案(萬年金網)登錄無效事件 (抗告審判請求) | 第二五二一號 | 高木綱次郎 古賀耕之 | 二、一〇、一五 *一二七 | | |
| 第二〇九二五號 登錄實用新案(管捲機用快轉裝置)權利確認事件 | 第二三九一號 | 野村久助 新實廣吉 | 二、一〇、二一 *一二〇 | | |
| 第二六六一九號 登錄實用新案(車轂保全器)權利確認事件 | 第二六九〇號 | 山口勝太郎 米澤正治 | 二、一〇、二五 *一二三 | | |
| 第一一六五號 實用新案(改良葉切器械)登錄無效事件 | 第二六八〇號 | 永田又平 村上數一 | 二、二、一八 *一三四 | | |

*七

實用新案審決錄

第二千四百四十九號

| | | |
|--------------------|------|--------|
| 新潟縣北魚沼郡小千谷町二百八十五番地 | 請求人 | 山本國藏 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町二百二十六番地 | 同 | 小野阪太三郎 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町四百五十六番地 | 同 | 仲四郎左衛門 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町三百九十七番地 | 同 | 風間三太郎 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町七百二十九番地 | 同 | 小見山豐藏 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町五百四番地 | 同 | 平澤佐五兵衛 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町八十二番地 | 同 | 加藤宗左衛門 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町二十番戶 | 同 | 樋口禎太 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町二十八番戶 | 同 | 西脇義一郎 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町百三十八番戶 | 同 | 吉澤國吉 |
| 同 縣北魚沼郡小千谷町四十七番地 | 同 | 高橋國藏 |
| 同 縣北魚沼郡城川村大字土川十四番戶 | 同 | 山岸周吉 |
| 東京市京橋區弓町十七番地特許辨理士 | 右代理人 | 長澤越一郎 |
| 同 市京橋區弓町十七番地特許辨理士 | 同 | 江中六助 |

京都市上京區大宮通寺ノ内西入東千本町四百十一番地

被請求人 杉山 榮吉

右當事者間ノ第一一二四三號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 第一一二四三號實用新案ノ登録ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一一二四三號縮織ノ實用新案ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案縮織ノ登録請求範圍ハ「絹綿麻等ノ隨意ノ經絲ヲ用ヒ麻絲ヲ強度ノ燃絲トナシ緯絲トシテ製織スル縮織ノ構造」ト云フニ在レトスカル製織法ハ越後縮布絹縮等ノ製織法トシテ本件實用新案ノ出願前數十年ノ昔ヨリ公知公用ニ屬スル所ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人等ノ請求ハ之レヲ棄却ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ越後縮ナルモノハ古來公知ノ越後帷子ノ總稱ニシテ本件實用新案トハ同一ノモノニアラス尙ホ登録實用新案第一六〇二八號、同第一九八六六號、同第一九一五二號等ニ依リ本件第一一二四三號實用新案カ越後縮ト異ナルモノナルコトヲ疏明スト云フニ在リ

審決ノ理由 本件第一一二四三號登録實用新案ハ其第一圖ニ於テ右撚左撚兩種ノ緯絲ヲ用ヒタル織布ノ組織第二圖ハ右撚若クハ左撚中執レカ其一ヲ緯絲トシテ織成セル織布ノ組織ヲ示シタルモノニシテ斯ク兩者緯絲ノ用方ニ於テ相同シカラサル所アルモ本件實用新案ノ目的トスル效果即強撚ノ緯絲ノ作用ニ依リ織布ニ縮縮ヲ呈セシムヘキ效果ヨリ見レハ兩者特ニ異ナル所ナク第一、第二兩圖ニ示セル組織ハ互ニ相類似スルモノト認ム而シテ本件實用新案ハ其登録請求範圍トシテ「圖面ニ示セル如ク絹、綿、麻等各隨意ノ經絲ヲ用ヒ麻絲ヲ強度ノ燃絲ト成シ緯絲トシテ製織スル縮織ノ構造」ト在リ然ルニ之レ

ト同一組織即第二圖ニ示ス如ク麻、絹等執レカ其一ヲ經トシ之レニ強撚ノ麻絲ヲ緯トシテ織込ミタル組織ノ縮布カ本件實用新案ノ出願日即明治四十一年六月二十三日以前ニ於テ已ニ公知公用ニ屬スル事實ハ甲第四號證、同第五號證及證人山岡才次郎ノ證言ニ依リ之レヲ認ム從テ本件實用新案ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルヲ以テ同法第十一條ニ依リ其登録ハ之ヲ無効トスヘキモノトス次ニ被請求人ハ數箇ノ登録實用新案ヲ引用シテ主張スル所アルモ斯カル事項ハ本件請求ニ對シ何等ノ關係ヲ有スルモノニアラサルカ故ニ右主張ニ付テハ説明ノ要ナシ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月二十二日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千五百三十一號

京都市上京區松屋町通下立賣上ル一丁目三百六十番地

請 求 人 木 村 三 夫

同 京 都 市 上 京 區 中 立 賣 通 智 恵 光 院 東 入 多 門 町 四 百 四 十 一 番 地

右 代 理 人 森 田 茂

同 特 許 辦 理 士

被 請 求 人 河 瀬 林 兵 衛

同 京 都 市 上 京 區 笹 屋 町 通 六 軒 町 西 入 笹 屋 五 丁 目

右當事者間ノ第六五二五號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ製作スル織物ノ構造即綿絲ノ經ニ毛壁絲ヲ緯トシテ織込ミタル織物ノ組織ハ請求人ノ